

令和4年度  
江戸川区学校応援団  
実践報告書

【小学校】

令和5年3月  
江戸川区教育委員会

# 目 次

小学校	P 1
小松川第二小学校	P 3
小平井小学	P 5
平井西小学校	P 7
平井東南小学校	P 9
平井南小学校	P11
松江小学校	P13
西一之江小学校	P15
第二松江小学校	P17
西小松川小学校	P19
大杉小学校	P21
大杉第二小学校	P23
第三松江小学校	P25
大杉東小学校	P27
東小松川小学校	P29
船堀小学校	P31
船堀第二小学校	P33
葛西小学校	P35
二之江小学校	P37
二之江第二小学校	P39
第三葛西小学校	P41
第四葛西小学校	P43
第五葛西小学校	P45
第六葛西小学校	P47
第七葛西小学校	P49
南葛西小学校	P51
南葛西第二小学校	P53
南葛西第三小学校	P55
西葛西小学校	P57
新田小学校	P59
宇喜田小学校	P61
清新第一小学校	P63
清新ふたば小学校	P65
臨海小学校	P67
臨海小学校	P69



# 小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小松川小学校長 末松 睦士  
コーディネーター 松田 守弘

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全安心・旗振り	毎日	毎日2名ずつ
安全安心・交通安全教室	年1回	12
学校図書・読み聞かせ隊	月2回	20
学校行事支援	不定期	15
学習支援隊	週2回程度	1
環境整備隊	不定期	8



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 保護者による毎朝2名の旗振り当番の協力により、登校中の交差点での通勤通学で利用されている自転車との接触事故を今年度も0件にすることができた。
- 安全安心・交通安全教室の活動として、自転車教室での子どもたちの自転車の運転実技の際の見守りに協力いただいた。活動中の補助として手助けいただいたおかげで安全に実技を行うことができた。
- 読み聞かせ隊（学校図書館応援団）の活動は新型コロナウイルスの影響で10月については読み聞かせ活動を休止したが、他の月については月2回の頻度で実施できた。子どもたちは真剣な眼差しでお話を聞いており、読書活動の推進という点で成果を上げることができた。また、学校図書館の本の修繕や飾りつけなどの読書環境の充実を図書担当教員や図書館支援員と連携を取りながら計画的に進めることができた。
- 学校行事支援については運動会でのお手伝いやハッピーファミリーデーの実施、ナイトキャンプの実施などバラエティーに富んだ活動を展開していただき、子どもたちの心のたがやしに向けた活動を展開できた。
- 学習支援隊では教室での学習が難しい子どもたちの個別支援を行ってきた。自己有用感や自己肯定感が高まるような働きかけを行い、学校での居場所づくりと心の安定に役立っていた。

### <課 題>

- 学校応援団の人材については保護者に頼る割合が高い。地域の方による潜在的なサポート力の開拓を進め、応援団の充実を図っていく必要がある。
- ボランティアさんの募集を呼びかけてはいるが、少数精鋭化が進んできている。たくさんの方にご協力をいただけるようにし、継続的な支援が円滑に行えるようにしていきたい。
- 学校応援の内容について現場のニーズを検証してさらに充実が図れるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の小松川小学校学校応援団は安全安心に関する部門、図書に関する部門、行事での支援を行う部門、環境整備に関する部門、学習支援に関する部門の5つの部門が活動を行いました。保護者が中心となっている状況ですが、学年学級の枠を越えた関係が作れる他、子どもたちの普段の学校での様子がわかるなどメリットの多い活動であると考えています。今年はこれまでの実践を生かして、子どもたちがより活動しやすい環境を整えることで学校に協力していけるようにしてまいりました。今後は学習面をサポートする活動が十分にできていないという現状がありますので人材を集め、協力できるようにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度も様々な方にお力添えいただくことができました。おかげさまで子どもたちにとって安全で実りの多い学習の場としていくことができましたことを深く感謝いたします。

ボランティアさんが思うように集まらないなど課題点を解決しながら、今後も保護者や地域の方と力を合わせて子どもたちのためによりよい環境を整え、充実した教育活動を行ってまいります。皆様におかれましても小松川小学校に通う「こまつ子」たちのためにご協力のほどよろしく願いいたします。

# 小松川第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小松川第二小学校長 五十嵐 一嘉  
 コーディネーター 松本 樹也

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	毎週木曜日午前	12人
飼育・栽培ボランティア	週末・長期休業中	20人
読み語りボランティア	月1回(年間10回程度)	60人

### ボランティアの方の活動



季節ごとに変わる2階職員室近くの掲示物

読書感想カードを使った掲示物



月に一度の読み語り



栽培のお手伝い



ウサギの飼育

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

図書ボランティアの方には、季節ごとに図書室や2階の掲示板の飾りを作成していただいています。児童は、きれいな掲示物を見て、廊下を通ったり、図書室に行ったりすることを楽しみにしています。本に興味をもつことができました。職員室に近い掲示板は、四季折々の本も展示されており、日本の四季を実感できました。

また、月に1回、朝の時間において、読み語りボランティアの方が読み語りをしてくださっています。絵本を拡大してテレビで画像や拡大絵本を用いるなど、児童は、工夫された読み語りを聞くことで、想像力が高まりました。読書に関心がなかった児童も自分で読んでみたいという気持ちになり、学校全体の読書量が増えてきました。

2階の絵本コーナーもきれいに五十音順でわかりやすく整備されており、子供たちが日常的に絵本などを手にとって読んでいます。図書ボランティアの方が学校応援団で文具を購入し、図書の整備を行ってくださっています。

校庭と玄関には、学校応援団で購入した花がきれいに植えられています。

昨年秋から新しいウサギを飼育することになり、飼育ボランティアの方には、週末いつもお世話になり、ウサギも元気に過ごしています。

### <課 題>

今年度は、読書週間を年間3回行い、読み語りも全て実施できました。しかし、今まであった学習ボランティアについては、募集を行っていません。来年度は、図書ボランティア、読み語りボランティア、飼育・栽培ボランティア以外の活動も実施できるようにしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

小松川第二小学校は読書活動が活発です。本好きの児童を育てるためにも教職員の方と保護者、地域が協力して活動していきたいと思います。毎年、行っていたACAPの方による消費者教育はできませんでした。今年度は、東京税理士江戸川北支部の皆さんのご協力により6年生に租税教室を実施する予定です。税金の必要性、大切さを考える良い機会としたいと思います。

また、本年度は、開校70周年があり、学校応援団で花壇のお花を整備しました。引き続き、学校の環境をきれいに整えていくために尽力していきたいと思います。

## 6 学校長より

感染症対策を講じながら、本年度も少人数で分散して図書ボランティアの方には図書室の整備や掲示、校内掲示板の装飾をしていただきました。

また、読み語りボランティアの方には、1年生から6年生までの児童への読み語りをしていただきました。児童の発達段階や季節に合った本を選んでくださったことに感謝申し上げます。児童一人一人がPTAから寄贈していただいている図書バックを持って嬉しそうに図書室に通っています。

本が好きですすんで本に親しむ児童の姿が多くみられました。来年度も、ボランティアの方のお力を借りて読書活動の充実に努めてまいります。たくさんの方々に参加していただけるよう工夫を重ねてまいります。これからも地域の方々と共に、よりよい教育活動に励んで参ります。よろしく願いいたします。

# 平井小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井小学校長                      渡邊 法子  
 コーディネーター                笠松 志保

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
スクールガード	・登下校時の安全見守り、旗振り（毎日）	4人
読み聞かせボランティア	・各学級での本の読み聞かせ（月2回） ※感染状況により変更	15人
図書整備ボランティア	・図書整理、本の修理（不定期）	4人
おやじの会	・学校行事、PTA 行事の支援（不定期）	40人
学生ボランティア	・学習支援（毎週2回）	2人
平井6丁目東寿会	・花笠音頭の指導、運動会参加（年2回） ※今年度は運動会花笠音頭を実施せず。	15人

### 平井小学校学校応援団



登下校時の見守り



自転車教室



町探検出発式



平井小まつり



クリスマスイベント

#### すくすくスクール

- ・工作教室
- ・フラダンス教室
- ・将棋教室
- ・日舞教室
- ・お箏教室

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせ    ・図書整備
- ・登下校時の交通安全指導（旗振り）
- ・親子安全見守り隊活動
- ・交通安全教室・自転車教室
- ・環境学習等校外学習の安全見守り
- ・地域パトロール

#### 地域・学生

- ・登下校時の交通安全見守り
- ・荒川環境学習
- ・ふれあい給食での交流学習
- ・学習支援    ・凧作り指導
- ・地域行事の準備、運営
- ・花笠音頭の指導



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 3年生の自転車運転免許教室では、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、自転車の実技指導を行いました。全員が自転車運転免許の交付を受け、安全に自転車を運転することができています。
- 図書館ボランティアによる図書館の本の修理・図書整理等を不定期で行いました。今年度は読み聞かせボランティアによる読み聞かせをコロナ前までと同じ水準とまではいきませんでした、昨年度よりも実施回数を増やして実施することができました。
- 「平井小まつり」では、「SDGs を楽しみながら学ぶことができる」をコンセプトに前年度までのまつりより楽しさも学びもパワーアップした形で実施しました。5年生・6年生がお店を出す際に PTA おやじの会の方から SDGs 的視点からアドバイスをいただき、よりよいお店にすることができました。当日は多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、大盛況であったという間に楽しい時間が過ぎていきました
- PTA 執行部・おやじの会が連携し、終業式の日にはサンタさんに仮装して、1 学期、2 学期と授業を頑張ってきた子供たちを応援するサプライズイベントを実施しました。
- すくすくスクールでは、ボランティアを招いて日舞教室、フラダンス教室、お箏教室、工作教室など様々な教室を行う予定でいましたが、今年度も実施を見送りました。

### <課 題>

- スクールガードの方々に通学路に立って交通安全の見守りをしてくださっていますが、登下校時に出られる方は限定されるので、参加人数が減少傾向にあります。少しずつ組織の再編成をしていく必要があります。
- 校外学習などの感染拡大のリスクが低いと感じられる場合には多くの皆様にご協力いただいた。校内への立ち入りを学校が制限した期間が長かったこともあり、校舎内（教室内）でのボランティア活動に参加することに対して遠慮がちな傾向が見受けられる。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、学校応援団としての活動が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け変更を余儀なくされた活動がありましたが、感染症対策を行ったうえで PTA 執行部・おやじの会をはじめ多くのスタッフが工夫して実施に踏み切った活動もありました。「平井小まつり」などでは本校児童とその保護者のみに参加人数を限定して、内容は充実して実施することができました。ありがとうございました。

来年度こそは、以前よりも幅広く充実した活動となるように尽力していきたいと考えております。今後も多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

地域と共に歩む学校を目指して、学校応援団の皆様には様々な教育活動にご理解・ご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。「平井小まつり」の成功に象徴されるように、コロナ禍の一連の危機から学び進化するべく、様々な新たな取り組みを行っています。危機を乗り越え、これからも学校は地域・保護者・子供たちと社会をつなぐ場となるよう尽力して参ります。今後とも学校応援団の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

# 平井西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井西小学校長            藤澤 優子  
コーディネーター        前澤 勝三

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	4人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
下校安全指導	週5回	4人
遊びの見守り	毎日（1学期のみ実施）	3人
読み聞かせ	毎週水曜（感染防止のため未実施）	9人
花壇の環境整備	不定期	3人

### <学校応援団による休み時間の見守りと下校時の安全指導>



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 全国から児童の交通事故の情報が伝わっているが、本校では学校応援団による下校時の見守りが毎日行われており、児童の交通安全の意識が醸成され未然に交通事故を防いでいる。また、見守りの学校応援団の方との挨拶のやりとりがあり、地域の方との交流が図られている。
- 学校応援団、PTA本部役員並びに生活指導主任をはじめとする教職員が、三者協議会の場で児童の下校時や放課後の様子について情報や課題を共有して児童の健全育成に協働することができた。
- 学校応援団の皆さんとの交流を通して、児童、教職員の地域の皆さんへの感謝の気持ちを深めることができた。

### <課 題>

- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止していた図書の読み聞かせ活動は感染防止対策をとりながら昨年度の3学期から再開することができたが、朝遊びは依然として中止している状況である。感染症の状況を見ながら活動の工夫をしていく。
- 学校応援団の継続、発展の観点からさらに団員を募る必要がある。学校ホームページによって学校応援団の活動の様子を伝えたり、団員募集のお知らせをしたりしていく。町会にも呼び掛けていく。

## 5 コーディネーターより

学校応援団では、毎日の下校安全指導をはじめとして、読み聞かせ、朝遊び、昔遊び、花壇の環境整備などを行って平井西小の子供たちと深くかかわってまいりました。感染症防止のため中止している活動がありますが、朝遊びの見守りは中休みと昼休みの見守りにしたのと、読み聞かせは再開することができました。下校時の安全見守りは交通事故を防ぐだけでなく、挨拶をすることの大切さを伝えていきます。平井西小はすすんで挨拶をする子供が多く、活動の成果を感じています。

今後も学校、PTA、地域の方々が連携する核となって、子供たちの健やかな成長のために少しでも協力ができるよう活動してまいります。これからもがんばりますのでよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。毎日の下校時の安全見守りは、児童の交通安全の意識向上だけでなく挨拶を通して地域の皆様との交流を図る大切な機会となっております。朝遊びに関しては、まだ状況を見ている段階ではありますが、中休みと昼休みの見守りを行うことができました。また、昨年度の3学期より感染防止対策をしながら読み聞かせを再開することができたことは、とてもありがたいことです。児童が本に興味をもち、すすんで読書する態度が育っていききっかけとなっております。まだ中止している活動についても、感染症の状況を見ながら少しずつでも再開することができるよう願っています。今後とも平井西小学校の児童のためにご協力賜りますようよろしく願いいたします。

# 平井東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長            大辻 隆夫  
 コーディネーター        大木 一裕



## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	55人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ応援団	月1回	18
図書整備応援団	月4回	18
学習補助応援団	不定期	18



### 平井東小学校学校応援団

#### 地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・学習支援
- ・金管楽器演奏
- ・ナイトウォーク
- ・マラソン大会
- ・年末地域行事
- ・その他地域行事

#### PTA・保護者

- ・図書ボランティアによる活動  
(月2回の読み聞かせ、図書室整備)
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ(父親の会)による行事

#### すくすくスクール

- ・指導の一貫性  
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大  
(親子で遊ぼう会・工作教室・ひらこまはらっぱなど)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○図書ボランティアの方を「図書応援団」と銘打って募り、年間を通し活動できた。図書整備等を行ったり、定期的に各教室を回り各学年の児童の発達段階に応じた図書を選定し、読み聞かせを行ったりすることができた。

これらのことが、本校の教育活動の一環である「読書科」の充実にも大いにつながっている。

具体的な活動としては、以下の通りである。

(図書室の整備)

- ・学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行った。
- ・学校図書館の室内の掲示を工夫し、児童が、読書に親しめるような環境作りを行うことができた。

◎これらのことから、学校図書館に子供たちがすすんで来室し、「本を読みたい」という気持ちをもつようになり、「調べ学習を行いたい」という、意欲をもって学習したりできる場となった。

(読み聞かせ活動)

- ・朝の時間を活用し、第1学年から第6学年までの各学級を訪問して、読み聞かせを行うことができた。
- ・読む本は、学年の発達段階に応じ選定した図書を用い「読み聞かせ」の楽しさを子供たちに味わわせることができた。
- ・「1組の日」、「2組の日」と、読み聞かせを行う学級を設定し、応援団の方にも無理がない活動内容を工夫しながら、取り組むことができた。

◎これらのことから、どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて「読み聞かせ」に聞き入る様子が見られ、確実に本好きな子供たちが育ってきている。

○本校の特色の一つである「荒川環境学習」には、応援団の協力が欠かせない。今年度も4年生の総合的な学習の中に位置付け、児童が「互いに考え、楽しむ」という活動が実現できるような支援をしていただいた。

◎このことから、実際に荒川の現地に行き、体験的な学習活動を行う取組が充実した。

○運動会の準備や後片付けの作業に、「パパスクラブ」をはじめとする保護者の方の協力が多くあった。「学校を応援したい」という気持ちをもつ方が多く、学校を支えていただいていることがよく分かる。

### <課 題>

○組織編制上の課題として、子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーの方もいる。無理なく多くの保護者の方や地域の方(卒業生の保護者含め)が学校応援団として参加できるよう、少しずつ組織や取組内容を工夫していく必要がある。

○図書室の環境整備や読み聞かせ活動を授業や図書委員会の活動とリンクさせ、児童と応援団がお互いに関わり合いをもてるような工夫を今年度行ってきたが、さらに検討をしていきたい。

○応援団の活動の様子をホームページ等で紹介し、その活動を今後も、広く周知していくようにする。

## 5 コーディネーターより

本校PTAと学校応援団が連携し、運動会の学校行事にも取り組めました。小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くなります。これからも、「ひがしっ子」の身心共に、健やかな成長のために、我々大人が互いに協力し合いながら、「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思います。日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。

## 6 学校長より

平井東小学校は、多くの場面で、子供たちの学校生活や学習活動を支援して下さる「学校応援団」の皆様によって、支えられています。

読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間には「読み聞かせ応援団」の皆さんが参加して下さる日があります。子供たちは、その時間も楽しみにしております。

また、「図書整備応援団」の皆さんは、毎週1回は図書室に集まり、図書の整備等や、子供たちが、活用しやすい図書室を目指し、環境作りを工夫して下さっています。

また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では、地域の方が講師となって、荒川について教えてください。

4年生の児童が、荒川に出かけて活動をするので、安全の確保は重要な課題です。大勢の保護者の方々が見守りに来てくれており、大変ありがたいです。このように、平井東小学校を愛する保護者・地域の方々が、学校応援団として活躍して下さることを大変ありがたく思っております。今後も、どうぞよろしく願いいたします。

# 平井南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井南小学校 校長 岡田 盛雄  
 コーディネーター 阿部 美代子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	34人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校安全見守り隊	登校日毎日 登校時の安全見守り	21人
クリーン作戦世話人	年2回(感染症予防のため休止中)	2人
読み語りの会	月1回 学級に入って読み語り	9人
学校図書館整備支援	月1回 学校図書館整備	9人
盆踊り指導	年1回 運動会の「東京音頭」指導	2人



## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

今年度も、感染症対策の徹底を図りながら学校応援団の皆様による活動を行っていただきました。

「登校安全見守り隊」の活動については、21人にのぼる地域の皆様に、毎朝所定の交差点に立っていただき、児童の安全を見守っていただいています。登校時刻に往来する車や自転車に横断機で合図を送るなど、子どもたちの登校を助けていただくことができました。また、登校する子どもたちに「登校安全見守り隊」の方々から必ず「おはようございます。」と声をかけていただくなど、継続的に挨拶指導を行っていただきました。このことを通して、子どもたちの挨拶に対する意識や、地域への帰属意識などを高めていくことができていると感じています。また、登校中の児童以外の通行中の方にも率先して声をかけていただくなど、不審者等の防犯対策としても効果を感じています。

「読み語りの会」の活動については、9人の地域の皆様に月1回、感染症対策を徹底した上で、各学級での本の読み語りをしていただいています。毎回、読み語りをする本が重ならないように連絡を取りながら様々な本に触れられるようにしていただいています。読み語りに聞き入る子どもたちの様子からは、読み語りの機会を楽しみにしている気持ちや読書に対する意識の高まりを感じます。

「盆踊り指導」については、運動会に際し、1年生を対象に「東京音頭」を教えていただきました。地域にいらっしゃる日本舞踊名取の方にお教えいただき、初めて東京音頭を踊った1年生もすぐに踊りを覚えることができました。運動会では全校児童で東京音頭を楽しく踊ることができました。

### <課題>

今年度も感染症予防の観点から学校応援団と子どもたちが協力して行うクリーン作戦（地域清掃）を中止しました。今後、感染症の状況の改善や社会情勢等を踏まえ、クリーン作戦再開の検討を進めていきます。地域の方と共に地域の清掃をすることで、地域を愛する心を醸成することができます。また地域伝統の「灯籠流し」「昔遊び」についても同様に再開の検討を進めていきます。

「読み語りの会」は、常時協力者を募集していますが、新規協力者がなかなか集まらない状況が続いており、引き続き方法を工夫して勧誘をしていきます。

学校応援団の皆様気軽に活動していただける環境を整え、特に学生から子育て世代を含む協力者の拡充が必要だと感じています。このことを踏まえ、持続的・発展的な学校応援団の活動について、幅広く検討していくことが課題となっています。

## 5 コーディネーターより

感染症対策による制限のある中ではありますが、学校応援団の皆様の協力の下、学校や子どもたちの活動を支援することができました。学校応援団の皆様の協力を感謝いたします。今後も支援体制の充実に向け、感染症や社会情勢等の状況を見ながら学校応援団員同士が交流できる機会の設定や、学校との連絡体制の整備など、学校応援団員同士のつながり、学校との連携を更に深めていきたいと考えています。

## 6 学校長より

平井南小学校の学校応援団は地域の皆様に多大な支援をいただき成り立っています。地域の皆様と学校が共に歩んで児童の健全育成に努めています。地域の方々を中心とした学校応援団の皆様の多大な支援に心から感謝いたします。温かい地域の皆様と共に歩んできたのが、平井南小学校です。「登校安全見守り隊」や「読み語りの会」などをはじめ、多くの団員の皆様から応援をいただいて参りました。児童のより良い成長のため、教職員一同、精一杯努力して参ります。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

# 松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松江小学校長 木村 紀朗  
コーディネーター 八武崎 秀紀

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	487人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り（旗振り）	週5日	450人
図書館ボランティア	不定期	12人
花壇ボランティア	不定期	10人
踊りボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
昔遊びボランティア	感染拡大防止のため中止	0人
ベルマークボランティア	不定期	40人
漢字検定ボランティア	年3回	12人
学校行事ボランティア	不定期	26人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、前年度より活動を拡大することができた。
- ・登校見守りボランティアでは、全ての保護者に登校時の旗振りをお願いし、児童が安全に登校することができた。
- ・図書館ボランティアでは、児童への読み聞かせ、学校図書館の整備をお願いし、読書環境の改善につながった。
- ・教室環境を整え、感染対策を行った上で、児童に対面した活動を行うことができた。
- ・花壇ボランティアでは、校庭で使用していない花壇の一面を耕し、季節に合った植物を育てていただいた。
- ・漢字検定では、児童の申し込み、受験料の振り込み等を漢字検定ボランティアの方々をお願いし実施することができた。
- ・学校行事ボランティアでは、運動会や学習発表会での受付、学校内外での見回りをお願いし、不審者や保護者同士のトラブル等未然に防ぐことができた。

### <課 題>

- ・ボランティアの人材確保が年々難しくなっている。
- ・登校見守りボランティアでは、朝の忙しい時間帯でのボランティアの為、参加が難しい保護者もいる。
- ・今年度実施できなかったボランティア活動もあり、ボランティアの内容の引継ぎが課題である。

## 5 コーディネーターより

児童と対面して活動できたことが何よりもうれしいことでした。松江小学校のサポーターズクラブ（MSC）は、「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、児童が安全で楽しく生活できるよう支えていく組織です。支援の輪をなくさないようにするためにも、子供たちの笑顔を直接味わう経験は、MSCの方々にとっても良かったことだと思います。

今後も、子供たちの笑顔のため、今できることを模索しながら活動を広げていきたいと思っています。

## 6 学校長より

いつも子供たちのためにご尽力いただき、保護者、地域の方々に深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症とともに過ごす日々は今年度3年目になり、少しずつWITH コロナの方向性も見出せるようになってきました。

いつもボランティアを募ってくださるPTA本部役員の皆様、ボランティアを快く引き受けてくださるMSCの皆様、そしてその活動を支えてくださる地域の皆様には、今後も学校での子供たちの笑顔をお見せすることで感謝の気持ちを伝えていきたいと思っています。今後ともご理解とご支援をよろしく申し上げます。

# 西一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立西一之江小学校長 川浦 孝彦  
 コーディネーター 小祿 智次

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	150人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア 「本はともだち隊」	図書整備：毎日休み時間 及び 夏休み期間の2日間	21人
	読み聞かせ：各学期1回(6月10月1月)	46人
父親ボランティア 「イクメンジャー」	校内外パトロール：学校公開などイベント時の不定期 昆虫飼育など教育活動支援：不定期	20人
安全指導	登下校見守り：不定期	100人
行事支援	学校行事・PTA行事支援：不定期	80人

図書ボランティア「本はともだち隊」  
本の読み聞かせ



カブトムシ小屋の整備



登下校の見守り



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

図書ボランティア「本はともだち隊」は図書室整備と読み聞かせの活動を、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底しながら、ソーシャルディスタンスを図って行ってきた。読み聞かせは、6月・10月・1月に企画し、実際に本を使うところと、大型テレビを使うところがあり、工夫しながら実施することができた。

父親ボランティア「イクメンジャー」の活動としては、昆虫飼育小屋の整備、行事での見守り活動、ミニ運動会企画があげられる。

本校の昆虫飼育小屋では800匹以上のカブトムシの飼育を行っており、父親ボランティア「イクメンジャー」が毎年春から初夏にかけて幼虫を掘り起こし、土の入れ替えと幼虫の数を数えている。今年度は昨年度に引き続きイクメンジャーと学校ボランティア、学校職員で実施することができ、1,673匹の幼虫を掘り起こすことができた。この幼虫は、3年生には自然観察用に一人一匹配布し、飼育委員会で他の幼虫を飼育した。行事での見守りでは、運動会や学習発表会実施時に、学校の敷地回りでの安全確保などの校外パトロールとして見守りも行った。

登下校時の保護者、地域の方の見守りの強化では、保護者・地域の方の協力を得ることができ、事故を減らすことにつながっている。また、登校時だけでなく下校時や放課後も危険であることを再認識し、交通安全を中心に呼び掛けることができた。(学校応援団以外にも、地域ボランティアや企業ボランティアによる見守りも実施され、連携していただいている。)

### <課 題>

人材確保が毎年の課題である。今年度も行事やイベントが中止となり、父親ボランティアの活動する場が少なく宣伝する機会が少なかったので人材確保が難しかった。学校管理職やコーディネーターが変わっても継続して行うことができること、世の中の情勢にも柔軟に対応できるように確実なものにしていくことが課題である。

また、登校時のみでなく下校時や放課後の見守りを学校応援団の方々の力を借りて充実させていくこと、児童の学力向上や体力向上につながる活動の充実を図ることも視野に入れていきたい。

## 5 コーディネーターより

西一之江小学校では学校応援団としての活動がスタートしてから12年になる。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で活動が限られてしまった。そのような中、5月の昆虫小屋整備、6月の運動会への協力、11月の学習発表会への協力を行うことができた。今後も応援団の活動を広く周知しながら「西一応援団」の輪を広げていくことに努めていきたい。多くの方々のご協力をいただき、児童の安心・安全、笑顔のために、全力投球で学校、地域、保護者と力を合わせて取り組んでいきたい。

## 6 学校長より

本校は、「明るい学校」「楽しい学校」「魅力ある学校」を教育方針の柱とし、『笑顔』『元気』『思いやり』あふれる学校づくりを保護者や地域の皆様と協働して進めている。具体的には、「各教室での読み聞かせ」「昆虫飼育支援」「俳句指導」「地域の昔のお話」「鼓笛隊の地域行事でのパレード参加」等多岐にわたる教育活動でご支援いただき、学習支援や環境整備、健全育成等、様々な面でご活躍いただき教育効果を上げてきた。

今年度もコロナ禍での活動となり、残念ながら、中止となった取組もあるが、実施することができた行事の際には、受付等の対応や学校内外のパトロール等にも携わっていただいた。

管理職やPTA会長が代わっても、地域の皆様の学校に対する熱い思いは、開校当時から今日までしっかりと引き継がれ、息づいているので、コロナが落ち着いた際には、また、三者が協働して、子供たちに郷土愛や愛校心を育む機会をつくり、「西一応援団」の更なる充実を目指していきたい。

## 第二松江小学校 学校応援団 実践報告書

### 1 校長及びコーディネーター氏名

第二松江小学校長      和田 直樹

コーディネーター      打田 淳次

### 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	77人
	学生ボランティア	0人

### 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り・くすのき五葉会	毎朝	30人
図書ボランティア	週1日	20人
食育パートナー	不定期	10人
地域ボランティア	不定期	4人
花いっぱい活動	不定期	13人

#### (1) 安全・安心に関わる応援団

・「くすのき五葉会」による登下校の見守り活動。PTAによる登校班での登校支援、旗振り当番での交通安全の見守りと協力しながら実施。



くすのき五葉会登校見守りに感謝する会

#### (2) 学習活動に関わる応援団

・5年生（和食）、6年生（洋食）のテーブルマナー教室や、各学年のバイキング給食、えだまめやとうもろこしの皮むきで栄養士のサブティーチャーとしてご活躍いただいた。



食育パートナー

#### (3) 読書科に関わる応援団

・①読み聞かせグループ②補修グループ③図書室装飾グループに分かれて計画的、継続的に活動した。

#### (4) すくすくスクールにかかわる応援団（地域ボランティア）

- ・折り紙教室、おはなし会などをすくすくスクールのサポートセンターの協力を得て活動を充実させている。

#### (5) 花いっぱい活動

- ・環境美化のため、花や野菜の栽培の活動を行っている。



花いっぱい活動で花を植える

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校の長い歴史の中で培われた地域の諸団体や個々のボランティアによる協力体制が堅固であり、新型コロナウイルス感染症の蔓延中も各自が体調管理をしっかりとしながら活動を継続することができていた。特に、登校見守りのくすのき五葉会の皆様には、悪天候の日や感染症の拡大中も1日も欠かさず登校見守りに携わっていただくことができた。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染症の対策をする必要があったが、学校と連絡をとりあいながらできることをできる時期に行うことができた。

## 5 コーディネーターより

今まで本校で培ってきた児童の下校の見守り、図書ボランティア、食育パートナーなどの活動を行うにあたり、多くの方々にご協力いただきました。感染症対策も行いながらの活動には頭が下がります。今年度で百年を超える本校の歴史も終わることとなります。子どもたちが二松小最後の一年間を実り多いものとするよう、学校と密に連絡を取り合いながら、活動を行うことができました。今までありがとうございました。

## 6 学校長より

今年度も、学校応援団の方々に御協力と御支援をいただき、本校児童は明るく元気に学校へ通うことができました。本校と子供たちを愛し、惜しみなく協力していただけることに深く感謝申し上げます。

本校は今年度で閉校となります。今までありがとうございました。

# 西小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小松川小学校長 青山 美和子  
 コーディネーター 塚原 一希

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	208人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況（今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動なし）

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守りボランティア	毎朝、校門前で児童の交通安全の見守りをする。	0人
下校見守りボランティア	4月末まで、1年生の下校時の見守りをする。	0人
校外学習（行事）見守りボランティア	校外学習時に安全を確保し、指導の補助をする。	0人
清掃ボランティア	校内の廊下・階段の清掃をする。	0人
調理実習指導ボランティア	調理実習時の安全見守りと指導補助を行う。	0人
5年生学習支援ボランティア	毎週木曜日に5年生の外国語学習の支援を行う。	0人
店の仕事体験ボランティア	店の仕事の説明と、仕事の体験指導を行う。	0人
図書室整備ボランティア	週1回、本の整理や修理、壁面装飾などをする。	0人
読み聞かせボランティア	月1回、朝読書の時間に本の読み聞かせをする。	0人
学校環境ボランティア	季節ごとに花壇に花を植える。	0人

登校見守りボランティア



読み聞かせボランティア



図書室整備ボランティア



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は活動なし。

### <課 題>

○学校ホームページや読書ボランティア通信などを通じて、ボランティアの活動を紹介し、ボランティアの人材発掘に引き続き、力をいれていきたい。

## 5 コーディネーターより

昨年度よりコーディネーターを務めさせていただいている、PTA会長の塚原一希です。昨年、今年度は新型コロナウイルスの影響で主だった活動ができませんでしたが、例年、多くのボランティアの方々活躍により、学校教育活動に協力できていると前任者から聞いております。

来年は今年度活動できなかった部分も含めて、例年以上に、学校と保護者、地域の方々を結び付けることに注力して、子供たちが、より充実した学校生活を送れるように活動をしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で活動がすべて中止となってしまいましたが、本校の教育活動が様々に展開できますのも、ボランティアの皆様のお力添えによるものです。例年、学校全体、または、各学年の活動や学習のめあてについて、ご理解いただきご協力いただくことで、子供たちは安心して学習に取り組むことができいております。

ボランティアの皆様の中には、お子様が既に本校を卒業して20年以上たっている元保護者の皆様が多くいてくださることも心強い限りです。地域に愛され大切にされている学校だからこそ思い、ボランティアの皆様、地域の皆様の期待に応えられますよう、さらに子供たちと共に頑張りたいと思っております。

今後も、子供たちの安全安心な学校生活のために、多くのお力をお貸しいただけますよう学校の教育活動の様子を学校HPや学校だより等で、保護者の皆様、地域の皆様に発信してまいります。

# 大杉小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉小学校長 浅野 努  
コーディネーター 池田 政弘

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	34 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登下校見守り	週5回（土曜授業日も）	5 人
環境ボランティア	年4回の学校花壇の手入れ	7 人
読み聞かせボランティア	年8回、朝読書の時間の読み聞かせ	22 人



登校時の見守り活動



年8回の読み聞かせ活動



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

制限・制約のあるコロナ禍においても、毎日子供たちにとって安全・安心な環境づくりのために、ご尽力いただいたことが、何よりの成果といえる。こうした方々の活動に支えられて、今年度も安心して教育活動に取り組むことができた。

登下校の見守り時には、子供たちが直接感謝の気持ちを素直に言葉で伝えていることも、教育的な価値があるとともに、学校応援団の皆様にとっての喜びにつながっているとのもので、嬉しい限りである。

学校のよりよい環境づくりという視点においても、環境ボランティアにより、1年を通して、玄関や校庭の花壇を季節感のある花で満たしていただき、情操教育の一助として、大いに役立っている。

読み聞かせボランティアによる読み聞かせのおかげで、子供たちの読書への興味・関心が深まり、毎回の読み聞かせの時間をとても楽しみにしている子が増えている。

こうした子供たちの笑顔や感謝の気持ちが見られたことも、大きな成果といえる。

### <課 題>

活動の内容によっては、より多くの方の御協力をいただくことやこれまで数年取り組んできたことが、効率的に、また、よりよいものとして子供たちのため、学校のためにつながるような活動となるよう計画を見直していくこと。さらには、新たな人材の確保や育成もふくめた活動となるような場も設定していくこと。これまでの日常的な取り組みが可能となったときには、新たな価値観や新しい視点で、本活動が継続して引き継がれるようにしていく。子供たちのことばや手紙により、感謝の気持ちを伝える機会を教育計画に位置付け、取り組んでいく（勤労感謝集会など）。

## 5 コーディネーターより

昨年度までのコロナ禍に比べ、学校行事の復活や日常的な活動が増えてきたことで、子供たちのために活動する機会が増し、嬉しく思う。運動会や学校公開などの行事を通して、学校へ足を運べたことは本当によかった。今後は、ボランティアをしていただける方の人員の拡大と新しい方への引継ぎについてすすめていきたい。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、感謝しております。本校の子供たちが日ごろからいろいろな場面でたいへんお世話になり、本当にありがたく感謝しかありません。お力添えをいただくとともに、時として、貴重な御意見や御助言をいただけることも、校長としてたいへん嬉しく思っております。

今年度もコロナ禍の下ではありましたが、少しずつ本来の学校教育の姿を取り戻しつつある中、皆様は、学校にとって実に力強くありがたい存在と感じております。

今後とも、よりよい連携を図り、本校の教育活動ならびに子供たちの健やかな成長のために、御理解御協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

# 大杉第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉第二小学校長      笠井 三恵子  
 コーディネーター      田崎 國男

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	214人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	月2～3回	22
登校班及び旗振り	常時	50
ふれあいウェンズディ	毎月第3水曜日 (感染拡大防止の観点から今年度中止)	20
読み聞かせボランティア	月1回(朝読書)	26
学校図書館ボランティア	年間(随時)	16
学校内外清掃環境整備	年間(随時)	30
杉ニサポーターズ (児童の安全等サポート)	年間(随時)	50



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「見守り隊」の活動は、感染症拡大防止対策を講じながら、実施することができた。1年生の下校に付き添って見守っていただいたことで、安全・安心に下校できたことはとてもありがたかった。  
また、小松川警察主催で「通学路安全運転呼びかけ隊委嘱式及び街頭活動」を実施し、新たに見守り隊に加わってくださる方を迎え、五北町会及び大杉町会の有志の方により安全な下校のために保護誘導活動を行っていただいた。今年度は、学校応援団としてのこれまでの活動について東京都教育委員会より「学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状」をいただいた。
- 児童は1年間を通して、「登校班」で登校している。PTAの方が毎朝、旗振りを行うことで、安全・安心に登校することができた。
- 学校図書館ボランティアは感染症拡大防止対策を講じながら、学校図書館の整備や児童への読み聞かせを行うことができた。児童の発達段階に応じて選書し、児童が本に親しむ貴重な時間とすることができた。

### <課 題>

- 意欲的に活動を行ってくださっているが、ボランティア活動に取り組んでくださる方が固定化する傾向がある。今後も活動を続けて来てくださった方に加え、新規加入者を増やし、活動を継続することや活動の幅を広げていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

大杉第二小学校学校応援団の13あるボランティア団体は、「できるときに」「できる人が」「できることを行う」ことをモットーに自分の意志で積極的に、大杉二小の子供たちの健やかな成長のために活動しています。これらの活動は、平成22年5月13日に始まり、今年で13年目となりました。

活動を通して、地域の人が互いのつながりを深め、児童にとって、地域にとって、よりよい環境づくりをめざしています。「見守り隊」は、五北町会、大杉町会、保護者の方など、常時20名程のボランティアの方々が、感染症拡大防止策を講じながら、学校の校庭に集まり、1年生の下校を見守り、自宅まで送っています。今年度は感染拡大防止の観点から活動を自粛しておりますが、「ふれあいウェンズデイ」は、例年子供たちと工作やゲーム、折り紙等を通じてふれあいを楽しんでいます。

これら「見守り隊」と「ふれあいウェンズデイ」の活動は、子供たちの健全育成に貢献する活動であり、私たちの誇りとなっています。今後も、学校、家庭、地域が一体となったボランティア活動を推進することを通して人と人との絆を結んでいくためにも、協力を惜しまない応援団でありたいと思います。

(田崎 國男)

## 6 学校長より

大杉第二小学校は、1975年（昭和50年）の開校より、これまで常に町会、PTA、PTAのOBの方々、地域近隣の皆様に厚く支えていただいております。

大杉第二小学校応援団は、様々な分野のボランティア団体の皆様から組織されています。学校応援団田崎代表のお言葉にある通り、本校の学校応援団は「できるときに、できる人が、できることを」行ったださっています。本年度は感染予防策を講じながら、応援団の活動を適宜状況に合わせて行い、本校の教育活動を様々な場面で支えていただきました。これからも、大杉第二小学校に通う子供たちの健やかな成長のためにボランティアの方々のお力添えをよろしくお願い申し上げます。(笠井 三恵子)

# 第三松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三松江小学校長      熊田 和則  
 コーディネーター      椎橋 治美

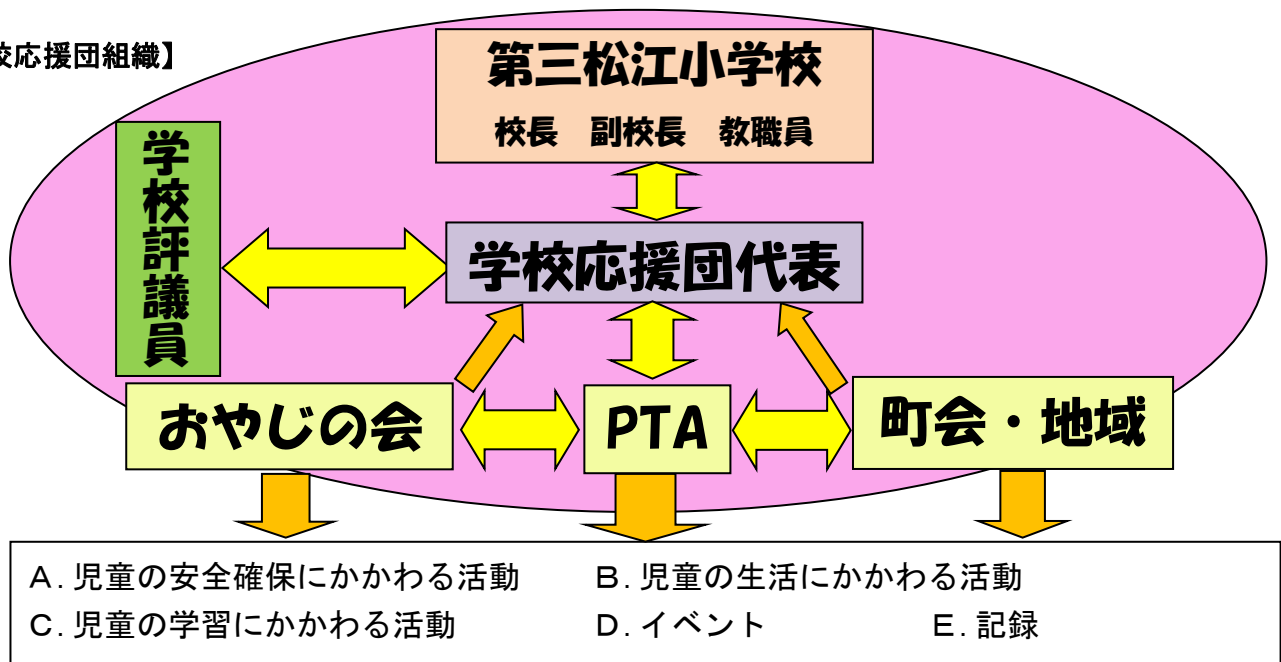
## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	212人
	学生ボランティア	4人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守りボランティア	毎日	43人
読み聞かせボランティア	月1回	50人
図書ボランティア	月3～4回	40人
イベントボランティア	不定期	70人
動物飼育ボランティア	不定期	5人
草花栽培ボランティア	不定期	4人
学習支援ボランティア	不定期	4人

【学校応援団組織】



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### (1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守り、読み聞かせ、学校図書館の環境整備等のボランティア活動を充実させることをめざして数々の取組を行った。多数のボランティアが登録している読み聞かせでは、全学級で月に1回は読み聞かせ活動を行うことができた。学校図書館の環境整備は、毎週1回行われ、年間を通して季節に合った壁面飾りが見られた。登下校の見守りは、小松川警察署と連携して、毎日行うことができた。

#### (2) P T A・おやじの会のイベントの充実

今年は、コロナ感染状況を見ながら、6月に「おやじんピック」、11月に「三松グランプリ」とP T A「秋のお楽しみ会」を行った。どの行事も児童の参加率が高く、大いに楽しむ姿が見られた。「秋のお楽しみ会」では、校庭でダイナミックな花火が打ち上げられ、P T Aやおやじの会の熱意が感じられた。



### <課 題>

今後は、地域の方々とのかかわりを増やしていくことで、学校応援団の存在や活動内容をさらに地域全体に周知し、協力を依頼できる体制を整えたい。

本校の卒業生がP T Aやおやじの会の行事、学校行事や児童の教育活動に関わることができ、その輪は広がりつつあるが、今後はさらにそれを広げ、幅広い年齢層の応援団を継続的に組織していきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動を振り返り、応援団員である保護者、P T A、おやじの会、地域や町会のみなさまにお礼を申し上げます。コロナ感染予防対策をした上での実施は課題も多かったと思います。大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。

今後も、より「安心・安全な学校」になるよう、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 6 学校長より

コロナ禍における三年目ということで、少しでも子供たちや保護者・地域のみなさまが失いつつある絆を取り戻す方法はないものか、と試行錯誤しながら活動を模索してきた一年間となりました。そんな中、三松小を見守る地域・町会のみなさん、そして、P T A・おやじの会のみなさんの「子供たちの笑顔のために」という強くあたたかい励ましの中で、『コロナ禍でもできる最高のイベント』を安全に楽しく実施していただきました。

まだまだ予断は許しませんが、これからも常に足元を見失わず、三松小らしく前向きに教育活動を進めて行ければと思います。どうぞこれからも、引き続きご支援ご協力をよろしくをお願いいたします。

# 大杉東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉東小学校長 高橋 真  
 コーディネーター 水越 晃



## 2 ボランティア数（令和5年1月末現在）

見守り隊

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	49人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	毎日	32人
図書館整備	毎週火曜日	5人
読み聞かせ	不定期(月2回)	12人

### 大杉東小学校学校応援団

#### 地域・町会

- ・見守り隊
- ・学校行事補助

#### PTA・保護者・サポーターズ

- ・見守り班
- ・サイエンスショー
- ・学校図書館整備
- ・学校行事補助
- ・読み聞かせ
- ・各委員会活動
- ・登校見守り(旗振り)

#### すくすくスクール

- ・寄席



読み聞かせ



一斉下校



寄席



学校行事補助



サイエンスショー

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### 【大杉東小学校見守り隊】

「大杉東小学校見守り隊」の活動が4年目となりました。今年度も保護者の皆様、地域の皆様と連携し「大杉東小学校見守り隊」を募集したところ、32名もの方々に賛同いただきました。また、令和2年度から小松川警察署交通課交通総務課「通学路安全呼びかけ隊」とも兼ねて活動しております。自分のできる範囲で、配付した「見守り隊」のベストを着て、登下校の際に路上に立って見守っていただいています。保護者のみでなく、地域の目もある中で、児童の安全な通学が守られております。

#### 【PTA旗持ち活動】

PTAの方が毎朝、旗振りを行い、安全・安心に登校することができています。

#### 【図書ボランティア】

毎週木曜日、学校図書館の本の修理や掲示物作成等の活動等を行っていただいています。季節が分かるような掲示物をたくさん作っていただいています。

#### 【読み聞かせボランティア】

不定期で月に2回程度、低・中学年に読み聞かせを行っていただいています。子供たちは、読み聞かせを心待ちにしています。

### <課 題>

- ・学校応援団の内容について現場のニーズを検証して、さらに充実が図れるようにしていきます。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度も十分な活動を行うことができませんでした。このような状況下で「学校や地域、保護者がより連携できる活動は何か」という視点で活動内容を見直していく必要があります。

## 5 コーディネーターより

保護者や地域の皆様方には、大杉東小学校の教育活動を支えていただいています。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、なかなか活動が行えませんでした。少しでも大杉東小学校の教育活動のお手伝いできればと考えております。これからも継続して、学校と地域、家庭を結ぶお手伝いという応援を行っていきます。子供たち自身が地域の一員としての自覚がもてるよう協力して育てていきたいと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

代表 水越 晃

## 6 学校長より

令和6年度の新校舎完成に向けて、今年度より2年間の仮設校舎での生活が始まりました。子供たちは様々な制限を受けていますが、学校応援団の皆様をサポートにより楽しく学校生活を送っています。また、見守り隊の皆様や旗振り当番の保護者の皆様のお陰で安全に登下校できています。日頃から子供たちを温かく見守り応援してくださる皆様に感謝申し上げます。

依然として新型コロナウイルスは終息に向かいません。これまで同様、感染防止対策のため、応援団の皆様にご活躍いただく機会を自粛しなければならない状況が続きますが、今後も学校は、「地域とともに歩む学校」「児童・保護者・地域の信頼に応える学校」を目指し、努力してまいります。ご理解並びにご協力をよろしく願いいたします。

校長 高橋 真

# 東小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小松川小学校長      高木 伊織  
 コーディネーター      池上 千恵子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	68人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
蓮田栽培支援	4月(蓮植え)、10月(蓮掘り) 不定期(蓮の世話)	17人
図書整備ボランティア	毎週木曜日	7人
学校行事支援	不定期	38人
おやじの会(行事支援)	不定期	6人

### ◇活動の様子



[蓮の栽培活動]



[図書ボランティア]



[学校行事支援]

- ・本校の特色ある教育活動を理解いただき、協力を得て取り組んでいます。
- ・仮設校舎での教育活動を支えていただき、また、多くの協力を得ております。
- ・不定期な取組もありますが、何年も継続して協力を得ています。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度より仮設校舎での教育活動が始まり、また、旧校舎の解体工事や新校舎の建設工事が進められています。そのような中、本校の伝統である蓮田の活動を継承するため、蓮田を守る会の皆様やPTAの本部役員の皆様、おやじの会やボランティアの皆様にご支援ご協力をいただきました。そのおかげで、4年生の代表児童による蓮植え、蓮堀体験や全校児童が蓮田の活動を見学しました。学校が新しく生まれ変わる中、長年続いている伝統行事を学校応援団の皆様のご協力により継承することができました。
- PTA本部役員をはじめ、ボランティアの方々の協力により、近隣校での運動会の実施、学習発表会での児童の安全管理や保護者の誘導、学校公開での受付などご支援いただき、仮設校舎の中、子供たちが安全・安心な学校生活を送ることができました。
- 図書ボランティアの方々が、松江図書館司書と共に丁寧に図書整備を行ってくださり、学校図書館が活用しやすくなりました。

### <課 題>

- コロナ禍での学校応援団の活動を、特にご年配の方にこちらが依頼することが難しいと感じます。また、児童との接触をなるべく避ける意味で、同じ空間での活動を制限せざるを得ない状況があります。
- ボランティアの方が固定化する傾向にあります。また、活動内容によっては、ボランティアの方の確保が難しいこともあるので、より多くの方に関わっていただけるように働きかけていきます。

## 5 コーディネーターより

- 今年度は、感染症対策に加え、校舎改築のため活動に制限が加わった中での応援団の活動となりました。そのような中でも、蓮田の活動、図書ボランティアの活動をはじめ、学校応援団の皆様のご協力により、状況に応じた活動を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。これからもコーディネーターとして、地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきながら、活動の幅を広げ、子供たちがより安全に楽しく学校生活を送れるよう協力させていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

- 仮設校舎での教育活動がスタートし、校舎改築が進む中、今年度も蓮田を守る会をはじめ学校応援団の皆様のご協力により蓮田活動を継続して行うことができました。蓮田の周りにはプレハブの仮設校舎が建ち環境が変わりましたが、これまでと同様に立派な蓮に育ち、本校の良き伝統を子供たちに伝えることができました。また、近隣校での運動会の実施、学習発表会での児童の安全管理や保護者の誘導、図書ボランティアや学校公開での受付など、実に多くの皆様に教育活動を支えていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校応援団の活動が縮小されたところもございましたが、その中でも年間を通して本校の教育活動を支援していただきましたことに感謝申し上げます。今後も皆様のお力をお借りしながら、教育活動をさらに充実させてまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 船堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀小学校長                    山下 靖雄  
 コーディネーター            田中 寿士

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	638人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	感染症拡大の状況を見極めながら、1学期末から月2回開催	20人
おはなしボランティア	感染症拡大の状況を見極めながら、1学期末から週1～2回開催	20人
安全見守り隊	週5回（月～金曜、および土曜授業）	3人
おたすけ隊	不定期	240人



今年度もコロナ感染症拡大により、多くの制限がかかる中での活動となりましたが、感染予防を第一に考えながらも、応援団の皆様のお力と工夫のおかげで、できる限りの活動を行うことができました。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・これまで行っていた図書室の環境整備や、校舎2階の中心に位置する「絵本コーナー」の環境整備は、ここ数年、コロナ感染症拡大の影響で規模を縮小した形で実施していたが、今年度は従来の週1回のペースで定期的に行うことができた。児童の読書活動および読書環境の充実のため、元の形に近い活動ができたことがよかった。
- ・読み語り（おはなし）ボランティアについても、ここ数年、コロナ感染症拡大の影響で規模を縮小した形で実施していたが、年度当初から週1～2回のペースで定期的に行うことができた。児童に読書の世界の楽しさを味わわせることができた。
- ・図書館の団体貸出しの選定が実施できたことで、児童が様々な種類の本に触れることができ、読書の世界を広げることができた。
- ・おたすけ隊の活動の一環として、昇降口の時計の飾り付けや絵本コーナーの装飾、各学年の掲示資料など、校内の掲示物を季節に合わせて作っていただいた。特に各学年の掲示資料については、ことわざを覚えられるような布製の掲示物や、算数のかけ算九九を覚えられるような掲示物を整備していただき、児童が日常的に楽しみながら学習することができた。
- ・今年度から登校時に、登校班による集団登校が復活した。それにともなって、毎日の登校の見守りを、旗振り当番を中心に継続的に実施し、児童の安全を守っていただいた。
- ・オリパラレガシー学習の一環として、おたすけ隊に学年ごとにスポーツや文化についての指導をしていただき、様々な運動や文化に親しむと同時に、運動・文化への関心を高めることができた。
- ・例年実施していた船小まつりやおやじの会のイベントは、元の形に近いスタイルで開催できた。今後に向けての方向性や課題を改めて確認することができた。

### <課 題>

- ・例年行っていた、葛西地区の重要な産業であった海苔漉きの体験や地域の昔の話を聞く学習については、昨年度に引き続き今年度も中止となった。感染症の状況をみて、授業の中で地域について学び、地域を愛する心情を育てていきたい。
- ・コロナ禍において、学校応援団としての在り方も含め、どのような活動が可能か模索していく。
- ・学校応援団と教職員との連携をどのように図るか。
- ・活動の活性化を図るため、学校応援団の活動を学校だよりやホームページ等を活用して、さらに広めていく。

## 5 コーディネーターより

昨年度に引き続き、今年度の活動も、コロナ感染症拡大の影響で、活動が制限された形となりましたが、その中でも工夫をして、可能な限りの活動を行うことができました。保護者や地域による「多くの大人の目や手」は、子供たちにとっては貴重なものであり、それによって子供たちの安全が守られ、充実した学びの体験となるので、今後も継続して、子供たちの心身の成長を豊かにする取り組みを、学校とともに積極的に行っていきたいと思っております。

## 6 学校長より

様々な制限がある中でしたが、「地域を愛し、次の時代を担う意識」を育むために、地域の自然や施設、文化を地域教材として、それらを知り尽くしている学校応援団のお力を借りながら、子供たちの興味関心を高めることができました。学校応援団の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

# 船堀第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長      則岡 小織  
コーディネーター      生井 敏昭

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	週1回（毎週水曜日）	10人
体験活動支援 親児の会 PTA	ウォークラリー（4月） ドッジビー&逃走中（7月） ドッジビー&ドロケイ（10月） 打ち上げ花火大会（12月）	10人
登校見守り	週5回	10人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 図書ボランティアの方々には、学校図書館の書架の整理や飾り付けをしていただいております。季節に合った装飾や児童が活動しやすい環境づくりをしていただいているおかげで、児童は本に親しみ、読書の時間を楽しみにしております。
- 今年度は、親児の会主催の新1年生対象のウォークラリーに加え、ドッジビー&逃走中、花火大会を実施することができました。感染症対策のため、対象学年を制限したり、会場の広さやルールを工夫したりしましたが、大変盛り上がりました。たくさんの児童の笑顔が印象的でした。
- 登校見守りボランティアの方々には、児童の登校の様子等を見守りに加え、通学路で危ない箇所はないか実際に見た上でのご意見もいただき、今後の生活指導にも役立っています。

### <課 題>

- 図書ボランティアは、まだ人数が少なく、保護者の方々に参加の声かけをしているところです。活動にご賛同いただける方はたくさんいらっしゃるのですが、新しくお手伝いをしていただける方がなかなか増えていかないのが現状です。
- 親児の会では、今年度の活動を踏まえ、より楽しいイベントを考えているところです。しかしまだ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、実施時点での感染状況などを考慮し、安全面・感染症対策を第一とした計画を立てる必要があります。そのためには、地域・保護者の方々の理解が必要です。児童に楽しい体験をさせるためにも、引き続き皆様のご協力をお願いしたいと思います。
- 児童の登下校の安全を守るためには、大人の見守りが必要不可欠です。車通りの多い場所や、見通しの悪い所など、事故や事件を未然に防ぐためにも、より多くの目があると安心です。

## 5 コーディネーターより

船二小の学校応援団としては、地域と協力して子供たちが安全に過ごせる街を目指しています。船堀は古くからの歴史ある地域としての面と、駅を中心とした新しい発展をとげた面をもち、新旧様々な素晴らしい文化がたくさんあるところです。今後も共働で活動する場面を設定し、多くの方々と学校を応援する態勢を築いていくことで、地域を愛する子供たちが増えてくれれば、と願っています。

## 6 学校長より

今年度は、感染症対策を講じながらも、少しずつ各行事やイベントを再開・実施をして参りました。参加している子供たちの明るい笑顔と楽しそうに活動している姿を見ると、多くの友達・保護者の方々や地域の皆様と一緒に過ごす時間は、子供たちの成長にとって貴重なものだと思えました。

今後も保護者・地域の方々にご理解・ご協力いただけるように、学校の様子をお伝えしていくとともに、子供たちの良いところをさらに伸ばしていけるような取組を考えてまいります。引き続きご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

# 葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

葛西小学校長            内野 雅晶  
 コーディネーター      石川 勝

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約90人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み語り	週1回（毎週水曜日）	57人
学校図書館環境整備	週1回（毎週水曜日）	22人
登校見守り	不定期（ほぼ、週2、3回）	5人
下校見守り	不定期（ほぼ、週2、3回）	5人

朝の「読み語り」



LAS図書館整備



「お話集会」



登下校見守り



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校図書館ボランティア(L A S)の活動により、常に学校図書館内は綺麗で整った状態であった。本の入れ方や収納の仕方など、細かなところにまで気を配っており、児童が使いやすいように工夫されている。
- ・読み読みの活動を今年度も継続して実施した。水曜日に行っている読み読りは、担任や自分の親以外の大人たちから本を読んでもらうことで、児童は真剣に話を聴き、話の内容を理解しようとする姿が見られた。読み読みに後に質問をする児童が多く、関心の高さを感じ取ることができた。
- ・12月の「お話集会」では、屋内運動場のスクリーンに画像を映し、L A Sの方が声色を変えたり、音響を入れたりしながら児童に披露して下さった。発表後には児童から大きな拍手が贈られた。
- ・登下校の見守りの方には、多数の目で児童の安全を見守ってもらい、児童は安心して登下校することができた。特に東門を出た所の車道を渡る児童の安全を見守っていただき、大きな交通事故がなかった。

### <課 題>

- ・学校図書館ボランティア(L A S)の活動において、お知らせや掲示物作成におけるパソコンのような媒体がないため、個人の物を活用することになってしまう。パソコンや iPad 等のタブレットとなると、備品扱いになる可能性が高く、学校応援団の予算では購入できない。学校の予算の中に組み込むべきか検討が必要である。
- ・ボランティア活動の内容を再度見直すことが必要である。現在は、学校図書館と登下校の見守りが中心となっているが、他にどのような活動が児童にとって、そして学校にとって必要なのか考えていく。

## 5 コーディネーターより

L A Sの皆さんのおかげで、いつも学校図書館は整備されていて、図書館を利用する児童にとって憩いの場となっているようです。「お話集会」を今年度も実施して下さり、児童にとって良い学びの場となりました。葛西小学校や葛西中学校の全児童生徒のために活動していただいていることを心より感謝しております。

児童の交通安全を見守る地域の方々にも大変お世話になっております。特に下校時、東門から下校する児童が交通事故に遭わないよう、安全な歩行の声掛けを含めた見守りをしていただき、お陰様で事故なく登下校を行うことができます。

葛西小学校応援団として、児童のことを大切に思う気持ちを地域と共に育み、そして努めてまいりたいと考えています。どうぞ、今後ともご協力よろしく願いいたします。

## 6 学校長より

今年度も葛西小学校応援団の方々には大変お世話になりました。学校全体の教育活動が滞りなく行われているのも、応援団の方のお力添えによるものと感謝しております。

登下校時の見守りに関して、特に下校時、児童は気が緩み、走って門を出て行く傾向があります。そのときに、見守り隊の方の声掛けや存在は児童の事故の未然防止につながっています。今年度も大きな交通事故がなく、本当に感謝しています。

学校応援団の方々には様々な場面でお力添えをいただき、児童の成長に多大な影響を与えて下さりました。今後とも、学校と保護者、地域の皆様と互いに良い関係づくりをしながら、葛西小学校の児童を育てていきます。

# 二之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江小学校長 大須賀 慎一  
 コーディネーター 須賀 英昭

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	353人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ・お話の木	毎月1回	28人
図書整備	毎月1回	28人
登下校の安全	週5回	327人
環境整備	毎月2回	1人
行事支援・催し	不定期	135人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1 読み聞かせボランティアによる月1回の読み聞かせが4月から定期的実施となり、児童が本に親しみ、朝の読書活動が充実した。読み聞かせボランティアには新たに複数人の保護者が加入し、総勢28名での読み聞かせが可能となった。昨年度に引き続きコロナ対応のため、児童は着席したままでの読み聞かせだが、書画カメラで挿絵を大きくテレビに映し出し、教室後方の児童にも見やすくするなど適宜工夫をしながら取り組むことができた。学校応援団の委託金を使用して、より読み聞かせを実施しやすくし、児童の読書への興味関心を高める環境整備を行う。
- 2 本校は学区域が広く登校時の見守りの場所も多い。PTA校外委員会の調整を経て実施する保護者による「朝の見守り当番」、PTA成人委員会の長期休業中パトロール、地域の方のご理解ご協力により児童の安全が保たれ、防犯の強化が推進された。
- 3 運動会では、本校校庭が使用できず葛西小学校で行ったため、受付や自転車置き場の案内、準備や片づけ等の支援をいただいた。展覧会では、自転車来校禁止の徹底を図っていただいた。
- 4 華道の先生が、環境整備ボランティアとして、職員玄関に季節のお花を生けて来てくださっている。今年度は展覧会実施期間にあわせて、すすくスクールにて生け花教室を開催した。参加児童は意欲をもち、個性あふれる作品を完成させた。作品はすすくスクール前の廊下に展示し、多くの方々にご覧いただいた。

### <課 題>

- 1 地域やPTAの人材を探す。
- 2 新たな応援団の活動を構築する。

## 5 コーディネーターより

二之江小学校は古川親水公園に隣接し、また、統合した二之江第三小学校も新川が近くに流れ、両校ともにとっても地域に密接した学校です。特に歴代のPTAのOB会やおやじの会が中心となり、すすくスクールの行事や伝統ある地域行事等に取り組んできました。皆、とても協力的です。

今年度も予定していた地域等の行事が中止になってしまいましたが、本校PTA主催「二之江小まつり」を10月に実施することができました。いまだ続くコロナ禍を受け入れつつ、児童一人一人が楽しめて、参加してよかったと思える催し物をたくさん企画していきたいと思います。そして、児童と大人が古川・新川の自然の中でよりたくさんの思い出を作り、地域を愛する心を育ててもらえたらと思います。二之江小学校のコーディネーターとして皆様のご支援・ご協力を切に願う次第です。

## 6 学校長より

平成22年度から実施された「学校応援団」の取り組みは、学校を応援してくださる様々な方々のご協力をしっかりと意識できるよい機会となっています。地域やPTAのみならず、「おやじの会」の協力も、学校応援団としてとても大きな力となっています。多くの方々が、児童のために学校応援団として活躍してくださることは、とても喜ばしいことです。

本年度もコロナ禍が続きましたが、皆様方の心強いご理解とご支援は、本校職員一同が児童や地域のために一層頑張る大きな原動力になっています。

今後も子供たちのために学校と保護者、地域の皆様が相互の信頼で結ばれ、協力し合える二之江小学校を目指してまいります。

# 二之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第二小学校長 杉 山 勇  
 コーディネーター 石 澤 多 恵 子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	14人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーンボランティア	月1回程度 不定期	4人
蓮田愛育会	4月蓮植え 11月蓮掘り	7人
え・ほんの会	読み聞かせ月1～2回 図書整備不定期	35人
飼育ボランティア	連休 長期休業中	10人
金魚の養殖の紹介	4年生 年1回	1人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

本校の学校応援団の活動は、学習支援・環境整備・地域の伝統継承・飼育・読み聞かせなど多岐

にわたっている。また、学校応援団の方が活躍されている分野を学習素材とした「金魚の養殖」「俳句指導」の活動も定例化し、本校の教育活動にお力をいただいている。

しかし本年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の多くについては、見合わせや規模の縮小を余儀なくされてきた。とくに「ゆうほ」の皆様による学習支援については、児童と直接的な関わりが多いため、今年度についてもなかなか再開の目途は立っていない。

そのような状況の中でも、「まずできるところから。」という心強いお声をいただいている。「例年並み」という活動の判断基準を見直し、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点に基づきながら、可能な活動を探っている。

## ＜課 題＞

保護者以外の応援団の方の高齢化が進み、次世代の人材不足が課題としてあげられる。新型コロナウイルス感染拡大防止に関して、特にご高齢の方の活動については、安心して活動していただけるよう、細やかな健康上の配慮が求められる。学校からの一方的なお願いとならないよう、お一人お一人の意思確認をしっかりと行いながら進めてきた。

貢献いただいている方々が固定化されてきていることも引き続き課題となっている。様々な分野の人材を活用していくことが今後の課題となる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。

また、ホームページ等を活用して、応援団の活動内容をアピールしたり、人員募集を計ったりすることで、さらに活動を活発にしていきたい。

## 5 コーディネーターより

学習支援ボランティア「ゆうほ」は、約10年前から3年生～6年生までの算数の支援をしています。学習内容が分からなくて戸惑っていたり、自信をもてずにいる子供たちにヒントを与えたりして理解できるようサポートをしてきました。今年度も、昨年度一昨年度同様に残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響から、実質的な活動ができていませんが、その都度状況を確認しながら、活動再開の目途について気にかけている状況です。

グリーンボランティアは、環境の良い学校で子供たちを学ばせてあげたいとの願いから活動が始まり、校庭花壇の整備を行っております。特に、保護者の方が多く来校される行事前に合わせて新しい草花を植えています。

また、「え・ほんの会」では、図書室の整備や子供たちに読み聞かせを行っております。子供たちは、真剣に話を聞いて喜んでくれるので、とても励みになりうれしく思います。

## 6 学校長より

本校の学校応援団の活動は、平成20年江戸川区のモデル校として始まりました。そのため現在でもとても充実しています。これは、令和元年度より応援団長を引き受けていただいた堀口様をはじめ、石澤コーディネーター様、地域、保護者、PTA及びPTAのOB等多数の方々为一体となり、変わらぬ活動をしてくださっているお蔭とっております。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のため、多くの活動の見直しや制限を余儀なくされましたが、そのなかでも、児童の支援を始めとし、学習環境の整備、安全安心の推進のために、様々な活動をしていただいております。応援団の方々の「子供たちの笑顔のために・・・」というお気持ちに、感謝を申し上げるばかりです。

児童には、平日頃より地域を見つめる目、地域に感謝する心、地域に貢献する姿勢を育てる努力をしております。

これからも、学校と共に児童の健全育成に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。

## 第二葛西小学校 学校応援団 実践報告書

### 1 校長及びコーディネーター氏名

第二葛西小学校長      平川 惣一  
 コーディネーター      五十嵐 英男

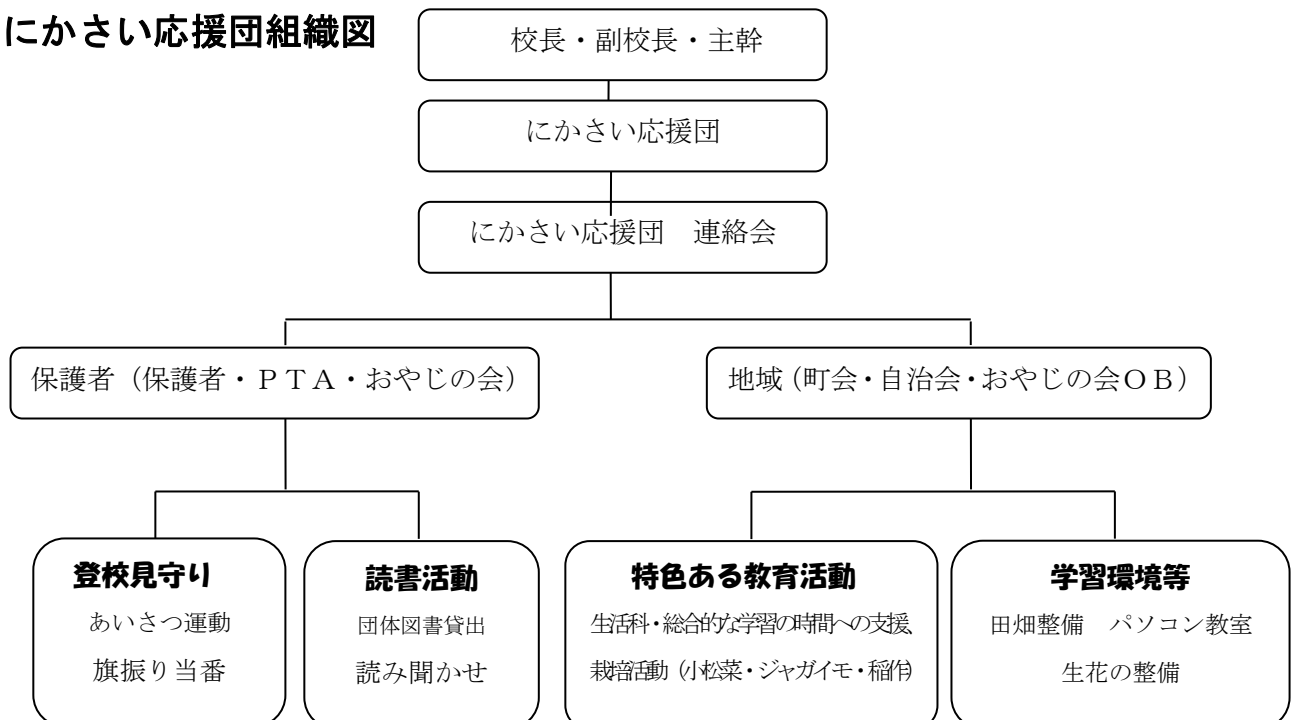
### 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	796人
	学生ボランティア	0人

### 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書室整備	毎週金曜日	96人
読み聞かせ	不定期	142回
団体図書貸出	月1回（年10回）	105人
登校見守り	週5日	770人
集団回収	月1回	505人
おやじの会イベント	7月、12月に各1回	55人
二葛西まつり	11月	350人
漢字検定	9月	25人

#### にかさい応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

昨年度に引き続き、登校時の見守り（旗振り当番）、東葛西図書館の団体貸出し、図書室整備、集団回収等PTA活動の支援など、日常的な取組を継続していただきました。また、昨年度は後半から再開した、各教室でのボランティアの方による読み聞かせを年度当初から実施することができました。

さらに、二葛西まつり、おやじの会のイベント（2回実施）、漢字検定の実施、見守り当番の割り振り方法の改善など、社会の状況を鑑みながら本来の姿に戻し、さらに発展させていこうという動きを生むことができました。

このような活動の活性化が、子どもたちの多くの笑顔につながっています。

### <課 題>

今年度は、コロナ感染症対策のための活動制限を少しずつ緩和し、年度当初から、読み聞かせボランティア活動を再開した。図書館ボランティアは今年度も開催することができ、回を重ねるごとに参加者が増え毎週金曜日に図書館の整備や本の修繕を行っていただいた。

登校時の見守りについては、年度途中からPTA本部、校外委員が主体となり、円滑に分担を決め確実に周知できるようにと改善を図った。今後、この方法が定着していくように進めていただきたい。学校が主体になっている活動が多いため、来年度はボランティアの方々とは相談しながら新しい活動にも取り組んでいきたい。

## 5 コーディネーターより

「にかさい応援団」の活動は、地域の方々とPTA、おやじの会が協力して活動しています。今年度もコロナ感染症対策のため、活動制限が続いた面もありましたが、少しずつ再開をしたイベントや安全見守り等の活動に多くの参加者、協力者が集まり、充実した活動を行うことができました。「にかさい応援団」の活動は、子どもたちのために活動して下さる方が多く、たいへん感謝しております。

今後も活動を続け、さらにその内容を充実させていくことを大切に、これからも「にかさい応援団」の活動を支援していきます。

## 6 学校長より

本校では、平成22年から学校応援団を「にかさい応援団」と名付け12年が経ちました。保護者、地域の皆様と一緒に子どもたちを育てることを目的にしております。

今年度も旗振り当番、図書館整備、読み聞かせなど、様々な取組の中で子どもたちを育てていただきました。引き続きのコロナ禍ではありましたが、徐々に本来の姿を取り戻そうと、年2回のおやじの会のイベント、3年ぶりの二葛西まつり開催、PTAによる漢字検定等、地域、保護者の方々による活発な活動が繰り広げられました。

また、今年度は開校90周年の記念の年ということで、記念誌の作成、式典の計画運営、お祝いの会等には、多くの地域の方々にご参加、ご協力をいただきました。

未来に向けて子どもたちの可能性を大きく広げるためにも、「にかさい応援団」の活動を今後もより一層充実させてまいります。

## 第三葛西小学校 学校応援団 実践報告書

### 1 校長及びコーディネーター氏名

第三葛西小学校長            佐々木 恵子

コーディネーター            由良 江美子

### 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	451人
	学生ボランティア	0人

### 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校の見守り	週5日	451人
図書整備・図書館装飾	週1回(12月より)	11人
夏休み前親子安全見守隊	感染拡大防止のため中止	0人
夏休みパトロール	感染拡大防止のため中止	0人
校外学習安全見守り	感染拡大防止のため中止	0人

### 学校応援団組織図



応援団（町会長、地域の高齢者の方々、学校評議委員、学校現PTA、学校OBなど）

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

保護者による毎朝の旗振り当番の協力により、あいさつと安全の見守りを行っていただいている。登校時の事故が無く安全に登校できている。

図書ボランティアでは、学校図書館の環境整美と児童への読み聞かせを実施していただいた。季節や行事に関連した掲示物や本の紹介に、子どもたちの読書意欲も高まり、読書の幅を広げることができた。

### < 課 題 >

登校時、スクールゾーン近くを車が通過したり、自転車がスピード出して逆走したりすることがあり、児童に道路の歩き方に注意を呼び掛けている。

今後も警察等、関係諸機関と連携して対応していく。ボランティアの活動内容を見直し、工夫するなどして、より多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。



## 5 コーディネーターより

より多くの保護者や地域の方々に積極的に参加・協力していただけるような活動や体制づくりを今後も続けていきたい。子どもたちの心身の成長を豊かにする取り組みを学校、保護者、地域が一体となって実践していく。また、活動の幅を広げられるように呼びかけていく。

## 6 学校長より

本年度も、制約の多い中、子どもたちのためにPTA・地域の方々に学校応援団としてご支援をいただいた。できる時にできることを実践していただくことで、子どもたちの安心、安全と学習の充実につながっている。

来年度も、コーディネーターの方を中心に多くのボランティアの皆さんと協力し、子どもたちのために教育活動をすすめていけるように体制を整えていく。

# 第四葛西小学校 学校応援団 実践報告書



(マスコット ダイヨンくん)

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第四葛西小学校長 永浜 幹朗  
 コーディネーター 堤 尚之

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	585人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
葛西さざなみ会	年2回	10人
登校見守り	週5回	570人
図書整備	不定期(今年度自粛中)	
図書読み聞かせ会	1・2年生 月1回	16人
行事支援	月1回	30人
花壇・環境整備	不定期	8人

### 田植え・稲刈り体験



### 花壇・環境整備





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、例年の活動をすべて行うことはできませんでしたが、昨年度に比べると、できることも増えてきました。保護者やPTA、地域の方々の多くのご協力をいただいで、様々な活動を体験しています。特に登校見守りに関しては、毎日ご協力いただいでいる結果、登校時の事故0を継続しています。第四葛西小の子供たちは、地域に見守られていることを実感し、感謝の気持ちが更に育ってきています。
- 昨年度は中止した1・2年生の読み聞かせを再開させたことで、本への興味を持つ児童が増えており、たくさんの本に触れ合う機会となっています。
- 葛西さざなみ会さんには、コロナ禍であっても、田植え、稲刈りなど実施していただいでいます。

### <課 題>

- 昨年度に続いて、新型コロナウイルス感染症予防のため、やむを得ず実施できなかつたものがありましたが、活動を再開したこともあります。今後も更に、感染予防を行いながら、教育活動を充実させていきます。
- 今後の状況を考慮しながら、学校応援団と学校がさらに協力し、計画的に取り組みを充実させていきます。

## 5 コーディネーターより

- 例年は、地域の方、学校、PTAの多くの方々と協力し合いながら、子供たちや参加者の皆様と触れ合うことができていました。今年度は、限られた状況のなかでの活動でしたが、来年度も充実した活動ができるようにしていきます。さざなみ会さんには大変お世話になっております。来年度も充実した活動ができるよう、よろしく願いいたします。

## 6 学校長より

- 多くの方々のご協力の上、制限のあるなかでの活動に取り組んでいただき、感謝しています。本校の伝統を大切に受け継ぎながら、学校応援団の活動を通して、さらに「笑・楽・好（しょう・がっ・こう）」のキャッチフレーズのもと、楽しく学校に通い、子どもたちの笑顔があふれる学校になるよう尽力していきます。

# 第五葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第五葛西小学校長 田中 雅生  
 コーディネーター 田中 成治

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	113人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	週5日	44人
読み語り	月1回	37人
図書環境整備	月1回	32人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「見守り隊」の活動によって安全な登下校を行うことができた。1年生の下校時など、特に児童に声を掛けていただいている。
- 読書ボランティアの方が、季節ごとに様々な掲示物を作ってください、児童への読書の意欲が高まった。
- 読み語り・学校図書館ボランティア共同の研修会が行われた。
- 読み語りの活動を児童も毎月、楽しみにしており、読み語りに聞き入る姿が見られる。読書活動への興味関心も高まっている。

### <課 題>

- 昨年度から学区域が広がったため、その地域の「見守り隊」も募集しているが、なかなか増えていない。今後も募集していく。
- 今年度の活動の積み重ねを生かし、さらに充実した活動を行っていく。次年度に向けた引き継ぎを行う。

## 5 コーディネーターより

- 「地域・学校・PTAを中心に、学校を応援する」ことを信条に、学校応援団の代表として、日々努力しております。

今年度はPTAのフェスタなどPTA行事も復活し、展覧会などでは、子供達の頑張る様子を目にすることができました。

今後も、学校のために、学校に協力する団体を繋ぐ架け橋となり、第五葛西小学校の子供たちの安全と安心を支えることを目指していきます。

## 6 学校長より

- 学校応援団の皆様には、日頃より子供たちの安心・安全や豊かな学びへの多大なるご協力とご支援に深く感謝申し上げます。今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、様々な学校行事等に取り組みました。地域の方々、保護者の方々との連携をより一層深め、地域、保護者、学校が一体となった教育活動を推進してきました。

「見守り隊」の皆様には、個人での登下校にもかかわらず、毎日通学路の安全を欠かさず見守り、子供たちに温かい声掛けをしていただきました。異なる下校時刻ごとに見守りを行っていただき、事故の発生をゼロとすることができました。

また、読書ボランティアにつきましては、金曜日の読み語りにおいて全学級で読み語り活動をしていただきました。児童の発達段階に応じた書籍の選定や児童の興味を惹くような読み語り、読書活動の充実が図れました。また、図書環境整備ボランティアの活動により、学校図書館の書籍整備が図られ、子供たちが読書に親しみ、読書活動への興味・関心が高まっております。

今後も、地域や保護者の皆様のご支援をいただきながら、教育活動のさらなる発展を目指していきます。

# 第六葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第六葛西小学校長 山本 浩一  
 コーディネーター 関口 光治

## 2 ボランティア数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	212人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
ぶっくまま・ぶっくまサポート	週1回（毎週木曜日）	73人
読み聞かせ	週1回（毎週金曜日）	73人
登下校安全指導	週5日	(500人) ※保護者全員
授業の補助	週1回（毎週水曜日）	1人
安全教室の補助	不定期	25人
行事支援・六雄会	各行事	40人



たこ作り



図書整備



自転車運転免許教室（3年生）



朝の読み聞かせ



ろくっこまつり



サマーキャンプ（デイキャンプ）

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1 コロナ禍3年目となり、昨年度まで中止や縮小となっていた応援団の皆様による活動が、徐々に再開された。活動の際には、新型コロナウイルス対策を行った上で、工夫して活動していただいた。
- 2 子供たちが毎年楽しみにしている「ろくっこクラブ」の活動は、飲食を伴わない活動を工夫していただいた。新しい企画として行った「縄文土器を作ろう」の活動は、密を防ぐために2部構成で行い、たくさんの親子が楽しい時間を過ごすことができた。
- 3 読み聞かせ活動は、大型テレビに絵本を映し、マスク着用の上、アクリル板を活用しながら実施していただいた。タブレットを活用して、大型テレビに投影する方法も浸透し、子供たちは絵本の世界を大いに楽しむことができた。また、3年ぶりに学年合同の読み聞かせスペシャルも実施していただいた。
- 4 図書室の環境整備を展開していただくことで、子供たちが「本が好きになった」、「本で学びたい」という意識の向上があり、読書への関心が一層高まった。
- 5 安全に関しては、日常的な登下校の見守りに加え、12月7日には「安全・安心パトロール」を実施し通学路の安全を確認していただいた。

### <課 題>

- ・ 保護者の関わりが多い応援団は、子供たちが卒業をすることで、人的な確保をどのように進めるかが常に課題である。さらに、コロナ禍において親子で集まるイベントが制限され、特に新入生の保護者をボランティアにお誘いする機会が減り、人的な確保が一層難しくなった。

## 5 コーディネーターより

家庭や学校だけでは体験できないことが応援団の皆さんのご努力・ご尽力により体験できることは嬉しい限りです。同時に子供の時の快感体験は成長しても忘れることのない思い出になり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

今年度はコロナ禍3年目となり、できる活動が少しずつ増えてきました。これからも学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」をいっそう広げていくために、代表としてさらに活動を推進したいと考えています。

## 6 学校長より

保護者・地域の皆様による「応援団活動」は、子供たちが「保護者や地域」の温かい気持ちを感じるいい機会を生み出しています。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域安全にもつながります。

今年度はコロナ禍3年目となりました。感染拡大状況を見ながらではありましたが、この間蓄えてきたノウハウを活かしながら、子供たちの笑顔のために、さまざまな活動を工夫していただきました。応援団の皆様には感謝いたします。

# 第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長 山崎 美佐子  
 コーディネーター 小田原 備一

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ、パネルシアター	年間3回(読書月間) 年間2回	18
図書環境整備	週1回(火曜日)	13
図書見守り	不定期	9
学習活動支援	不定期(凧作り等)	20
七小田んぼ愛育会	不定期(米作り・脱穀等)	15



5年 稲刈り体験学習(七小田んぼ愛育会)



3年 パネルシアター(図書ボランティア)

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・コロナ禍の状況ではあったが、保護者や地域の方々に構成されている「七小田んぼ愛育会」の支援により、5年生の総合的な学習の時間に取り組んでいる稲作活動を充実させることができた。15名の会員で、主に5年生の学習支援を行っている。日常生活では体験できない米作りを、春から秋にかけて体験することができたことは、児童にとって大変有意義であった。9月の行事セカンドスクールでは、5年生児童が日本有数のお米の産地である新潟県魚沼市を訪れ、愛育会の方々と七小田んぼで行った稲作体験を思い出すことができた。
- ・図書ボランティアの方々には「読み聞かせ」「環境整備」「見守り」という三本柱の活動を大きな一つの組織の中に位置づけ、読書科の推進のために互いに連携して、充実した活動をしていただいている。パネルシアターの活動について昨年度同様、コロナウィルスの感染状況を鑑みながら学年を限定して複数回に分けて行った。本校の特色ある活動として定着しているパネルシアターの活動であるので、コロナ禍の状況が落ち着いたら全校児童に向けての開催を再開したい。

### <課 題>

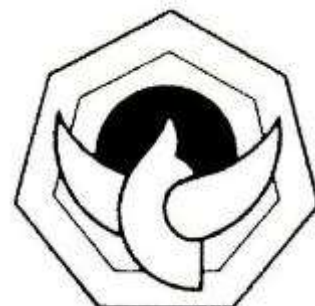
- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、ご協力いただくことが難しくなっている。地域人材の発掘や活用計画を進めること。
- ・PTAのOBやOG、卒業生等幅広い年齢層を確保していくこと。

## 5 コーディネーターより

日頃よりPTA・教職員・学校応援団ボランティア・おやじの会・地域の皆様方のご支援により、充実した教育活動が実践されている第七葛西小学校です。

コロナ禍の状況にやや落ち着きが見られてはきたものの、今年度も様々な活動が中止、縮小されました。その中においても、米作りや図書活動において学校応援団の活動を進められたことをうれしく思います。

今後も学校応援団ボランティア・地域の皆様と連携して、子どもたちの教育活動の一助になればと思っております。子どもが立派に成長していく姿を楽しみに、学校づくりに携わっていきたく思います。



## 6 学校長より

学びがい、働きがい、通わせがいのある学校にするために、何よりも心強い味方が学校応援団の皆様方です。感染症対策をしながらの活動にはなりますが、子どもたちのためにご支援・ご協力をお願いいたします。

今後も、学校教育のさらなる充実のために、『協力・共働・共育』のもと連携を深めて参りたいと思います。

# 南葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西小学校長            鶴田 麗子  
 コーディネーター        伊藤 雄文

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	463人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	週2～3回	5人
読み聞かせボランティア	月1回	30人
安全見守りボランティア	毎日	463人
生け花ボランティア	月1～2回	1人
行事支援	不定期	30人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、活動に制限が多くありました。その中で、「おはなし届け隊」の皆様には月に1度の読み聞かせを実施していただきました。また、児童の読書活動のさらなる充実に向けて、図書館司書と協力し、読書活動の支援（図書ボランティア）において、読書環境がさらに充実しました。学校図書館が使いやすく整備され、読書や調べ学習への興味・関心が高まってきたのも成果といえます。

また、第5学年が実施した田植え体験や稲刈り体験では、たくさんのボランティアの方々の支えや指導の結果、秋に大きな収穫を得ることができました。体験の中で、自分たちが地域の一員であることを自覚したり、もっと住みやすい地域にするためには何ができるかを考えたりするよい機会になりました。

「生け花ボランティア」の方には、月に1～2度、職員室前の廊下に季節のお花を活けていただきました。自然の移ろいや花の華麗さ、儚さに触れることができました。

### <課 題>

図書ボランティアは、参加者が固定され新たなボランティアが増えていない状況です。今後も引き続き保護者会やお便りなどを通して、参加の協力を呼び掛けていきたと考えています。

## 5 コーディネーターより

今年度もコロナ禍の中でしたが、そのような中でも多くの方に南葛西小学校学校応援団を支援していただきましてありがとうございました。他江戸川地域同様に、本校も町会や自治会をはじめとして地域との関わりが非常に密接です。しかし、コロナ感染症の影響や携帯電話やインターネット等、ツールがどんどん便利になる中で、人との直接的な関わりが敬遠され、機会が少なくなっているように感じます。

これからも、学校応援団と学校が一致協力し、町会や自治会をはじめとして、地域とのかかわりを密にして取り組んでまいります。

## 6 学校長より

日頃より本校の学習活動、教育環境、健全育成において、保護者、PTA、町会、地域の皆様から多くのご支援をいただくことができ、心より感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症に気を付けながら、保護者、PTAの皆様の安全見守り活動や、新たに「お花の教室」を実施するなど、図書ボランティア、おはなし届け隊、生け花ボランティアの方々の活動により子どもたちが安心して登校し、充実した学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

今後も、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、「何でも挑戦、笑顔いっぱい南小」の子どもの育成に努めて、教育活動をさらに充実したものにしていきたいと考えております。

# 南葛西第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第二小学校長 安 田 真 理  
コーディネーター 藤 野 尚 志

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	83人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	週1回（毎週金曜日）	10人
図書室整備	週1回（毎週金曜日）	10人
PTA土曜チャレンジ講座	年複数回予定 *今年度1回	20人
田植え、稲刈り体験	不定期	12人
登下校の見守り	週5回	1人
行事支援	不定期	30人
学習指導補助	週1回程度	2人

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 図書ボランティアによる「読み聞かせ」を、コロナ対応としてビデオで録画した読み聞かせを毎週金曜日の読書時間に流すようにしました。行事等、来校するにもコロナ対応の中、ご不便をかけることが多々ありますが、児童の興味・関心を高める工夫が随所にちりばめた内容に子供たちも真剣に話を聞く姿勢を身に付け、本への興味をたかめているところです。
- 毎年、地域の「さざなみ会」の皆様を開催していただいている5年生の「田んぼの田植え」を今年度も行うことができました。秋には、稲刈り（収穫祭）体験をさせていただいております。普段、なかなかできない素晴らしい体験を今年も行うことができ、経験を積むことができました。
- 今年度も登下校の見守りの方のおかげで、子供たちは大きな事故にあうことなく安全に登下校することができました。

### <課 題>

- コロナ対応として、保護者による読み聞かせを学級内で行うことができません。いままで協力いただいた方も年々減っていき、今後の協力者の減少が心配である。
- コロナ前は、土曜チャレンジ講座でたくさんの方に起こしいただきましたが、今年度も実施を前提に計画を立てるも、直前になって中止を余儀なくされてきました。1月のみ実施ができましたが、これまで中止していた分、運営する側に経験者が少なく、今後の継続しての活動が心配である。

## 5 コーディネーターより

コロナ禍の中、地域の皆様には、本校の児童のためにご尽力をいただき、ありがとうございます。これまで当たり前のようにできていた行事等が思うようにできないこともありましたが、地域の方々には「いつでも協力できるよ」と言っていただき、心から感謝しております。昨年11月には、開校40周年記念式典を開催し、一部の方ではありましたが、感謝の気持ちを込めて表彰をさせていただきました。今後も、本校児童のために、お力をお借りできたら幸いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度もコロナ対応の中、ご不便をかけながら、今できるかかわりをしていただき、本当にありがとうございます。学校応援団の皆様のおかげで、子供たちは安全に充実した1年を送ることができました。読み聞かせでは、毎週金曜日の休み時間において、ビデオでの開催を行い、全校児童へ本への関心を高めていただきました。朝の登校の際には、保護者の方とは別に地域の方にもご協力をいただき、雨の日も風の日も児童の安全のために旗振りに立っていただき、ありがとうございます。5年生においては、今年も「さざなみ会」の皆様のご協力をいただき、「田植え」「稲刈り」をさせていただきました。都会では、なかなかできない体験を毎年させていただき、感謝しています。

田植えや稲刈り体験、登下校の見守り等々、学校を応援してくださる方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 南葛西第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第三小学校校長 宮脇 隆  
 コーディネーター 森 友希

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	440人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備	図書館の本の修理・書架の整備等 児童への読み聞かせ (月1回程度)	23人
下校見守り	通学路での登下校安全見守り・横断歩道での旗振り	387人
安全教室(自転車)補助	自転車の安全な乗り方の指導支援	9人
行事支援	学校公開・三小まなびピア時の受付・会場設営	14人
生活科・総合的な学習の時間支援	校外学習時の往復時の安全確保等	16人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度は、感染症対策を十分講じながら、授業及び行事の公開を昨年度よりも幅を広げて実施することとなった。特に、今年度新たな取組となった「三小まなびピア」では、学年ごとの来校者の受付、入場の入替に伴う案内等を教職員と連携して行い、スムーズに実施することができた。
- ・昨年度実施できなかった図書ボランティアによる読み聞かせでは、本の選定から読み聞かせまでを熱心に行い、児童の読書への興味関心へとつながった。また、図書室の環境整備に積極的に取り組んだ。新たに教員がすすめる本のコーナーを設置し、子供たちが本を手に取りやすく、本が好きになる取り組みを実施することができた。
- ・持久走記録会では、器具の設置や安全確保等学校と協力して開催することができた。
- ・毎朝、児童の登校時に、道路の横断の見守りとして学区域内の主な横断箇所に、輪番で旗振りとして児童の横断の見守りをした。保護者の他に、地域の熟年者の方々にも協力を仰ぎ、登校時に加え、下校時の見守りもしていただいた。このような交通安全活動により、交通事故の未然防止につながっている。

### <課 題>

- ・今年度、保護者に教育活動への協力を呼びかけ、「学校応援団協力リスト」を作成した。出来上がったのが一学期途中であったため、各学年の年間指導計画に組み込むことが難しく、十分活用することができなかった。来年度は前年度末、もしくは年度当初にリストを作成し、年間指導計画に各学年が外部人材の活用を必ず組み込むようにしていく。学校外部とのつながりを広げ、人材を確保していく。

## 5 コーディネーターより

今年度も新型コロナウイルスの感染状況を確認しながらの教育活動になったことと思います。児童と保護者の安全・安心を第一に考えながら、より充実した取り組みを実施するにあたって、学校職員はさぞ大変だったことと思います。そのような中、学校ボランティア・PTA と連携して新たな取組も含めて今年度無事に活動できましたことを嬉しく思います。

今後も、地域や保護者の方々にさらに働きかけて、様々な専門分野の方に協力していただき、幅広く教育活動のお手伝いができるようにしてまいりたいと思います。

## 6 学校長より

感染症対策を講じながら工夫して実施できることを PTA、地域の方々と実施した。年度当初に「学校応援団協力リスト」を作成し各学年でも活用しようと取り組んだが、課題でも挙げたように活用までは十分でなかった。本年度も実施可能な取組を学校や近隣校とも相談しながら実施してきた。今後も子供たちの安全・安心を第一に考えるために引き続きサポートをお願いしたい。

# 西葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西葛西小学校長            高瀬 雄二  
コーディネーター        中村 岳

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	200人
	学生ボランティア	人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備ボランティア	毎週火曜日	10人
ビオトープ管理	毎週水曜日	5人
うさぎの世話	長期休み期間	10人
学習支援	都度	100人



7月に行われた巣箱づくりの様子



西葛西小のビオトープ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

●四季折々の植物や昆虫、生物に触れることができ、授業やすくすくスクールでも活用できる場になるようビオトープの維持管理を行っている。登下校時や休み時間等にビオトープを観察している。自然に触れる機会の少ない子どもたちにとって、身近に観察ができる環境は単に教科学習にとどまらず多くのことを学ぶ機会になっている。また、校庭にやってくる野鳥たちの巣箱づくり、巣箱かけも3年ぶりに行うことができた。親子で工具を使って巣箱を作り、それを地域の人たちと校庭や公園にかける本活動は、大人と一緒に活動する数少ない地域行事の機会となっている。

●図書館整備は、今年から全校にTRCの方が派遣されているため連携を図りながら順調に作業が行われている。本の修繕と整理のみならず、図書館の環境も少しずつ整えられてきており、より読書に親しみやすい状況が作られてきている。

### <課 題>

●ビオトープ管理は、新しい人材が増えていないことが課題となる。中心となっているのは地域の方だが、その他は在校生の保護者であり卒業と同時に活動をやめてしまう。より活発な活動を目指し、人員増加を図っていきたい。

●図書館整備は、学校の図書担当との連携が課題となった。司書免許をもつ教諭が少なくなっており教諭側に知識が不十分であることや、応援団の活動が授業中であるためノートでの連絡が中心となる。TRCの司書を活用して、図書館活動を活発にしていきたい。

## 5 コーディネーターより

3年ぶりに巣箱づくり、巣箱かけが再開できてよかった。子どもと保護者、地域の方が協力してできる活動なので、応援団の意義を十分に感じるができる。コロナで人数制限をしなければならなかったのも、元通りに大勢の人たちでできるようになってほしい。

## 6 学校長より

ビオトープは本校の開校20周年の時に作られ、学校応援団の方のご協力を得ながら大切に守られてきています。四季折々の草花や昆虫が観察でき、春から秋にかけて子どもたちもよく観察していました。また、夏休みには3年ぶりに巣箱づくりが実施され30組の親子が参加しました。東京都鳥獣保護管理推進委員の方のご協力もいただきながら、学校や近隣の公園にやってくる野生のスズメやシジュウカラの生態を学び、鳥たちが活用できるように作成しました。11月には作成した巣箱を実際に木にかける活動も行いました。応援団の方、保護者の皆様、地域の方と共に、自然を大切にする子どもを育む活動を今後も活発に行っていきたいです。

# 新田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新田小学校長 大石 吉郎  
 コーディネーター 座間 久美子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	110人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り支援	各学期の始め	20人
学習支援	左近川の歴史（3年）11月 書道教室（3～6年）12月・1月 読書活動支援 月1回	20人
環境整備支援（畑）	不定期	10人
環境支援（花）	不定期	10人
環境支援（清掃）	6月、12月	30人
学校地域行事支援	お父さん会（フェスティバル）	20人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・ 学校農園部門では、すくすくスクールと連携を図り、「お野菜クラブ」として活動を行っている。収穫の時に児童も参加し、収穫する喜びを実感していた。
- ・ 地域清掃では、ボランティアの方々と共に、地域を大事にし、また江戸川区90周年を記念し、江戸川区をきれいにする心を養うことができた。
- ・ お父さん会と連携し、「夏のフェスティバル」を開催した。多くのボランティアとともに子供たちが楽しめる会となった。
- ・ 環境部門（花）では、ボランティアと児童が協力して、新田小学校の花壇にいろいろな種類の花を植え、植物を育てる楽しさを実感した。

### <課 題>

- ・ 読書活動支援部門は、前年度はメンバーの都合で実施できていなかったが、今回再び「読み聞かせ」や「図書館整備」をおこなう企画を立てている。しかし集まる機会が少なく、実際の活動はうまく起動していない。来年度は年度当初から活動ができるようにしていく。
- ・ 学校応援団のメンバーを拡充し、応援団としての活動を充実させていくことが課題である。ホームページや学校だよりなどを活用したり、広報活動をしたりして保護者や地域に周知し、メンバーを増やしていく。

## 5 コーディネーターより

新田小学校の学校応援団は、すくすくサポートセンター、保護者、PTA、地域の皆様、お父さん会、新田町会、公社新田住宅自治会の皆様で成り立っています。これらの団体がいろいろな活動をより計画的に組織的に行っていくものです。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、その活動が中止されたり、小規模になったりしてきました。

今後は活動が再開できる範囲が広がりました。できる範囲でいいので、子供たちのために協力やお手伝いができる方に、進んで参加していただきたいと思っています。これからも「たくさんの方で見守り、たくさん手で助け合い、より良い学校づくりをお手伝いしていきましょう。」と呼びかけていきます。

## 6 学校長より

コロナ禍が収束しない日々が続いていますが、皆様方が子供たちのために「歩みを止めない」という気持ちを大切にいただいているおかげで、子供たちが健やかに成長しております。

地域清掃での「グリーンデー」にはPTAの応援団の方にたくさんご参加いただいています。学校農園部では、すくすくスクールとの連携をとりながら活動しており、子供たちは収穫をとっても楽しみにしています。また、昨年の開校40周年記念を機会に、新左近川の歴史についてゲストティーチャーをお招きするなど、活動の範囲が広がりました。

保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、新田住宅自治会の皆様の熱心なご協力とご支援があってこそこの新田小学校応援団です。心より感謝申し上げます。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。

# 宇喜田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

宇喜田小学校長 池田 朋光  
 コーディネーター 増田 正敏

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	44人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館環境整備	週1回(毎週金曜日) (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 11月より再開実施)	13人
図書選定	月1回 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 6月より実施)	17人
登下校の安全見守り	週5回	7人
花壇・三段池環境整備	不定期 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 募集せず)	7人
行事支援	不定期 (今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で 募集せず)	0人

学校図書館整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・毎月、用務主事が学校だよりを届ける際にいっしょにその月の下校時刻も配布し、下校の安全見守りの応援団の方々にご協力をいただいた。今年度も、登下校時の安全をやさしく見守っていただいた。あいさつや声かけなど交流を進めながら、地域を愛する児童を今後も育成していく。
- ・学校図書館整備の応援団の方々には、6月より葛西図書館での選書、学校図書館環境整備の活動を再開していただいた。朝読書の時間に読む本を選択する機会が増え、毎月の団体貸し出しを子供たちも楽しみにしている。読み聞かせは、今年度も実施しなかった。
- ・環境整備の応援団の方々には、新型コロナウイルス感染症予防のため例年行っているジャガイモ掘りやサツマイモ・小松菜栽培についての支援をお願いしなかった。学校が休みの日に草取りなどをおこなっていただき、栽培活動を行う上で助かった。

### <課 題>

- ・昨年度から新型コロナウイルス感染症予防のためお願いできないものが多い。学校の人員も変化しているので、例年行っていた活動を維持できるように活動内容や連絡先などを記録し、引き継げるようにする。

## 5 コーディネーターより

新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度も例年のような活動ができなかったことは残念でした。状況が変わりましたら、子供たちのために少しでも協力して行きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

新型コロナウイルス感染症が心配される中、宇喜田小学校の子供たちのためにご支援いただきありがとうございます。少しずつではありますが、図書関係のボランティアなどを再開することができました。見守り応援団の方には、登下校時などの見守りに心より感謝しております。例年のような活動がまだ十分に行えませんが、新型コロナウイルス感染症が落ち着き次第、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

# 清新第一小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一小学校長 石橋 悟  
 コーディネーター 池館 あや子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
--------------	----------	-----

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回程度	2
登校時見守り	不定期	2
ラクロス	実施見合わせ	1
どうぶつしょうぎ	実施見合わせ	2
土曜日の工作教室	実施見合わせ	2
影絵（PTAと協力）	実施見合わせ	16
盆踊りレッスン	実施見合わせ	10
夏休み工作教室（PTAと協力）	実施見合わせ	12
わくわく広場（PTAと協力）	年1回	20
フラダンス	月1～2回	3
PC教室	実施見合わせ	2
親子の絵手紙教室	実施見合わせ	1
日本舞踊教室	月1～2回	1
夏休みラジオ教室	実施見合わせ	1
花壇の整備	不定期	3



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

活発なPTAボランティア活動が卒業後のOB・OGにつながっていくスムーズなボランティアシステムです。コーディネーターを中心に、学校応援団の輪が広がり、今年度も多くの方々が登録をし、子供たちのために様々な企画を実施しました。

今年度も、まだ新型コロナウイルス感染症防止の観点から、数年前のような活動はできませんでしたが、わくわく広場での工作、フラダンス教室や日本舞踊教室など、少しずつ活動を再開することができました。

児童の登校時の見守り活動や花壇の整備については、これまで通り実施することができました。児童の安全・安心を最優先に考えながら、できる範囲の中で計画し、活動を進めることができました。

### <課 題>

児童数がおおよそ1000人ということで、区内でも児童数が多い学校で、状況は今後数年変わりません。通学路にある大きな交差点は、ほとんどの児童が通過します。そのため登校時の見守りも続けていきたいところではありますが、人手不足は否めません。今後も新しく応援団に参加していただき、継続した活動につなげていきたいと思っております。新型コロナウイルス感染症対策も講じながら、少しずつ活動が始まっています。収束した時に備え、卒業生の保護者向けに「学校応援団協力をお願い」を配布するなどして、人員確保に努めていく必要があります。

## 5 コーディネーターより

今年度は、読み聞かせ、お話し会、フラダンス体験、日本舞踊体験を少しずつ再開することができました。子供たちも楽しんで参加しています。朝の登校時警備は、コロナ禍でも継続的に行い、子供たちの安全を見守っています。応援団委託金からは、ヘッドセットのマイクとスピーカーを購入し、講師に付けてもらい感染防止に役立てています。

今後も、学校、PTA、すくすくスクールと連携しながら、子供たちのために活動を行っていききたいと思います。

## 6 学校長より

本校は、PTAボランティア制度が大変充実しています。そのPTAボランティアがそのまま学校応援団という形になって本校の学校応援団はスタートしました。そして、そのPTAボランティアの方々が卒業し、OB・OGとして学校応援団に参加してくださる形もだいぶ整ってまいりました。今年度の学校応援団コーディネーターである池館様を中心として、すくすくスクールサポートセンター及びすくすくスクールのスタッフ、PTAボランティア、お父さんの会などが一つになって、清新第一小学校を応援する活動をしてくださっています。多くの学校応援団の皆様にご感謝の気持ちでいっぱいです。

# 清新ふたば小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新ふたば小学校長      三柴 祐子  
 コーディネーター      宮本 道子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書応援団 おはなしクローバー	毎週金曜日	30人
読書応援団 こびとの本屋さん	毎週第一火曜日	10人
友達プロジェクト	不定期	10人
環境整備隊	不定期（活動なし）	

### 主な活動内容

- ・ 読書応援団（おはなしクローバー）  
本の読み聞かせ、学期に1～2回程度のスペシャル企画を行う。
- ・ 読書応援団（こびとの本屋さん）  
SSSと連携し、学校図書館等の掲示等を工夫するなどの環境整備を季節ごとに行う。
- ・ 環境整備隊  
学校敷地内の環境整備活動を主事や飼育栽培委員会の子供たちと一緒にやる。
- ・ 友達プロジェクト  
外国籍の保護者が安心して子供を学校へ送り出せるために交流を行う。

※学校応援団本部会議を定期的に行い、今年度の方針等を精査し、共通理解を図る。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度から活動を本格的に再開した。年度初めに友達プロジェクトとして、外国籍の保護者に対して、提出書類の書き方等について交流を行った。おはなしクローバーでは、新規参加者も含め、和やかな雰囲気の中で練習を重ね、団員の結束力も高めることができた。子供たちは、おはなしクローバーの時間を楽しみにしており、読み聞かせを楽しみにしている。こびとの本屋さんの活動も少しずつ再開し、学校図書館等の環境整備を行っている。

### <課 題>

少しずつ活動を再開することができたが、年度当初の保護者会等で活動について周知し、更に活動が充実していくよう、広報活動についても取り組む。また、活動の年間計画をつくり、誰でも参加しやすい体制を構築していく。卒業生や学生ボランティア及び地域の人材を積極的に導入し、活動の幅を広げることができるようにする。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み活動を続けていく。

## 5 コーディネーターより

今年度から活動を再開することができ、おはなしクローバーの読み聞かせは活発に活動を行うことができた。友達プロジェクトも活動の幅を広げられるよう計画を立てている。来年度は、これまでも課題となっていた、各グループの活動の年間計画をつくり、時間を設定するなど誰でも参加しやすい体制を構築していくなど、少しでも清新ふたば小学校の教育活動の支援ができればと思っている。

## 6 学校長より

開校7年目となる清新ふたば小学校の教育活動をさらに充実させるためには、学校応援団団長・副団長を始め、各代表の方々そして多くのふたば小応援団の方々の支えが必要です。今年度は活動が少しずつ再開し、子どもたちのために様々な活動をしていただき、本当にありがとうございます。

今後も新型コロナウイルス感染症状況を鑑み、学校応援団の皆様のお力をお借りしながら、教育活動を推進してまいります。皆様の活動がますます充実していき、その輪が広がっていきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

# 臨海小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

臨海小学校長           西澤 盛和  
 コーディネーター    高原 賢一

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	20人
	学生ボランティア	5人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回	20人
図書館整備	月2回	10人
登下校見守り	週5日	多数
安全教室	年1回	多数
環境整備	不定期	10人
挨拶運動	不定期	10人
校外学習の同行	不定期	10人



登下校見守り



読み聞かせ



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・読み聞かせで使用した本を児童が興味をもって読んだり、自分で関心のある本や好きな本を探したりなど、読書に対する意欲は高まってきた。
- ・定期的に、ボランティアの方々が図書館を整備してくださり、図書館が快適な状態を保持している。また、月ごとに季節のイベントが分かるような飾り付けをしている。

### <課 題>

- ・PTA や地域のボランティアが、児童の登下校の安全確保のため、登下校の見守りをしてくださっているが、輪番等うまくいっていない事例がある。
- ・呼びかけてはいるが、学校応援団の保護者が児童の卒業とともに減っている。
- ・ボランティアに参加できる人員確保が厳しい。学校応援団という組織の周知について、さらに考える必要がある。
- ・ボランティアに対するハードルを下げ、誰にでも気軽にすることができる環境づくりを考える必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症予防の関係で、例年できていた活動が廃止又は縮小している。コロナで制限されている状況下で、継続できる活動を考えることがなかなか難しい。

## 5 コーディネーターより

令和4年度は新型コロナウイルス感染症予防の関係で、多くの活動が中止になった。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、PTA の諸活動や学校教育をどのように進めていったらよいのか、迷いながら進めているが、少しずつ新たな形で進めている活動もある。次年度もPTA や地域、学校応援団との連携を密にしつつ、頑張っていきたいと考えています。

## 6 学校長より

校外学習の同行や児童の見守り等、さまざまな形でご協力いただき、また、児童が安心して学習できる環境づくりにもご配慮いただき、ありがとうございます。学校応援団の方々を始め、日頃から学校の教育活動のために様々な支援をしてくださっている保護者・地域の皆様に改めて感謝いたします。

今年度も、昨年度同様、新型コロナウイルスで様々な制限がある関係で、なかなか活動ができませんでした。この状況下でどのような活動ができるか考え、学校応援団コーディネーターのご支援をいただきながら、臨海小学校のために、頑張っていこうと考えております。

# 東葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東葛西小学校長            武内 広明  
コーディネーター        横内 人士

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	20人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
環境整備（校庭の芝刈り）	不定期	30人
カヌーの洗浄等	不定期	20人
図書ボランティア	月3回程度（9月から）	10人

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○今年度は、感染症対策でしばらく実施できなかった図書ボランティアによる読み聞かせの活動を9月から復活させた。そのことにより、児童の情緒の安定や情操教育の一助となっている。さらに、読書に親しむ態度の育成や学習意欲の向上にもつながっている。

今年度は、おやじの会主催のカヌー教室や開校20周年を記念した親子レクリエーションの実施など行い、児童・保護者・地域のより良い交流を図ることができた。

環境としては、数年前より校庭の安全対策の観点から、毎年少しずつその芝生の移植範囲を広げ、遊具や鉄棒の下に敷き詰めることでクッション効果をもたらしている。芝生の整備は夏季休業日から秋にかけて、定期的に少人数単位による芝刈りと芝植えを実施した。

### <課 題>

○引き続き感染症予防のため、外部関係者の来校やPTAやおやじの会主催の行事が未だに制限や縮小されている。今後は、状況に応じて対応できるような企画を検討する必要がある。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は一年を通していろいろな場面で「学校と地域を愛する子どもたち」を育てるために活動を目指しています。東葛西小は今年度、めでたく開校20周年を迎えました。東葛西小学校の教育目標である「やさしい子、やりぬく子、元気な子」に則し、これまで培ってきた伝統や文化を守りながら学校応援団として学校を支える活動をしていきます。

今年度は、これまで続く感染症予防のためにより、多くの人が同時に集まる目立った活動を多くはできませんでした。しかし、人数や場所を限定してPTAやおやじの会の主催によるイベント、図書ボランティアなど少しずつ活動を増やしました。また、環境整備を協力し合いながら継続して実施することで、学校設備に役立てたことも成果であると思っています。

今後も社会や学校の状況を踏まえ、継続する活動に工夫・改善を加え、子どもと保護者、地域が一体となるような交流を模索しています。これからを担う子どもたちが、たくましく生きる力や豊かな心を培い地域を支えていけるように努力していきます。

## 6 学校長より

本校は平成14年に開校した新設校で、今年度20周年を迎えました。1年を通して周年に関係する様々な学校行事や活動を実施し、11月11日に開校20周年記念式典をとり行いました。

学校応援団の方々には、経営方針である「子どもが輝く学校」をテーマに、学校・保護者・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長のため様々な活動をしていただいています。

今年度は、引き続き感染症予防の観点から、活動の制限や縮小により大多数が同時に集まる大きなイベント等のご遠慮いただきました。そのような中でもできることを模索し、20周年に関係するPTAやおやじの会主催の限定したイベントや環境整備をしていただき大変感謝しております。

また、保護者の図書ボランティアによる読み聞かせが復活でき、子どもたちの豊かな心や想像力の育成、学習意欲を高めることができました。継続して実施していただいている校庭の芝生移植や整備にボランティアとして父親と参加していた卒業生もいました。ぜひ成人後も「こころのふるさと 東葛西小学校」への思いと共に母校や地域への参画をしていただきたく思います。

今後も、一層の学校応援団の方々と協働やより良い連携を通して、地域と結びつき、共に学び、共に育つ教育活動を行いたいと考えております。

# 瑞江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

瑞江小学校長                    中村 敬子  
 コーディネーター            花輪 牧子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	90人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
旗振り(朝の交通安全見守り)	登校時の安全見守り	20
下校時安全見守り	すくすくスクール下校時の安全見守り	20
花ボランティア	校内畑・花壇の整備、畑での学習支援	20
読み聞かせ	朝学習時、全学級での本の読み聞かせ	23
図書室整備	本の修理や書架の整頓、図書室の整備	17
学習支援	個別の支援が必要な児童への学習補助	2
瑞小まつり	模擬店(焼きそば)の出店	
豆まき大会	冬の風物詩、 伝統行事「豆まき」の体験	(12)
ネオホッケー	青少年育成委員会行事に参加	



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 学校応援団が瑞江小学校に正式に発足して以来、多くの方々のお力添えやご協力により、順調に進めることができました。
- 畑や花壇の管理を担当する「花ボランティア」は主に畑の整備・管理を行っています。児童の学習用に植えた作物の管理のほか、季節に合わせた花や野菜の整備を行い、年間通して畑や花壇を華やかにしました。植え付けや収穫の際には作物に関する話や作業の仕方の説明などを行い、学習支援においても活躍しました。瑞江の園ではコキア（ほうき草）を育て、収穫してほうきを作りました。
- 運動会や学芸的行事、学校公開での安全管理や交通整理、朝の交通安全旗振り活動など、児童が安心して学習できるよう全保護者で取り組んでいます。
- 「読み聞かせボランティア」は、読み聞かせした本を毎回ノートに記録し、読書科担当教諭と情報共有をしています。また、「図書館整備」は、実際の図書館と同様の分類にするとともに、児童が図書に親しみやすく使いやすいよう整備しています。さらに、学年ごとにお勧めの本を選んで定期的に学級ごとに配布し、教室で読めるよう工夫しています。各学級担任ともノートを共有し、情報交換を行っています。図書館司書とも情報共有し、図書室整備を協力して行っています。
- 町会を中心とした地域の皆様には、朝のあいさつやすすくすくからの下校時など見守り隊として児童の安全確保、健全育成に協力していただいています。見守り隊をはじめ、花ボランティアを中心に、小松菜畑見学、各種事業所見学等にも、町会・地域の方々の協力をいただいています。今後も、これらの活動をますます充実させていきたいと考えています。

### <課 題>

- 「図書ボランティア」活動は、OB・OGの方の協力なしにはできない状況です。今年度は6名のOGの方々がご協力くださいました。また、「見守り隊」についても、町会からの参加者が減少傾向のため募集を行っています。新しくボランティア活動に参加してくださる方が少ないところが課題です。
- 花ボランティアは継続して活動していくことができるようリーダーの設定と、安定した連絡手段の確保をしていく必要があります。

## 5 コーディネーターより

- 登校時の旗振りやあいさつ運動、すすくすくスクールの下校時の安全見守りの活動を通して、子どもたちの安心安全な学校生活を支えることができました。
- 有志のお父さんで構成したグループ「ダディーズ」の中には、OBの方もいらっしゃいます。参加メンバーが明確になっていないので取りまとめをしてくださっているお父さんと相談し、名簿を作成していきます。OBの方も安心して活動いただけるよう保険加入を進めていきます。
- 花ボランティアでは、地域の方を中心に子どもたちの学習の場である畑や花壇の整備をしていただきました。継続して活動いただけるよう町会とも連携し、計画を立てていきます。

## 6 学校長より

花ボランティアの皆さんが南門を入った正面が華やかになるようにと整備を行ってくださっています。教員や児童だけでは管理しきれず育ちの悪かった作物が生き生きと生長するようになり、収穫の際には目を輝かせて話を聞く児童の姿が見られました。ひまわりロードは夏の間、子どもたちの休み時間を充実させてくれました。本校の特色のひとつ、登校時やすすくすくスクールからの下校時の見守り隊をはじめ、朝のあいさつ、ほうき草（コキア）の栽培やほうきの製作など数えればきりがなほどの協力をいただき、子どもたちの健全育成に力を注いでいただいています。本校を愛する熱い思いに、感謝しかありません。学校応援団の皆さんの思いにも応えられるよう、学校も日々の教育活動に努めてまいります。

# 春江小学校 学校応援団実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

春江小学校長 井上こずえ

学校応援団長 芦田 孝二      コーディネーター 三羽 由紀子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	100人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書活動支援	月4回(毎月隔週 水・金曜日)	35人
学習活動支援	不定期(必要に応じて)	20人
安全安心支援	毎朝の登下校時	10人
栽培活動支援	不定期(必要に応じて)	15人
漢字検定支援	年1回検定会場運営・学習資料提供	20人



読書活動支援 環境整備



図書ボランティアによる読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### 今年度の成果と今後の課題

#### <成果>

- ・コロナウイルス感染症対策のため、活動可能なものについて支援リーダーを中心に積極的に取り組んだ。
- ・読書活動支援（読み聞かせ・校内環境整備）や登下校時の見守り支援、体力テスト（ソフトボール投げ）の補助、漢字検定の実施などの活動を計画的に進めることができた。
- ・活動内容については学校ホームページに掲載するなどして情報発信を行った。「できる時にできる人が、できることを」を合い言葉に、見える活動、積極的な活動を心がけた。
- ・予算を有効に活用し、学年向けの本を購入し、学校図書館整備の作業を進めることができた。
- ・活動の様子を保護者に参観していただくことで、学校応援団の活動に関心をもってもらうことができた。また学校連絡メールを用いて活動について保護者に周知することができた。

#### <課題>

- ・コロナウイルス感染症対策の制限があったため、通常の活動ができないことがあった。
- ・支援に積極的に参加してくださる方や各リーダーが固定化の傾向があり、経験のない方にもさらに気軽に応援団の活動に参加していただけるような情報の発信、活動時間の設定など見直しを今後も行っていく。

## 5 応援団長より 芦田 孝二

「だれでも参加できる応援団」をめざして、全ての地域の方・保護者にも分かりやすい活動を目指して取り組んできました。

「できる時にできる人が、できることを。安全で元気で楽しい学校生活を子供たちのために」の精神は確実に春江小学校の学校応援団のポリシーとして根付いてきました。

今年度も、コロナウイルス感染症の対策からスポーツ支援などが実施できませんでしたが、読書支援や漢字検定実施など、できる範囲の中で活動を進めてきました。

今後の状況を鑑みながら、更に春江小学校学校応援団が充実していけるよう心掛けていきます。

## 6 学校長より 井上こずえ

学校応援団の皆様には、1年を通じてたくさんお力添えをいただき、深く感謝しております。本当にありがとうございます。今年度も、コロナウイルス感染症対策により活動が限られましたが、登下校時の見守り、読み聞かせ、校内掲示等、皆様のおかげで子供たちの学校生活が安全で楽しく豊かなものになりました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

# 新堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新堀小学校長            黒澤 義和  
 コーディネーター      笠井 雅世

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り隊	不定期（毎日）	8人
校外学習の安全の見守り	校外学習時に要請	30人
運動会 学習発表会 研究発表会 行事ボランティア	年3回	20人
読み語りボランティア	年3回	20人
学校図書館整備ボランティア	月2回	15人
新堀小フェスティバル	年1回	30人
ふれあいガーデン作り手伝い	年1回	2人
さつきのさし芽指導	年1回	4人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度もコロナ禍による制限はあったが、できる範囲で運動会や校外学習、学習発表会、研究発表会といった行事を実施することができた。安全対策を十分に考え、快くボランティアを引き受けてくださった方々のおかげで滞りなく実施できた。

「ふれあいガーデンづくり」では環境委員会の児童とたくさんの花を植えることができた。また、今まで花植えのボランティアに参加していた方が、家で寄せ植えを作って持ってきてくださるなど、今できる形でボランティアも継続して行ってくださった。

40年継続してきた「さつきのさし芽」の指導も、その歴史を途絶えさせることなく今年度も実施できた。

「読み語りボランティア」・「学校図書館整備ボランティア」は、事前に児童や担任にアンケートを取って読む本を選定したり、学校図書館支援員と協力して整備を進めたりするなど、連携の大切さを改めて考える1年となった。

ここ数年は地域との行事を中止せざるを得ない状況が多かった。特に、避難所開設訓練や学校応援団主催の「もちつきフェスティバル～防災を考えよう～」が実施できないことが残念であったが、今年は形を変えて「新堀小フェスティバル」を実施することができた。地域や区の防災課とタイアップして、起震車体験をしたり、地元の中学生にボランティアとして会の運営に携わってもらったりした。また、学校の施設を利用している団体に参加を募り、体験コーナーを出してもらったり、地域の「なごみの家」の方との交流コーナーを設けたりすることができた。このように、地域の方々のご協力と様々な工夫をすることで、少しずつ子供たちの活動を取り戻せたのは成果であった。

### <課 題>

コロナ禍での活動を再開するためには、工夫が必要であると同時に、その会を運営していく方法を継承していくための経験と人材確保が必要である。一部の方に負担を偏らせるのではなく、皆で進めていくための方法を考えていきたい。活動人数、人材の確保は継続した課題となっているが、中心となって活動してくださる方や保護者の方の参加を促進していくことが今後の学校応援団の充実につながると思う。

## 5 コーディネーターより

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、昨年度よりも活動を多く行うことができました。ここ3年間、もちつきフェスティバルは残念ながら中止でしたが、「飲食を伴わない活動なら始められる」と開催方法の工夫を考えました。その結果、地域も巻き込んで「新堀小フェスティバル」を実施できたことは、大きな成果だったと思います。これを良いきっかけとして、子供たちのための活動を学校とともに積極的に行っていきたいです。

## 6 学校長より

長引くコロナ禍において、コロナを理由に活動を中止にするのではなく、感染防止対策を行いながら、実施方法を工夫することで活動を再開する方向性が見えた年となった。特に、避難所開設訓練や学校応援団主催の「もちつきフェスティバル～防災を考えよう～」は、3年ぶりに形を変えて、「新堀小フェスティバル」として、再開できたことは喜ばしいことであった。開催にこぎつけることができたのは、コーディネーターの尽力の賜物であるが、今後継続していくためには、協力してくださる人材確保等、いくつかの課題解決が必要である。

# 下鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田小学校校長 奥村 孝史  
 コーディネーター 宇佐美 慎一

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	59人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
交通安全見守り隊	登校の見守りと挨拶の声かけ（毎朝）	8人
安全な土作り隊	理科、生活科の栽培サポート （毎週水曜日と必要に応じて来校）	4人
子どもに本読ませ隊A	読み聞かせ活動（年間6回程度）	12人
子どもに本読ませ隊B	図書室環境整備（月2回）	10人
チームパパ	運動会運営補助と準備、片付け作業 スポーツテスト補助 学芸会后片付け （学校の行事時毎、不定期）	25人



チームパパによる運動会の  
テント設営風景

「子どもに本読ませ隊」による季節ごとに変化する装飾



☆クリスマスの装飾

☆夏の装飾



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、在校生の父親で組織する「チームパパ」への登録人数が増え、運動会、スポーツテスト、学芸会と学校行事へのサポートをしていただいたことで、コロナ対策を講じた中でもスムーズに行事を終えることができました。「安全な土作り隊」の活動では、2年生は夏に向かってトマトを栽培したり、秋には芋ほりを校内で体験したりと校内で植物に触れる機会を得ることができました。また、理科教材の栽培やサポートを受けることにより植物の成長を日々観察することができました。「子どもに本読ませ隊」の活動は、読書科を後押しする強い支援であり、月毎に変わる図書室の装飾は図書室に行きたくなる環境に変化し、読書への意欲を高めています。読み聞かせは、児童の楽しいイベントになっています。新型コロナウイルス感染症対策として子供と距離をとって読み聞かせをするので、テレビ画面に絵本を映し出す方法に変えましたが、どのクラスも画面に集中しています。読み聞かせをしていただいた本を手にとる児童の姿も見られます。「交通安全見守り隊」は、PTA活動の旗振り当番では補いきれない交差点等の安全を確認し通学させていただいているので、事故なく児童が通学できています。さらに、仮設校舎設置工事の期間は通学路が変更になりましたが、誘導していただいたことにより、大きな混乱もなく登校することができました。

学校応援団のそれぞれの活動は、学校運営に不可欠であり、児童の成長に有効に働いています。

### <課 題>

令和5年度から統合し新校になるので、2校の学校応援団がどのように協力し合い、学校応援団として活動を成立させるかが大きな課題となります。

## 5 コーディネーターより

私もわが子の在学中は「チームパパ」の一員として活動に携わっていました。当時の活動は、PTA主催で行われていた夏のカレーキャンプでのキャンプファイヤーの運営補助がメインでしたが、新型コロナウイルス感染症の流行により飲食を伴う活動が中止になり、「チームパパ」の活動は休眠状態となってしまいました。学校行事の再開に伴い、行事の支援活動を学校から依頼され、先生方と交流しながら行事の準備、運営、後片付け等を行うようになりました。学校の応援をする父親の姿をわが子に見せる良い機会にもなっていると聞いています。

下鎌田小学校は今年度で閉校してしまいますが、合併した新下鎌田小学校になっても学校応援団により活動の輪が広がっていくことを願っています。

## 6 学校長より

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じての様々な教育活動において、学校応援団のサポートをいただき、児童の教育活動に大きく貢献していただきました。お陰様で、教員が児童と向き合う時間が増え、どの活動も円滑に終わることができました。2年生は、学校の花壇で芋掘りをするという体験もできました。今年度で下鎌田小学校としての学校応援団の活動は終了となりますが、統合後の新校においても、学校応援団の皆様と新下鎌田小学校が互いに情報を共有しながらよりよい学校応援団活動に発展していけるようご支援ください。

# 下鎌田東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田東小学校長      松塚 智加子  
 コーディネーター      棚橋 義隆

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	115人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校行事支援	学期2回程度	30人
図書整備ボランティア	感染防止のため中止	20人
授業支援	不定期	15人
お父さんの会(行事支援)	感染防止のため中止	30人
漢字検定支援	年1回	20人

### ◇活動の様子から



- ・ 様々な教育活動に対しご理解・ご協力をいただきながら活動に取り組んでいます。
- ・ 不定期な取組もありますが、何年も継続して協力を得ています。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度も教育活動に制約がありましたが、様々な学校行事の支援にご協力をいただきました。計画的に準備をしていただいたおかげで、当日は円滑に行事を行うことができました。教職員一同、安心して児童の指導に専念することができました。また、学習支援等にもご協力いただき、児童の頑張りを認め励ますとともに優しく丁寧に支援をしていただき、子供たちも意欲的に学習課題に取り組むことができました。
- 近年実施を見合わせていた漢字検定の取組を再開する方向で準備していただいております。多数の児童から申し込みがあり、取組への期待が伺えます。保護者・地域の方々の協力を得ながら、引き続き児童の基礎・基本の定着を目指してまいります。

### <課 題>

- 感染防止の観点から、制約のある中での活動となっています。今後、どのような活動を行っていくことができるのか、在り方等について検討を進めていきます。
- ボランティアの方が固定化している傾向があります。また、活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいこともあるので、より多くの方に関わっていただけるように働きかけについて検討を進めていきます。また学生ボランティアの人材確保ができるよう努めていきます。

## 5 コーディネーターより

- 本校は、地域からの大きな力添えをいただきながら、地域とともに歩んできております。町会や地域の各施設の方々、PTA役員、お父さんの会など、様々な組織が学校の教育活動を支援しています。今年度も、感染症拡大防止の観点から、学校や地域での活動など様々な活動に制約がありましたが、その中でも知恵をしぼり、できることには積極的に取り組んでまいりました。今後も、状況をみながら課題の解決を図り、学校、PTA、地域が連携して、子供たちのためにできることに取り組んでまいります。今後とも多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

- いつも本校の子供たちのために、お力添えをいただき感謝申し上げます。町会や地域の方々をはじめ、PTA役員の方々等、多くの皆様に教育活動を支援していただいております。本年度も、感染症拡大防止の観点から、学校応援団の活動が縮小されたところもありましたが、その中でも年間を通して本校の様々な教育活動を支えていただきました。おかげさまで、安心・安全な教育活動を進めることができています。子供たちも、日々の教育活動をとおして、明るくたくましく育っております。「自分からすすんで目標を立て、積極的に取り組む児童」の育成を目指し、今後も皆様のお力をお借りしながら、学校の教育活動をより一層充実させてまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしく願いいたします。

# 下鎌田西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及び学校応援団長氏名

下鎌田西小学校長 小野塚 良朋  
 学校応援団長 三本木 敦

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	24人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

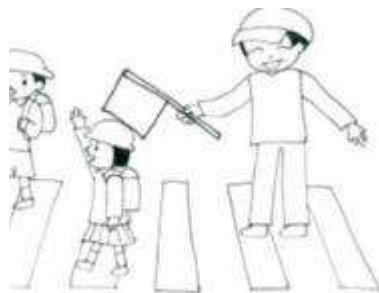
応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回（本年度のみ休止中）	11人
図書整備	週1回（本年度のみ月1回）	11人
図書室装飾	週1回（本年度のみ月1回）	10人
ガーデニング	週1回	11人
樹木プレート作り	週1回（本年度のみ休止中）	4人
安全見守り	毎日	7人

※それぞれの活動を兼ねて登録されている方もいますので、上記のボランティア数になっています。

### 《図書》



### 《安全》



### 《ガーデニング》



## 4 今年度の成果と課題

### ＜成 果＞

- ・(図書)月2回の読み聞かせ(本年度休止)、週1回(本年度月1回程度)の図書整備や装飾活動を継続的に行っている。区の読み聞かせ講座を利用したり、東部図書館との交流や情報交換の場を設けたりして活動の改善を図っている。今年度は読み聞かせのかわりに読み聞かせ動画を作成し、1人1台端末で視聴できるようにするなど、新たな試みに挑戦した。新規購入図書の整備等も実施した。
- ・(栽培)今年度も充実した花壇整備活動を中心に、学校の環境整備に貢献することができた。水やり、花、球根の植え付けは栽培委員会の子も達が主となり一緒に行った。(共同作業は本年度中止)除草作業、植え替えはメンバーで協力して行った。PTA主催の「西小まつり」では、PTAと協力して学校花壇に菜の花の種まきコーナーを出店し、好評を博した。
- ・(安全)地域の区画整理に伴い自動車の交通量が増えたが、今年も地域の方を中心に、登校時の安全見守りを継続することができた。天候にかかわらず、児童の安全を見守ることができた。

### ＜課 題＞

- ・(図書)今年度はコロナ禍により読み聞かせを行うことができなかった。児童と直接かわることが難しい状況の中で、できることを見極めながら進めていきたい。今後も学校との連携と引き継ぎ、参加メンバーの確保を進めていきたい。
- ・(栽培)花壇の活動も、樹木プレート製作の活動も参加人数が少ない。統合後、どのように進めていくか、検討していく。
- ・(安全)校舎前の道路が相互通行となった影響で車の交通量が増えた。今後も学校の方針、通学路の状況に応じて対応できる体制を整えたい。

## 5 学校応援団長より

学校・家庭・地域が三位一体となって、子どもと共に学び育む「共育」を推進し、子どもと共に生きていく思いを大切に運営してきました。これまでの学校応援団をより充実させるために、図書・栽培・安全の3部門を設けて連携を図りました。しかし今年度もコロナ禍が続いているため、以前のように子供たちが待ち望んでいる読み聞かせ活動や色や匂いで季節を感じる栽培活動が制限されています。安全活動は学校・家庭・地域と連携及び協力しながら無理のない範囲内で子供たちの安全見守り活動を継続しました。

今年度をもって下鎌田西小学校応援団は、下鎌田小学校との統合により名称はなくなりますが、今までの経験や実績を踏まえ、「できるときに、できるひとが、できることを」の精神を各活動が統合先でも行えることを期待しております。

## 6 学校長より

今年度も、続くコロナ禍の中、学校応援団の皆様には学校運営についてたくさんのお手伝いをいただきました。毎日の登校時の見守り、学校図書館の整備や読み語り動画の作成、児童と連携しての育苗や花壇の整備など、制限も多い中で、いつも子どもたちのことを考えて前向きにご協力いただいたことに感謝の気持ちは尽きません。

今年度で下鎌田西小学校は閉校となりますが、これまでの長年に渡る学校応援団の皆様のご協力に重ねて御礼いたします。ありがとうございました。

# 江戸川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川小学校長            江島   しのぶ  
 コーディネーター        三田   栄一郎

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備ボランティア	図書館整備・充実（月1回第3木曜日）	10人
読み聞かせボランティア	児童向けの読み聞かせ（月2～3日）	3人
旗振り・見守りボランティア	登校時の児童の安全確認（毎日）	14人
下校見守りボランティア	下校時の児童の安全確認、指導（週1日）	1人
学校施設充実ボランティア	学校施設の修繕、什器・備品の制作、樹木の剪定、（週2～3日）	1人
藤棚整備ボランティア	藤棚の剪定（年1～2回）	1人



学校図書館整備



読み聞かせ



登校時旗振り・見守り



下校時見守り



藤棚剪定



学校施設充実・修繕



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・本校は令和4年度より、PTA組織をスリム化し活動内容を大幅に見直し、従前PTAで取り組んできた活動の大部分を学校応援団（本校では江戸小サポーターズクラブ（ESC）と称しています。）のボランティア制に移管しました。
- ・「旗振り・見守りボランティア」を募集した当初は応募される方が少なく、先行きが不安視されました。しかし、先行して参加してくださった方々の笑顔で取り組まれる様子を見られた他の方々が続々と加わってくださり、現在ではたくさんの方々が参加されるようになりました。
- ・各種ボランティアの方々のお陰で、自由登校に移行した後も子どもたちは無事故で登校でき、校舎内で快適な日々を送ることができています。

### <課 題>

- ・コロナ禍による影響の他、年々児童数の減少に伴い家庭数も減少していく中において、これまでの活動を継続することが困難になることが予想されます。そのため、安定的に人材の確保をしていくことが最大の課題といえます。
- ・今年度も、できる限り学校だよりや学校ホームページに江戸小サポーターズクラブ（ESC）の活動や取組を紹介しました。今後は、保護者の方々はもとより、さらに地域からも幅広くサポーターを増やしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

「江戸小サポーターズクラブ（ESC）」は、早いもので3年が経過しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ続いている中での活動となっています。

ボランティアの皆様には、引き続き子どもたちのためにご協力をお願いいたします。昨年度より、始まった読み聞かせボランティアをはじめ、図書館ボランティア、旗振り見守りボランティア、藤棚整備などなど、順調に進んでいます。子どもたちにとっての良い環境づくりを目指し、微力ながら協力してまいりたいと思います。

結びに、学校応援団の取組について、ご理解とご支援を賜りました皆様方に心より感謝申し上げます。

## 6 学校長より

本校は、令和元年より「江戸川区立江戸川小学校グランドデザイン」に基づいた計画のもと、「自他ともに認め合い、主体的に行動する人」の育成を目指した教育活動を推進しています。

江戸小サポーターズクラブでは、学校と学校の教育活動を支援される皆様方が協働で児童の学習環境の充実に取り組み、これまでの活動内容を学校ホームページで紹介することができました。関係者の皆様方には本校の教育活動を支えていただき、深く感謝申し上げます。これまでの取組を生かしつつ、今後は、新規に登録していただける方が増加するように、サポーターの皆様方との連携・協働を推進していきたいと思います。

# 一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江小学校長 伊藤 秀一  
コーディネーター 牧島 孝行

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
本よみ隊！	学期に2～4回	15人
登下校見守り	週5回	全保護者
ゲストティーチャー	不定期	2人
図書室整備	年9回	20人
全校花いっぱい活動	年2回	20人
書初め練習	年1回	3人

## 4 今年度の成果と課題 ＜成果＞

「本よみ隊！」

朝読書の時間に、読み聞かせボランティアを募集して、本の読み聞かせを行ってくださっています。感染症予防をしながらではありますが、子供たちが興味をもつ本を選定し、工夫して読んでくださいます。

また、掲示物を定期的に作成し、本への関心を高めてくださっています。右図は、2学期末の、コーナーの様子です。

読み聞かせ計画は、上学年の日、低学年の日、と分け、

- (1) 計画
- (2) 募集
- (3) 調整
- (4) 実施
- (5) 振り返り、計画



の流れで、今年度は、年間を通して、通常に近い形で距離をとりながら、実施しました。

- 1, 2月についても計画中です。  
(感染症の状況を見つつ、変更有)



#### 「図書室整備（本の分類を中心に）」

- ボランティアを募集し、図書館スーパーバイザーと連携して、定期的に行いました。使いやすく本に親しみやすい環境をみんなで作りました。それぞれのアイデアを出し合い工夫していただいたので児童も図書室を喜んで使っていました。
- 図書の分類・シールの貼り替え



#### 「登下校見守り」

- 毎日たくさんの保護者様が来てくださり、児童の安全が確保されました。



#### 「書初め練習」

- すくすくスクールの時間に講師の先生を中心にサポートセンターの方にも参加いただき、子供たちが、熱心に取り組みました。



#### 「全校花いっぱい活動」

- 保護者ボランティアの皆さんが、雑草を取ったり、土を柔らかくしたりして整備した花壇に、子供たちと一緒に花の苗を植えました。ボランティアさんの声かけを聞きながら、大切にお花を植える子供たちの一生懸命な様子がすてきでした。



#### 「ゲストティーチャー小松菜学習」

- 10月18日、小松菜農家の富澤さんにお越しいただき、小松菜の育て方や、工夫していること、実際の種まきなど、学びました。

### <課 題>

今年度は、読み聞かせも4月から、感染症の状況も見つつ実施できました。図書室整備ボランティアも2年目を迎え、作業の流れもよく、整備が大変進みました。

全校花いっぱい活動では、花壇整備から、苗植えの準備、児童との活動、すべてに活動できました。

活動人数、人材の確保は何年も続いている大きな課題となっています。中心となって活動して下さる方々、卒業生OBで活動して下さっている方々に加えて、保護者の方・地域の方のさらなる参加を促進していくことが、今後の学校応援団の充実につながると考えます。児童の笑顔と共に創っていく喜びを伝え、今後も活動を工夫してまいります。

感染症対策を行い、できることを探り、チャレンジしていきます。

## 5 コーディネーターより

子供たちの笑顔大切に、学校応援団としてできることをこれからも考え、コミュニケーション力を高めるためにお役に立てばうれしく存じます。健全な子供たちの成長をめざし、小中連携も念頭に、地域の学校としての一之江小学校を支えていくことに力を尽くしていきます。

## 6 学校長より

皆様の温かいご支援により、子供たちの成長が見守られ、心豊かに育っていることに感謝申し上げます。皆様それぞれの思いと努力が子供たちの大きな支えとなっております。今後も学校応援団の皆様と手を携えて、さらに地域に誇れるよりよい学校づくりに励んでまいります。

# 一之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江第二小学校長 木野 治喜  
 コーディネーター 溝口 泰志



## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
金魚会 (子供活動応援団) すくすくスクール	(コロナのため、活動見合わせ)	
ぐりぐら会(環境応援団)	毎月の整備 ・図書整備 本の分類・整理、修復等の実施 ・図書室の装飾、特設コーナーの設置	15人
いち・にの・くれよん♪ (読書活動応援団)	読み聞かせ 毎月1回	25人
見守り隊 (安全・安心応援団)	登下校時の安全の見守り 週5回	10人



読 み 聞 か せ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・引き続きコロナ禍により、例年行われている活動が制限されてしまった。特に、金魚会（子供活動応援団）の行事は、感染症拡大防止の観点により全く行うことができなかった。
- ・昨年同様、学校図書館の整備は、活動制限の影響を受けにくく、計画的・定期的に環境整備を進められた。季節感に満ち溢れた装飾により、楽しい雰囲気の中、児童が学校図書館を利用している。また、オススメ本が展示され、気軽に親しむことができている。
- ・読み聞かせが実現できることが増え、児童は学年を問わず、お話の世界に浸ることができた。豊かな情操を養っていく上でも、有効であった。

### <課 題>

- ・予算の運用について、次年度へ繰り越せることを望む声がある。予算をより有意義に使えるという理由である。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は、学校と地域、そして保護者が協力して子供たちにとってよりよい環境づくりを推進するということを大切に、運営してきました。

今なお終わりが見えぬコロナ禍のため、安全を最優先しています。感染症拡大防止の観点により、本事業を全面実施できぬまま3年間が経過しようとしています。しかし、これからも子供たちのために保護者や地域と協力して、二小応援団の活動内容を可能な形で、充実したものにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校応援団の取組は、学校を応援してくださる皆様のご理解とご支援をいただきながら、安全対策を講じながら、実施されています。

地域安全「見守り隊」の皆様による児童下校時の見守り、「いち・この・くれよん♪」の皆様による読み聞かせは、子供たちとの交流もあり、心のつながりが生まれています。「ぐりぐら会」の皆様による図書館整備は、子供たちの目にはふれない活動風景ながら、装飾や推薦図書の展示により、児童はその有難味を感じ取っています。

今後も「人の和」を大切にしながら「笑顔あふれる一之江第二小学校」を目指してまいります。

# 鹿本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿本小学校長 太巻 美青  
コーディネーター 飯沼 倭雄

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	75人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学習ボランティア	不定期	3名
図書ボランティア	月に2回	10名
おやじの会	7月9日(土)に1回 2月11日(土)に1回	17名
子供見守り隊	朝の登校時週5日、 6月、11月の一斉下校時各1回	14名

## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

[学習ボランティア]

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため実質的な活動は行えなかった。
- ・ボランティア活動を行う際に、会議室を利用しているため、活動が再開した時のこ



# 鹿骨小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨小学校長 高橋 徹  
 コーディネーター 進藤 康之



## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	70人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況 (週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
放課後オンライン教室	週1回	2人
花と緑のボランティア	年3回	10人程度
学習の支援（校外学習等）	不定期	10人程度
英会話教室ボランティア	月2～3回	8人
漢検・数検ボランティア	年2回	5人程度
運動会やマラソン大会での安全確保等	年2回	20人程度
夏祭り（花火会）ボランティア	年1回	10人程度
屋上ガーデンボランティア	不定期	5人程度

### 屋上ガーデン

畑作りをして、みんなで種まき



### 英会話教室

～親子で楽しく英会話～





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度、地域の小松菜農家の方が全面的にサポートしてくださり、屋上にあった緑化庭園を整備し、「屋上ガーデン」として再生することができた。また、畑づくりや種まきの際は、児童や有志の保護者の方も参加することができた。今後は、学校応援団を中心に運営していく中で、より多くの保護者や地域の方の参加を促し、大人同士の憩いの場、コミュニケーションの場となるような活動に発展させていきたい。
- 「放課後オンライン学習」は、ボランティアの方の見守りのもと、参加児童は「e ライブラリアドバンス」の学習問題に取り組み、楽しくも実のある学習機会となっている。「友達と一緒に学習することが楽しい」と感じている児童が多く、学習用タブレット端末を巧みに操作しながら、自主的に学習に取り組んでいる。
- 夏季休業中に、本校校庭で、学校応援団主催の夏祭り（花火会）を初めて実施した。コロナ禍の中で様々な地域行事が中止や縮小される中で、親子で楽しめるイベントを実施できたこと、そして子供たちのよき思い出になったことは大きな成果であった。また、当日は多くのボランティアの方が準備や近隣の見回りをしてくださり、安全・安心な運営につながった。
- 低学年を対象にした「放課後英会話教室」は、参加児童の保護者が主体的に運営するようになった。指導内容も地域の英会話スクール講師の指導を仰ぎながら、運営保護者間で相談して決め、参加児童に指導している。また、参加児童の保護者が運営することで、下校時等の安全を確保することができている。

### <課 題>

- 協力してくださるボランティアの方が固定化してしまう傾向にある。学校ホームページや配布物等を活用して保護者への呼び掛けを活発にし、学校応援団の活動に興味を持っていただくとともに、参加しやすい環境を整えていくことで、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。
- ボランティア活動をしてくださっている方々への感謝の気持ちをもたせたり、伝えさせたりする中で、子どもたちのボランティア精神を高める一助としていきたい。

## 5 コーディネーター（学校応援団長）より

- 今年度も、これまでご協力いただいたボランティアの方々に引き続き参加していただくだけでなく、新たなメンバーも迎え、充実した活動を行うことができました。特に、屋上ガーデンは、地域の方のご助力がなければ実現しなかったと強く感じています。本当に感謝しております。また、在校児童の保護者を中心にボランティアへの参加を積極的に募っていますが、思ったよりなかなか集まらないのが現状です。「応援団員になるとこれからいろいろなことに参加しなくてはいけなくなる」などの気持ちもあるのか、壁は高いようです。義務のようなものはなく、「できるときにできることだけ」でよいことをこれからも発信していくとともに、学校とも連絡を密にして、気軽に参加できるボランティア環境を構築していきたいと考えています。

## 6 学校長より

- 本校の教育目標は「自立と貢献」です。児童には、本校での学校教育の中で地域の方々との関わりを深め、ゆくゆくは自らの地域の魅力を高める人材となることを切望しています。そのためには、学校へ幅広く地域人材を受け入れ、児童にその活躍を伝えていくことが重要と考えています。今後も、学校応援団の方々とともに、魅力ある学校づくりを進めて参ります。

# 鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立鹿骨東小学校長 中田 伸代  
 コーディネーター 杉田 省吾

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	79人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全・安心見守り隊	週5回	24
図書ボランティア	学校図書館週1回 児童読み聞かせ月1回	15
グリーンボランティア	不定期 学校菜園の整備 米作りの指導・助言	13
環境整備（おやじの会）	不定期 学校の側溝清掃	27



グリーンボランティアによる田植え指導です。



登校の安全・安心は見守り隊のみなさんのおかげです。



おやじの会のみなさんに田んぼの鳥よけネットを組み立ててもらっています。



おやじの会のみなさんには、校庭の側溝掃除もしていただいています。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

学校図書司書と図書ボランティアの方々が協働して、学校図書館の環境整備をできたことで、図書指導が充実した。また、おやじの会には学校の側溝清掃や米作りのすずめ除けの網の設置など今年も支援していただいた。骨組みを新しくできたこともよかった。稲作の準備や刈り取った米の脱穀、地域での朝顔の栽培や手入れなど、グリーンボランティアの方が児童に分かりやすく話していただき、地域理解、ふるさと鹿骨を愛する気持ちを育てることができた。

毎朝の登校の見守りをしてくださる地域の応援団が大変協力的である。登校時の交通事故は発生していない。見守り隊の方々と児童や地域の情報について、交流できていることがとてもありがたい。また、挨拶についても指導、声掛けをしていただき、児童のあいさつの習慣作りができた。

### <課 題>

地域の方々が本校に寄せる愛着と期待を強く感じる。学校行事をできる限りオープンにし、児童・教員と地域の人々が触れ合える機会を設定したい。高齢化のため、登下校時の安全を見守ってくださる地域の方が減ってきている。PTAをはじめとして、地域への呼び掛け・人材の確保が課題である。

学校側として、今後、多数の異動者が見込まれるので、ふるさと学習等で地域の方々から得た知見を継承できるようにすることが必要である。

## 5 コーディネーターより

まずは、多大なるご協力のもと、予定行事全てを完了できたことに感謝申し上げます。

例年感じることですが、地域の皆様と児童たちの結びつきが強いのが鹿骨地域の特徴であり、大きな価値だと思います。特に登校時の見守り隊の皆様と児童のコミュニケーションの深さには尊敬しかなく、また、不登校発生の抑止の1つにもなっていることも考えられ、本当に感謝しております。

コロナ禍の続く現状で、ボランティア同士の接点が、以前よりも取りづらくなっていることから、今後の人員確保の難易度も高まっている現状については、課題を感じており、時代に合った何かを検討し続ける必要性を感じている1年でもありました。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、登校時の見守りやグリーンボランティア等で大変お世話になっております。

子供たちに向けられるあたたかいまなざしと声掛けに守られ、支えられ、子供たちは安全に生き生きと成長しています。心より感謝申し上げます。

# 松本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松本小学校長 吉田 佳代  
 コーディネーター 二村 寿三

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	56人
--------------	----------	-----

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーン ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園や校庭果樹の管理 [通年]</li> <li>・果樹・作物の栽培、収穫の指導と補助 [通年]</li> <li>○みかん（1年） ○さつまいも（2年）</li> <li>○小松菜（3年） ○梨（4年）</li> <li>○稲 田んぼでの田植え、稲刈り、脱穀（5年）</li> <li>○サクランボ（6年）</li> <li>・校庭の芝生の管理[通年]</li> </ul>	5
「心のごはん」活動 ・図書ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級での読み聞かせ [毎月1回]</li> <li>・学校図書館環境整備 (書架整理、図書館飾りつけ) [毎月1回]</li> </ul>	9 保護者
安全・安心の見守り活動 朝の挨拶運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、当校時の安全見守り [通年] (通学路の交差点、横断歩道等で)</li> <li>・毎朝、正門・東門での登校時の安全見守り、挨拶の言葉かけ [通年]</li> </ul>	174 (全家庭の 保護者と 応援団3)
ヤギのお世話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が休みの時のやぎのお世話 [通年]</li> </ul>	40



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・グリーンボランティア活動では、学校応援団の方が主になり、たくさんの支援をいただいた。その結果、多くの実りを得ることができただけでなく、実のなる木の受粉や摘果、昔の道具を使った脱穀等、児童に貴重な体験活動をさせたり、自分たちで採ったものを食べたりする体験もできた。
- ・学校応援団の方々の継続的な「あいさつ運動」により、元気にあいさつできる児童が増えてきている。積極的に朝のあいさつに参加する教職員も増え、学校全体であいさつをする気風が高まってきている。
- ・「心のごはん」では、様々な本を工夫して選んでもらうことで、子どもたちが楽しみにしていて、とても集中して聞く態度が見られるようになった。また、課題となっていた現役保護者の参加が少しずつ見られるようになった。
- ・50周年記念として児童の願いがあり、ヤギを飼うことになった。子どもたちがお世話を一生懸命行っている。命の大切さを感じるよい機会となっている。

### <課 題>

- ・グリーンボランティアは学校応援団の方への負担が大きい。もっと関わり方を工夫することで、日常的に支援してもらえるメンバーを増やしていきたい。
- ・「心のごはん」の現役保護者の参加を定着させるとともに増やしていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度は新型コロナウイルス感染対策を行いながら、昨年度よりも応援団活動を多く行うことができました。「心のごはん」では、真剣に読み聞かせを聞く子どもたち、「グリーンボランティア」では、梨やさつまいもや小松菜を収穫して喜ぶ子どもたち、「挨拶運動」では、元気に挨拶を返す子どもたちの姿を見ることができました。子どもたちの満面の笑みが、我々の次の活動への活力になります。今後も「松小の子どものために活動しよう」「できることから始めよう」「続けていこう」の三本柱をモットーにして、学校を通した《地域のつながり》という大きな役割を担いつつ、様々な人との関わり合いを大切にして活動していきます。今年度の活動へのたくさんのご支援・ご協力をありがとうございました。

## 6 学校長より

今年度も学校応援団の皆様には、「グリーンボランティア活動」、「朝のあいさつ運動」、「心のごはん」など、多大なるお力添えをいただき、ありがとうございました。皆様のご協力があり、他ではできない様々な体験と共に、子どもたちのたくさん笑顔を見ることができました。心より感謝申し上げます。

また、今年度は開校50周年を記念して、子どもたちの希望の下、ヤギを飼うことになりました。ヤギの飼育は、家庭・地域のご協力なしにはできないことです。しかし、今までに家庭・地域の皆様と「実のなる木」活動などの伝統を築き上げてきた松本小学校なら、大丈夫だと感じております。今後も家庭・地域の方々と、子どもたちの健やかな成長のために様々な活動に取り組んでいくとともに、新たな伝統を築いていきたいと考えております。今後どうぞよろしく願いいたします。

# 本一色学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長            和田 敏郎  
コーディネーター        吉野 誠司

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(隔週水曜日)	14人
図書館壁面装飾	月1回(第1木曜日)	8人
農園整備	今年度はコロナウイルス感染症の影響のため、活動中止。	1人

整備していただいた学校園



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響のなか、感染症対策を講じながら、活動を行った。
- ・月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださっている。読み聞かせを通して子どもたちは本に親しみをもつようになっている。
- ・図書館装飾ボランティアの方々は、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の整理にも取り組んでくださり、図書館が活用しやすくなった。
- ・地域の方から貸していただいている学校園での活動は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。しかし、区が防草シートを張る工事を施工していただいたおかげで、除草や畝作りなどの作業は行わずに済んでいる。

### <課 題>

- ・学校応援団の取り組み活動内容を保護者や地域の方に周知しているがメンバーが集まりにくいことが課題である。学校便りやホームページ等で広くその活動内容を知らせ、関心をもっていただく。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

## 5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。子供たちの健やかな成長を支えるため、感染症対策に取り組みながらの活動となりました。

今後は、多くの方に学校応援団の仕組や活動について、協力していただくことが必要です。地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、PTA・学校と連携を深め、学校の活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしく願いたします。

## 6 学校長より

今年度も昨年度に引き続き、感染症の影響が大きい年になってしまいました。それでも、学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍して下さいました。また、ゲストティーチャーや動画で授業に協力して頂いた方も多くいらっしゃいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になるので、学習意欲の向上につながります。ご多用の中、今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

# 篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎小学校長            佐藤 美緒  
 コーディネーター      佐々木 堂至

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	51人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	隔週火曜日	11人
図書整備ボランティア	不定期（月3回程度）	9人
農園栽培ボランティア	不定期	30人
凧作りボランティア	不定期	1人

図書室整備の様子



サツマイモのつる切りの様子



読み聞かせの様子



凧揚げの様子





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

仮設校舎二年目の今年も、「できることを少しずつ」をテーマに、ボランティアの方々とコロナウイルス感染症対策を講じながら活動を進めることができた。

#### ○図書整備ボランティア

7月5日より図書室での授業がない時間や児童が使用しない給食の時間に2～9名程度で集まって図書室の整備や図書室の飾りつけ等を行ってくださった。また、図書館職員とも連携し、本の修繕や表示等の作成も協力して活動してくださった。毎回、掃除まで行ってくださることで、児童が気持ちよく読書活動ができる環境づくりに努めていただいた。

#### ○読み聞かせボランティア

5月10日から読み聞かせボランティアはスタートした。実物投影機を活用したり季節や行事に合わせた本を選択したりして読み聞かせを行ってくれることで、学年問わず集中して楽しんで本の世界を味わっている。ボランティアの方も楽しんでやってくださるので、それが子供たちにも伝わっており、身を乗り出して朝から聞き入っている児童がいるクラスも見受けられた。また、ボランティアの方も慣れてきたことで、読み方にも工夫ができており、楽しみながら活動を続けてくださっていた。

#### ○農園ボランティア

低学年の「サツマイモのつる切り」では、ボランティアの方を中心に丁寧につる切りをして手伝ってもらった。片付けまでさっとやってくださり、児童の活動が大変スムーズに進めることができた。また、不定期ではあるが、畑に来て水を撒いてくださったり、雑草を抜き、畑を耕してくれたり、農園活動が取り組みやすいように動いてくださった。

#### ○凧作りボランティア

2学期に全学年の担任へ凧の下絵書きから凧作りについて丁寧に指導してくださった。また、毎年1月に行われる学校公開での凧揚げにおいては、児童へ凧の揚げ方についても指導もして下さる予定である。本校の伝統的な凧作りとともに凧揚げの伝統を継続的につなげてくださっている。

### <課 題>

○どのボランティアにおいても、人の確保をつなげていくことが難しくなっている。コロナ禍において、学校との関わりが少なくなっており、学校でのボランティア活動を目にする機会が減っているため、今後どうやって参加を促していくか、学校応援団の周知についてホームページ等も活用していきたい。

## 5 コーディネーターより

なかなか学校へ伺う機会が減ってしまっている中、応援団の皆さんの協力で子供たちの活動が少しでも有意義になれば幸いです。引き続き、学校、保護者、地域を少しでもつなげていけるきっかけになるよう取り組んでいきたいと思っております。

## 6 学校長より

学校応援団ボランティアの皆様が篠崎小学校のために積極的に関わってくださっていることを大変有難く思っております。そのおかげで、本校の特色である地域の伝統文化の凧作りや学校農園等を充実していくことができています。

引き続き、「篠小応援団」の皆様と協力しながら、篠崎小学校の教育活動がさらに充実していくよう、教育活動を進めてまいります。



### 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 高橋 宏幸      コーディネーター 佐々木 仁

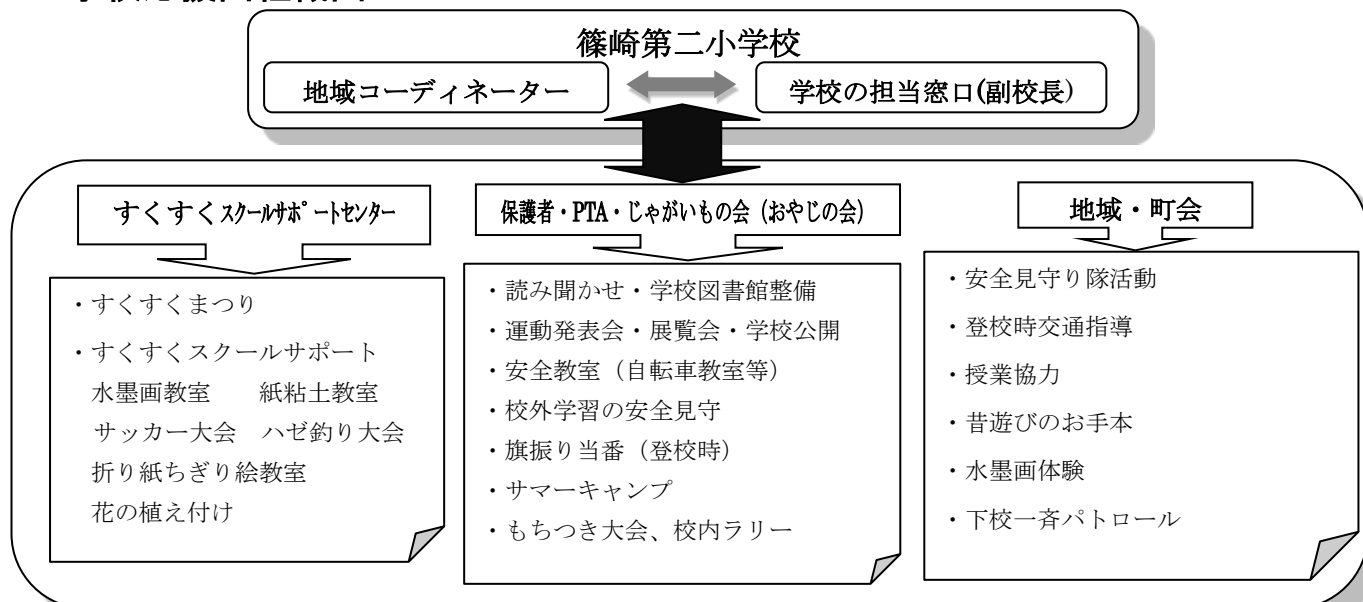
### 2 ボランティア登録数（令和5年1月現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	63人
	学生ボランティア	0人

### 3 今年度の活動内容

	応援団の名称	活動内容
地域・町会	登下校パトロール	○通学路で登下校の安全を見守る。 4人【一斉下校パトロール時】
	水墨画指導	○総合的な学習での水墨画の指導 1人
	読み聞かせ	○学級に入って本の読み聞かせをする。 3人
	小松菜栽培支援	○小松菜栽培の指導や体験の支援 3人(今年度はなし)
	昔遊びお手本	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 随時募集(今年度はなし)
保護者・PTA・じゃがいも(おやじ)の会	旗振り	○登校時の安全を見守る。(毎朝) 25人
	登下校パトロール	○通学路で登下校の安全を見守る。 5人【一斉下校パトロール時】
	交通安全教室	○自転車教室等でのお手伝い。 10人程度
	学校行事の際の受付対応	○学校公開、運動発表会等の受付 10人程度
	読み聞かせ	○学級に入って本の読み聞かせをする。 5人
	校外学習の引率補助	○校外学習を実施する際の安全支援 随時募集(今年度はなし)
	学校行事の際のパトロール	○会場及び周辺的安全確認パトロール 随時募集(今年度はなし)
	町たんけん支援	○班別行動の付き添い 随時募集(今年度はなし)
	ミシン学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 4人(今年度はなし)
	調理実習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 5人(今年度はなし)
	図工学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 随時募集(今年度はなし)
図書館整備	○本の修理や本の整頓を行う。 随時募集(今年度はなし)	

### 4 学校応援団組織図



## 5 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

令和4年度は、コロナ禍における教育活動が定着しつつある中ですが、体験的学習や校外学習などでは地域・保護者の方のお手伝いをコロナ禍以前と同等にはお願いできない状況でした。そのような中でも引き続き、毎朝の登下校時の旗振りと登下校時のパトロール、また校内でのコロナ対策もPTAやおやじの会などからのご協力をいただきました。消毒等の対策のもと、今年度も運動発表会、学校公開、音楽会等の発表を行うことができ、保護者受付や誘導などのご協力をいただき、スムーズな運営ができました。「読み聞かせ活動」は年度当初から各学期に1度のペースで、『健康観察カードの提出、マスク着用、座席移動なし』などの対策のもと、ICTを活用しながら、年3回行っていただくことができました。また、『水墨画』の指導も3年ぶりに5年生で再開いただく予定です。PTA活動のバザーも開催でき、地域の皆様にもご参加いただけました。すくすくスクールの行事(親子ハゼ釣り会・サッカー教室等)も再開できるようになってきています。



親子ハゼ釣り会



サッカー教室



読み聞かせ



一斉下校パトロール

### <課題>

開校当時から続く「応援団」の魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。今年度も、新型コロナウイルス対応のため中断されている活動が多々あります。来年度には感染症との折り合いを見ながら地域の皆様の力をお借りし、できることを考え、学校応援団の活動を充実させていくことが課題です。また登下校の見守りや読み聞かせ活動、学校行事へのご協力などは引き続き応援団の皆様にお力をお借りさせていただきます。

## 6 コーディネーターより

地域には篠崎第二小学校の卒業生の方も多くお住まいになっています。社会人となり母校のために何か協力ができないかと思っている方は多いと思います。コーディネーターとしてそのような方々の「気持ち」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠崎第二小学校が地域の学校として、地域の子供たちのための教育がより一層充実することを目指していきたいと考えています。

## 7 学校長より

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策のもとで、過去に培ってきた様々な場面での活動や実績を見送らざるを得ませんでした。しかし、これからも状況を見ながら子供たちの安全と学びの向上のために、保護者、地域の方々に支えていただけたらと願っています。そしてこの活動が「地域ふるさと」を知る『教材』となるよう、つながりを大切にして活動していけるように考えたいと思っています。今後とも、子供たちが健やかに育つ学びの場としての学校を、応援団の方々と一緒につくっていきたくて考えています。

# 篠崎第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第三小学校長      佐藤 敬一  
 コーディネーター      関口 晃

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	45人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安心・安全見守り隊	毎日の登下校時 SPSパトロール	26人
学校図書館業務	毎週木曜日	19人
学校行事・PTA活動支援・サンクラブ	不定期	15人

ウェズレーの会による「お話し会」



クリスマス ツリー準備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 雨の日も風の日も毎日登下校を見守ってくださったおかげで、安全に登下校ができた。保護者からも感謝の声を聞いている。
- 定期的に本の読み聞かせやお話会を行い、読書活動が充実し、児童が本を好きになった。また低学年の学級文庫の入れ替えを定期的に行い、子供たちが新しい本を手にする機会を得ることができた。
- 定期的に本の整理や修理を行い、学校図書館がきれいになり使いやすくなった。

### <課 題>

- 感染症防止対策のために、様々な学校行事の開催形態が変わったことで、学校応援団のよる方々による支援の機会が減少したので、今後できることを検討し、実践していく。
- 学校応援団の活動を児童や保護者に今以上に周知するために、活動の紹介などの啓発活動を行っていく。
- 教員と学校応援団との打ち合わせ時間を確保し、より充実した活動となるようにする。

## 5 コーディネーターより

学校応援団コーディネーター 関口 晃

新型コロナウイルス感染症防止対策により、学校行事等が制限され、学校応援団としての活動も十分にできなかったことが残念でした。しかしながら、児童の登下校見守りや読み聞かせ等の読書活動、各種行事の支援活動ができたことが大きな成果となりました。今後も、学校応援団の一員として積極的に関わっていきたいと思いますので、メンバーの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

毎年、たくさんのお力をお借りして学校の教育活動を進められていることに感謝申し上げます。「子供は地域の宝」と言いますが、子供たちがたくさんの方々にかわいがっていただいていることを、とても有難く思います。子供たちにも自分たちの周りで力を貸して下さっている方々がたくさんいることを伝えていきます。今後も学校応援団の方々に、地域の皆様に助けていただきながら子供たちを育ててまいります。引き続き、本校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

# 篠崎第四小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第四小学校長 国分 靖  
 コーディネーター 風間 春彦

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月4回（毎週火曜日）	21人
読み聞かせ	不定期	16人
登下校見守り	月1回	40人
防災部	不定期	3人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・校長の学校経営方針に基づき、ボランティア組織（ブックママ・おはなし隊・防災部）と連携をとり、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校応援団の活動を継続させることができた。
- ・図書室の整備では、児童の実態を考慮し、本に親しむ環境を整えることができた。また、録画による読み聞かせを行うことができた。
- ・町会と連携し、避難所開設についても共に考え、コロナ禍においても実際に起こった時に備えられるよう情報共有を行うことができた。
- ・登下校の安全についても、地域と連携をとり見守ることができた。
- ・花の苗植えなど、学校環境美化についても協力できた。

### <課 題>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような活動をするのが難しくしたが、新たな活動を工夫することができつつある。今後も活動を止めることなく工夫する方法を考えていかなければならない。
- ・学校応援団の活動を、あまり知らない保護者の方が、いまだ少なくないのでHPなどで発信し、地域みんなで児童のためにより学校を創っていくよう努力を続ける。
- ・登校見守りについて、人数を増やしていけるとよいので今後も啓発、アピールを続けていきたい。
- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく。

## 5 コーディネーターより

篠崎第四小学校は、学校・保護者・地域が一体となり、全校児童が、安全で安心して楽しく学校生活を送れるように取り組んでいます。「学校応援団」の活動とその継続にあたり、その活動を少しでもお手伝いができるものと考え、本年度も活動を推進してきました。

今後も、応援団のスローガンにある「できるときに、できる人が、できることを」を合言葉に、保護者と地域の方の協力のもと、様々な学校への支援活動をしていきたいと思っております。

## 6 学校長より

篠崎第四小学校は、全校児童が安全で安心して楽しく学校生活を送れるように、保護者・地域のお力添えを得て、活動に取り組んでいます。既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちのために良い環境を作ることができています。子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するためにも、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思っております。今後も、子供たちの伸びや高まりを目指すとともに、本校の「共育・協働」をさらに一層進めていきます。

# 篠崎第五小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第五小学校長 山田 勇一郎  
コーディネーター 川上 巖

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	21人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書室整理	月1回	20人
読み聞かせ	学期2回程度	10人
農園整備	月1回程度	7人
環境美化（ゴミ拾い）	不定期	2人





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・ 図書整備

今年度は昨年度に引き続き、区の施策で司書が配置され、毎週月曜日、司書の業務に合わせて、10人前後の図書ボランティアが来校した。司書と連携し、蔵書の管理や本棚の整理、ページが破れてしまった本の修理など、積極的に活動し支援して下さった。

また、オンラインでの読み聞かせも継続され、魅力的な本を子供たちに紹介して下さった。感染症予防のため、読み聞かせボランティアがMicrosoft Teamsを活用して、図書室から各教室の児童へ向けに絵本の読み聞かせを行った。低学年向けと高学年向けに分けて発達段階に応じた絵本を選定し、それぞれの読書タイムに読み聞かせた。事前に教員のアドバイスをもとに、絵本の見せ方や読み方の練習を行い、当日も見やすく聞きやすい効果的な読み聞かせが実現した。子供たちは、各教室のテレビ画面に集中して本の世界を楽しむことができた。これらの活動により、児童の本に対する興味もさらに深まってきた。

- ・ 困難に負けない農園活動

新型コロナウイルス感染症対策による活動自粛や真夏の猛暑等、学校農園での計画・作業にも影響があったが、農園コーディネーターと農園ボランティア、用務主事の尽力により、田んぼの代かきや田植え、水やり、防虫ネットの設置、小松菜やヘチマ等、各学年の作物の育成を行えたことが成果である。田んぼの稲刈りや脱穀は5年生の児童も関わることもできた。米作りの歴史や収穫の喜びを学習発表会にて、調べ学習として地域や保護者に発表することができた。

### <課 題>

- ・ ボランティアの人集め

昨年度から引き続き、感染症対策のため来校する人数や機会が制限され、ボランティア全体の人員を確保することが難しかった。特に、農園ボランティアについて、コーディネーターが変わったこともあり、作業の分担が難しかった。新たな、人員を集めていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

図書ボランティア活動では、学校の図書担当教員や司書と打ち合わせを進め、学校図書館の蔵書の管理や本棚の整理、本の修理等ができたことがよかった。今後も児童が本と触れ合う機会が増えることを望みつつ、図書ボランティアの発展を図っていきたい。

農園活動では、ボランティアが集まらず、作業に時間がかかることが多かった。児童が怪我をしないよう、また目的の学習成果が得られるように、準備や作業を行ってきた。教職員ともできる限り連携をとるようにしてきた。次年度は教職員と連携し年度当初に農園計画を立て、ボランティア同士で周知し、早めに準備していきたい。

## 6 学校長より

今年度もコロナ禍で制限の多い中、学校応援団の皆様による、学校教育の充実を図ることができた。今後も、学校と学校応援団の方と連携をとっていきながら、充実した教育活動を展開していく。

# 南篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南篠崎小学校長 豊澤 みどり  
 コーディネーター 神子 雅史

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
畑の整備と運営補助	不定期	50人
図書室本の整理・装飾等	週1回（基本毎週金曜日）	10人
読み聞かせ	9月～10月	10人
登下校見守り	週5回	418人

### 【農園ボランティア】



2年生が生活科の小麦の栽培活動の一環として、脱穀機を利用しての小麦の脱穀体験と小麦の実を石臼で小麦を粉にする体験をしました。1年生は、来年のために小麦の種まきをしました。

### 【図書ボランティア】



図書ボランティアの方々と学校司書が連携し、図書室の装飾や書庫の整理等行いました。また今年は、読み聞かせを全学級で行っていただき、子供たちがより本に興味をもついい機会になりました。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 教育活動計画のもと、農園ボランティアさんの専門的な知識や技能を活用させていただき、特に生活科では、栽培活動を通して、ものづくりのよさや大変さ、昔の人々の知恵や努力を体感することができ、栽培への意欲と関心が高まった。
- 農園ボランティアさんの計画的な農園の運営・管理を進めていただき、必要に応じた学習活動を展開することができた。また、教員と連携をとり、具体的な学習活動を教員からボランティアの方々へ伝えることができ、より質の高い学習活動を行うことができた。さらに、農園に設置された掲示板を様々な行事に合わせきれいに表現していただき、児童、保護者、地域の方々を楽しませていただいた。
- 学校図書館司書と連携し、書庫の整理や廃棄本の選定など効率的に進めることができた。それにより、調べ学習等必要に応じた学校図書館の機能の充実につながった。今年度は、お話をを行うことができ、本への関心をより高めることができた。

### <課 題>

- 今年度も学校応援団会議を開くことができなかった。活動内容の確認や予算の配分など、年間の計画を確認し、各ボランティアに周知する方法を考え、広く周知できるようにする。
- 昨年度に比べ、様々な活動ができた。活動内容の制限があり、今までのような活動はできないことも今後も考えられる。このような状況でも、できる限り活動の実現を目指し、工夫した活動内容を学校が主体となって考え、ボランティアと連携し協力して取り組む必要がある。
- お話をを行うことができた。9月～10月という期間限定であったが、今後感染状況を把握しながら、定期的な実施を行えるよう考える。

## 5 コーディネーターより

- 昨年度に比べ、学校応援団の活動が増えてきた。次年度も、感染予防対策を講じながら、各ボランティアの代表の方と連携し、子供たちが今年できなかったことを実施できるよう工夫し、維持継続できるものを考え、学校に協力していく。

## 6 学校長より

- 今年度も、新型コロナウイルス感染症のため、保護者の方が校舎内に入る機会を極力控えてきました。また、密になることのないようにボランティアの方にも協力していただく機会を相談し、活動することができました。そんな中、農園ボランティアの方々や図書ボランティアの協力で例年に近い活動ができたことに感謝しております。PTA主催の南っ子まつりにもご協力いただきました。  
本校の教育活動の一層の充実をめざし、これからも農園ボランティアの方々、図書ボランティアの方々の一層のご尽力を賜りますよう今後もどうぞよろしくお願いいたします。

# 鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鎌田小学校長                      石渡 靖  
 コーディネーター                鷲尾 斎

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	32人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇	年2回	5人
算数	不定期	5人
金管	不定期	2人
読み聞かせ	年11回	12人
図書	不定期	8人



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

「一緒に手を携えて」「できるときにできることを」のスローガンのもと、地域・保護者の皆様にご支援、ご協力をいただいた。今年度感染症対策をし、例年に近い状態で活動を行うことができた。

読み聞かせボランティアは11回、朝読書の時間に各クラスに入っていたいただき、本の読み聞かせを行っていただいた。図書ボランティアは、本の修繕、ラベルシール剥がし、書架の整理等を行っていただいた。花壇ボランティアは、体育館前の花壇の整備を11月に行っていただいた。算数ボランティアは、机間巡視をし、個別に助言を行っていただいた。金管ボランティアは、朝練や音楽会前の放課後練習に来ていただき、個別に指導・助言していただいた。今年度も、ボランティアの皆様のご協力があり、さまざまな教育活動を有意義に行うことができた。

### < 課 題 >

今後もコロナ禍の中、活動が制限されることがあるかもしれないが、より良い活動ができるように、担当者と連絡を密にしていくことが大切だと感じた。今後も学校応援団の活動がさらに発展していくように、企画・立案をしていく。

## 5 コーディネーターより

「一緒に手を携えて」のもと、保護者や地域の方々の協力により、ボランティア活動がスムーズに行われました。子供たちの健やかな成長のために、お手伝いできたことが良かったと思っています。今後も、子供たちのために、地域の方々や保護者の方の力をお借りして、より良い学校応援団活動を進めていきたいと思っています。

## 6 学校長より

令和4年度もコロナ禍にあったものの、保護者、地域の皆様との「かかわり」「共育・協働」を大事にし、心と心の絆を深めながら、鎌田小学校の学校応援団の充実を図ることができたと受け止めています。今後も、図書ボランティア・読み聞かせボランティア・算数ボランティア・金管ボランティア・花壇ボランティアの4つの柱を中核にして、学校と家庭と地域とが、一緒に手を携えて、鎌田小の教育活動や教育環境の充実を図って参りたいと思います。

次年度もさらに多くの方々との「かかわり」「共育・協働」のもと、これまで以上により良い学校応援団を築きあげていきたいと思っています。

# 小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小岩小学校長 小松 広宣  
 コーディネーター 安武 久弥

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	312人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月2回(水曜日)	20名
読み聞かせ	月1回(水曜日)	20名
子ども見守り隊(登下校時)	年2回	90名
子ども見守り隊(校外学習)	年1回	10名
登校あいさつ隊	週1回	300名
教育活動の充実	不定期	5名
小岩小サポーター候補の育成	年1回	10名

## 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題



図書ボランティア



子ども見守り隊



同窓会

### <成 果>

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見守りながらも、学校応援団の活動回数、活動内容は、少しずつできることも増えた一年となりました。「子ども見守り隊」では、保護者や町会の防犯部の皆様を中心に、たくさんの方に児童の安全を支えていただきました。そして、本校図書ボランティアによる図書室整備や本の修理等を月2回、読み聞かせも月1回、感染予防をしながら行っていただきました。そのため、児童が多くの本を手にとることができ、読書活動が充実したものとなりました。同窓会の活動では、次代の小岩小のサポーターの育成に大きな力を発揮していただいています。

### <課 題>

地域の人材を更に発掘し、様々な側面から支援していただけるよう計画的に活動を進め、学生等のボランティアを増やしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

今年度は、時期や内容を学校と相談しながら、図書整備や読み聞かせ、見守り隊など、可能な範囲での活動に取り組みました。今後もこうした活動が継続・発展し、小岩小の特色ある活動として定着していくようにサポートしていく予定です。地域にあいさつの輪が広がるよう、保護者や地域、同窓会の組織と学校が一体となり、相互に理解と協調をもった温かい小岩小らしい学校応援団の活動を推進していきたいと思っています。

## 6 学校長より

小岩小学校では、新校舎落成となる開校140周年の数々の取組を行ってきました。小岩小の伝統やよさを活かしながら、バージョンアップした小岩スタイルづくりを進めています。新校舎が完成し、広い校舎で活動ができるようになったため、活動もより多様に、充実していくことができました。今年度も、保護者や地域の方々に多くの支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。今後も、保護者、地域の皆様により信頼のある学校となるよう努力していきます。

# 東小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小岩小学校長            牧岡 優美子  
 コーディネーター        阿部 幸一

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学習支援ボランティア	不定期（今年度は自粛中）	
図書ボランティア	月1回（今年度は自粛中）	
図書選書ボランティア	月1回（今年度は自粛中）	
読み聞かせボランティア	週1回（今年度は自粛中）	
安全指導ボランティア	不定期	20人
農園活動ボランティア	不定期	15人
校外活動ボランティア	不定期（今年度は自粛中）	





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- (1) 「農園活動ボランティア」では、地域から寄付していただいた「ふき農園」を理科で活用し、年間指導計画に位置付けて活動している。今年度も感染症対策のため児童の活動が限定されたが、3年「さつまいも」4年「トウモロコシ（ポップコーン用）」の収穫体験を行うことができた。学校応援団の方々に準備や日々の管理等をご協力いただき、今年度も継続して児童の活動を充実させることができた。
- (2) 「安全指導ボランティア」では、土曜授業の際に、平日の登校見守りに加え、ボランティアの保護者が参加しての旗振り当番を実施していただき、交通事故0を継続することができた。

### <課 題>

- (1) 感染症対策のため、活動を自粛していただいた活動が複数あった。今後は新しい生活様式の下、安全に活動できるよう、活動内容の変更を考えていく必要がある。教育活動の充実のために改善していきたい。
- (2) 感染症対策を講じた「学校応援団」の活動について紹介し、さらに多くの人材確保や依頼の準備を徹底していくことが必要である。

## 5 コーディネーターより

PTAや東小会（PTAのOB会）、小岩5町会が連携・協力して、児童の安全や健全育成に取り組む、平成21年度より学校応援団活動として統合しました。感染状況により、活動を自粛している応援団もありますが、開校70周年を迎え、その「連携の伝統」を今年度も築くことができたと思います。地域の方々の協力により「学校農園活動が今年も無事にできました」という話や、保護者の協力により「子どもたちが安全に活動できた」等を耳にして嬉しく思いました。今後も学校・保護者・地域が一体となって、さらに発展した活動を行ってまいります。

（コーディネーター 阿部 幸一）

## 6 学校長より

農園活動を行っている「ふき農園」は、平成13年に元PTA会長から学校に寄付していただいた農園で、奥様のお名前（婦喜さん）から「ふき農園」と名付けました。この学習には、地域の方が「学校応援団」として協力してくださっています。例年であれば、子どもたちと学校応援団の方々が一緒に種まきをするところです。今年度も感染拡大状況により活動は限られ、種まきや苗植えは学校応援団の方々と教員で行いましたが、子どもたちは、学校応援団の方々のお力を借りて、トウモロコシやさつまいもの収穫を体験することができました。学校応援団の皆様が、日頃から草むしりや柵の補強などのお世話を続けてくださったお陰で、とてもありがたく感じています。

今後も「連携の伝統」を継続し、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、地域とともに「地域に貢献できる子どもたち」を育ててまいります。よろしく願いいたします。

（校長 牧岡 優美子）

# 下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小学校長 有谷 敏行  
 学校応援団代表 神谷 知幸  
 コーディネーター 戸田 健 井上 幸男

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月現在）

学校応援団 ボランティア登録数	一般ボランティア	45 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数(実人数)
周年式典役員	令和4年11月7日(月)	27人
閉校式典役員	令和5年2月18日(土)	30人(見込み)

※新型コロナウイルス拡大防止のため実施できませんでしたが、例年以下のような活動を行ってきました。

応援団の種類・名称	活動状況	ボランティア数(実人数)
読み聞かせ	月1回(第2水曜日及び学校公開時)	12人
図書整備	月1回(第2水曜日)	6人
	不定期	1人
登下校見守り	毎日	2人
学習活動補助	不定期	12人
ヤゴ救出・ヤゴトープ	年2回	15人
地域の名人に学ぶ	年4回	7人
早朝相撲	年3回(各回1週間ずつ)	1人
校内相撲大会	年1回	4人



早朝相撲



よみきかせ



ヤゴ救出大作戦

## 4 今年度の成果と課題

今年度、本校は開校 90 周年を迎えました。感染症への配慮のため残念ながらご招待できる方が限られましたが、在校生代表として 6 年生が参加し、記念式典を開催することができました。その成功の陰には、学校応援団の皆様のご尽力がありました。

そして来年度は下小岩第二小学校と統合し、90 年の歴史に幕を閉じます。閉校式典を開催いたしますが、その際にも学校応援団の皆様にご協力いただく予定です。

今まで「社会に開かれた教育課程」実現のため、地域の方に並々ならぬご協力をいただけてきました。近年は感染症対策を最優先とし、学校応援団の皆様への依頼を控えてきましたが、コロナ禍前までは充実した活動が実施されていました。学校応援団の皆様にご敬意を表し、その活動内容を記載いたしました。

## 5 コーディネーターより

奈良に、法隆寺という寺がある。現存する最古の木造建築である。世界文化遺産に登録されている。日本には、多くの登録された世界文化遺産があり、それらのほとんどが国宝級のものであり、後世に大切に受け継がれていくはずのものでもある。

令和 4 年 9 月、江戸川区立下小岩小学校は開校 90 周年を迎えた。

私の母校であり、娘、息子ら 6 人姉弟らの母校でもある。そしてここに学んだ数万に及び卒業生たちの母校でもある。その学び舎が翌年令和 5 年 3 月末日で閉校する。

今日の日本は急速に少子高齢化が進んでいる。歯止めの効かない少子化で全国の小中高の統廃合が加速化している。下小岩小学校と下小岩第二小学校が統合され、2023 年 4 月に新たに“下小岩小学校”の校名のもと、校歌も校章も施設設備もありとあらゆる全てのもので装いを新たにする。両校の姿、形は元のそれに戻ることはない。それも時代の流れであり、現実には感傷に浸る暇もなく確実に進行している。

仮設校舎や既設設備の改築、修繕が終わり、両校の児童らはここでともに学び、遊ぶ。いずれにせよ両校の卒業生らは、各自が自身の記憶にある学び舎に刻んだ思い出の数々を、国宝に勝るとも劣らない“心の遺産”として大切に温めていただければと思う。

学校応援団コーディネーター

戸田 健（下小岩小学校 昭和 30 年 3 月卒業生）

## 6 学校長より

令和 2 年度からの 3 年間は、コロナ禍の対応や制約に振り回され、いろいろな取り組みや活動を中止せざるを得ない状況にありました。本校には 45 人のボランティアの皆様が所属されておりますが、ご支援をいただく機会が大幅に減ってしまったことが残念でなりません。子どもたちの喜ぶ笑顔が見られるだけでと温かい思いで関わってくださった、コーディネーターの戸田 健様をはじめボランティアの皆様には、感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

下小岩小学校長 有谷 敏行

# 下小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩第二小学校長 篠原 一  
 コーディネーター 伊佐 康暢

## 2 ボランティア数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	278人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回(休止中)	20人
図書整備	不定期	9人
環境整備 ・花壇整備	不定期	10人
・登校時旗振り	毎日	8人
授業の補助 ・日本語指導 ・水泳指導 ・学習指導 ・昔遊び ・花壇の作物栽培支援 ・家庭科学習支援	不定期	30人



学習指導



登校時旗振り



水泳指導

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 外国籍児童が夏休み明けに多く転入してきたため、日本語指導を急遽お願いした。快くお引き受けくださり、毎日のように指導に来てくださっている。一人ずつ取り出し指導をすることにより、現在ではかなり日本語の理解ができるようになってきた。また、取り出し指導だけでなく、一斉指導の中でも一緒に学習指導をしていただき、学力アップにも繋がっている。
- 校門前の道路は、自転車通勤者が多い。登下校時、毎日安全面の見守り等をしていただけることで子供たちが安心して登校することができた。
- 水泳指導のサポートとして、低学年と単学級には毎時間、指導補助をしていただいた。児童の泳力向上だけでなく、教師の水泳指導研修会も行ってもらい指導力向上もできた。
- 今年度で閉校となるので、図書室整備や本の紹介だけでなく、廃棄処理や統合先の学校への移設処理等も行っていただいている。読書活動の充実に強力に支援をいただくことで、読書に親しむ子が増えている。

### <課 題>

- 閉校にあたり、統合先でも続けてボランティア活動ができるよう、しっかり引き継いでいく。
- 学校ホームページやボランティア通信等を取り入れて、ボランティア活動の内容を紹介し、ボランティアをしていただける人材発掘に力を入れていく。

## 5 コーディネーターより

本校で培ってきた登下校時の旗振り、図書ボランティア、学習ボランティア等の活動を行うにあたり、多くの方々にご協力をいただきました。感染症対策も行いながらの活動には、大変感謝いたします。今年度で閉校となりますが、統合後の学校でも続けて活動できるよう学校と密に連絡を取り合いながら、活動を行なっていきたいです。

子供たちのより良い成長を願って、学校やPTA、地域の皆様、ご理解とご協力をありがとうございました。

## 6 学校長より

子供たちの安全を第一に考え、保護者、地域の方々が連携して学校を応援していただいていることに感謝申し上げます。コロナ禍にも関わらず、今年度は急遽多くの場面で子供たちの生活や学習活動にご支援いただき、ありがとうございました。毎日行っている登下校時の旗振りでは、本校に在籍する全てのご家庭、地域の方々に支援いただいていることを誇りに思うとともに、雨の日も風の日も休まず活動していただいていることに感謝いたします。

今年度で閉校となります。子供たちのために多大なご支援とご協力を長い間ありがとうございました。

# 上小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩小学校長            宮本 知司  
 コーディネーター        石川 きよ子

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	110人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	毎日	97
菊サポーター	不定期（春～秋は、ほぼ毎日）	3
図書ボランティア	不定期（週1回程度）	10
学習支援（手作り味噌）	不定期（3学期）            中止	0
学習支援（金管バンド）	不定期（年間通して）        中止	0



図書ボランティア



菊サポーター



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○地域の見守り隊の皆様には、保護者の見守り隊とともに交通安全や生活安全の支援をいただき、児童は事故及び事件に遭わずに過ごせました。昨年度に引き続き学校改築が進む中ですが、混乱なく、安心して生活することができました。児童への温かな見守りと挨拶や言葉かけが本校への応援となっております。

○菊サポーターの皆様には、今年度も学校の伝統である菊栽培の作業や学習の支援（一人一鉢）及び菊観賞会に向けての様々な準備の支援等をいただきました。菊づくりにおいては天候の影響が大きく、今年度は大変に厳しい環境でしたが、夏季休業中も児童・保護者に寄り添い、今までの経験や反省を生かしていただき、児童が菊の花を見事に咲かせ、立派な観賞会を開催することができました。本校の開校90周年記念式典においてもご来賓の皆様楽しんでいただくことができました。また、生命の尊さ、学校や郷土を愛する心情や態度を育むことができました。

○図書ボランティアの皆様には、学校図書館（図書室）の環境整備や書架整理（毎週）を中心に活動していただきました。今年度配置された学校司書と連携・協力し、書架整理・図書マップづくりに大変な尽力をいただきました。後半には感染症対策をとりながら、読み聞かせ活動を再開していただき、日常生活が戻ってきた喜びを児童は感じていました。

○手作り味噌ボランティア活動は、昨年度に引き続き、中止させていただきました。

○金管バンドボランティア活動も、昨年度に引き続き、中止させていただきました。

### <課 題>

○今年度もコロナ禍における活動制限が多い中ですが、新しい生活様式での活動を再開できました。

○保護者への呼びかけ等、多くの参加者・支援者を募り、学校応援団の充実を図ります。

## 5 コーディネーターより

「学校応援団」の代表として、上小岩小学校の子供たちの健やかな成長と安全で安心できる生活を願い、学校の教育活動を支援しております。今年度は開校90周年記念の年で、保護者、地域の皆様からは多くご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も一層充実した応援体制をとってまいります。

## 6 校長より

本年度も、地域の皆様、PTAの皆様にご支援ご協力をいただき、充実した教育活動が行われました。感染症対策をとりながらの活動はご不便をおかけしましたが、本校にとって90周年という大きな節目の年に、多くの方が上小岩小学校の児童の心身の健やかな成長を願い、学校を支援していただいたことに深く感謝申し上げます。

地域の皆様、見守り隊の皆様の温かい眼差しや言葉かけのおかげで、安全で安心な登下校を行うことができました。3・4年生の菊づくりでは、菊の鉢上げから菊観賞会まで支援していただきました。目をかけ手をかけ心にかけてくださる菊サポーターの心の温かさが児童に伝わり、90周年記念の今年度も命を大切に育てることができました。図書ボランティアの皆様には、図書室の環境整備（毎週1回）・読み聞かせを行っていただきました。児童が図書の時間を本当に楽しみにできました。

皆様の学校への気持ちを受けとめ、一層連携を深め、皆様と共に歩む学校をつくってまいります。

# 上小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩第二小学校長      落合 由美子  
コーディネーター      森谷 誠一郎

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	4人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備	本の修理・整理整頓・室内装飾 (毎週水曜日実施)	8名
読み聞かせ	朝の読み聞かせ(6月より活動)	24名
地域安全パトロール(朝)	随時実施	20名
地域安全パトロール(夕)	年1回実施(11月)	18名
古紙回収	月1回実施	61名
交通安全教室	1～3年で年1回実施	15名





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ◎今年度は新型コロナウイルス感染症対策の緩和により活動が再開できたものが増えました。
- 図書ボランティアについては、年度当初から新型コロナウイルス感染症対策を行いながらこれまで通りの作業を実施しました。4月より毎週水曜日を活動日とし、図書館の本の整理や修理、室内の飾りつけ等を行ってきました。また、本の出し入れをしやすくしたり、選びやすくしたりするために、本の入れ替え作業を行いました。ゲストティーチャーとしてお越しいただいた角野栄子先生をもてなす飾り付けも行ってくれました。
- 読み聞かせボランティアについては、児童との距離に気を付けて書画カメラに投影して行いました。4月から通常通り月に1回（朝8時30分～8時40分）行うことができました。しばらく活動が止まっていたため、再開が始まって子どもたちは待ちわびていたように毎回楽しみにしていました。
- 例年、朝の旗振り、地域安全パトロール活動は、登校時（学期初めの1週間）や長期休業中一定期間、夕方の時間帯に行ってきましたが、今年も年度初めに体制作りができなかったため、活動はPTA役員さんを中心にできる範囲での活動となりました。11月に夜間パトロールを実施しました。
- その他、回収した空き缶つぶしの活動のお手伝いに関しては体制作りができなかったため中止、交通安全教室にはお手伝いとしてご協力をいただきました。

### <課 題>

- 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながらの対応となります。感染対策をしっかりと行った上で、可能な範囲での実施をしていきます。  
PTAが中心になって活動を行っていますが、図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の活動に対しできる範囲でできる事を計画し、PTAの負担軽減を視野に入れながら、協力体制を築いていくことが課題です。

## 5 コーディネーターより

日頃から先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により子供たちがより良い学校生活が送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心より御礼申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症による活動制限の緩和により、少しずつ元の活動に戻すことができました。人との接触や三密の状況にならないように気を付けながらの活動ではありましたが、活動を通して子供たちの笑顔を多く見ることができました。これからも子供たちが豊かな学校生活が送れるよう、一同力を合わせて頑張ってお参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症による活動制限の緩和により、これまでできなかった活動が再開されたことにより、子供たちの笑顔が多くみられた1年でした。子供たちのため、学校のために活動していただいたボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

本校の学校応援団は、学校行事全般についてもきめ細やかに子供たちの安心安全と健やかな成長のために活動して頂いています。

感染症の終息を願いつつ、今後も子供たちの笑顔あふれる学校づくりのためにご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

# 西小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小岩小学校長 大野 知子  
 コーディネーター 植草 誠

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	花壇の花の植え替え・整備（不定期）	15名程度
図書ボランティア	学校図書館の環境整備（月2・3回）	15名程度
登校安全ボランティア	登校時の見守り（毎日）	10名程度

花壇ボランティアの活動の様子



図書ボランティアの活動の様子



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 登校安全ボランティアでは、通常の個人登校時、各学期始めの登校班登校週間ともに、保護者による登校の付き添いや見守りのお陰で、事故なく登校ができた。
- 花壇ボランティアでは、学校を訪問される方々をきれいな花や花壇でお迎えすることができた。
- 図書ボランティアでは、2学期以降に活動を再開し、学校図書館の環境整備を中心に活動を進めることができた。

### <課 題>

- 朝の登校時の見守りのほか、下校時の見守りについても、学校監査や学校評議員会で話題にあがっている。PTA や近隣町会等とも連携し、子供たちの安全につながる活動を進めていく必要がある。
- これまで学校応援団の活動にご協力いただいていた方が、子供の卒業や転居、その他の事情等で継続が難しくなっている現状がある。今後は、保護者の方々にボランティア活動に興味をもっていただけるような広報活動を行う必要がある。
- 今後は、児童にボランティア活動をしてくださる方々への感謝の気持ちをもたせたり、伝えさせたりする中で、子供たちのボランティア精神を高めたりする一助としていきたい。

## 5 コーディネーターより

社会の情勢に合わせながら、「子供たちのためにできることはないのだろうか。」と、可能な範囲で登校の見守りや学校花壇の整備、学校図書館の整備を進めることができました。

登校時は、子供たちの安全を見守ってくださいました。子供たちの登校時の様子に触れ、登校見守りボランティアの必要性を改めて感じたことでしょうか。また、学校の花壇は、花壇ボランティアの方々のお陰で季節に合った綺麗な花が咲いていました。

これからも学校応援団の活動の輪が広がり、学校・PTA・地域が連携して、子供たちのよりよい成長と学びのためにみんなで力を合わせたいと考えています。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団が設立する前より、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、学校ボランティアの支援体制が整っていました。

ここ2年程、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、積極的な活動を保留しておりましたが、今年度ようやく「with コロナ」の体制が整い、できる範囲で登校の見守りや学校花壇・図書室の蔵書整備などをしていただきました。そのおかげで、子供たちも事故なく安心して登校したり、整った図書館を利用したりするなど、学校生活が元に戻りつつあります。次年度は、学校の新しい生活様式の下、学校応援団の方々と協力をして、より充実した学校教育活動を進めていきたいと思っております。

# 上一色南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上一色南小学校長 平田 鐘明  
 コーディネーター 吉田 貴之

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回(火曜日)	13人
図書館整備	不定期	3人
登校見守り	毎日	44人

図書ボランティア(読み聞かせ)



旗振りボランティア(登校見守り)



図書ボランティア(図書館整備)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、読み聞かせ活動もビデオ配信となっていたが、今年度は4月から、対面での読み聞かせが実現できた。また、図書室の掲示物や図書の整備などの活動が充実し、子供たちの読書に親しむ機会が増えている。

○登校見守りでは、地域の協力を得て進められている。無理のない範囲で、出来るときに、できるだけ呼びかけにより、子供たちの安全を見守っていただいている。

### <課 題>

○中央図書館と連携した図書室のサテライト化が5月より始まり、図書室の3階から1階への移転及び書架の整理が行われた。子供たちがより一層、図書に親しみ主体的な図書利用が進むように「読み聞かせ」に加え、図書室以外の図書の掲示や学習活動への位置づけを工夫していきたい。

○ボランティアの方々の活動時間と教員の勤務時間とが合わないことも多く、教員の勤務時間外での打ち合わせもある。また、学校が週休日であるときの活動場所の確保などに困難さがある。

## 5 コーディネーターより

興宮町、本一色、上一色。子供たちが通うこの地域は、人情味に溢れ、古き伝統が根付いた地域です。そのような暖かい町で本校は、未来ある子供たちの育成を主とし、運動会・盆踊り、サークル活動など地域活動の拠点として、地域コミュニティの場としての役割も果たしてきました。親・子・孫が同じ小学校を卒業し、学校を中心に話題を共有する。これからもこの関係は変わらないものだと思います。子供たちの安全・安心、そして健やかな成長のため、学校と力を合わせ、多くの方の御協力をいただきながら活動しておりますが、更なる支援の輪を広げるべく、皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

PTA 会長 吉田 貴之

## 6 学校長より

上一色南小学校は、保護者や地域の方々から「読み聞かせ」「登校見守り」「運動会」などの指導に御協力していただき、教育活動を行っています。

日々の教育活動が充実したものになっているのも、学校・家庭・地域の連携があつてこそと、感謝しています。これらのことは、今後も子供の安全を守り、心と体を育てていく極めて大切なことであると考えます。

今後も三者の連携のもと、学校応援団としての組織の充実と、幅広い協力体制を確立していきたいと思っています。そして「たくましく、やさしい」上南の子を育てていきます。

上一色南小学校 校長 平田 鐘明

# 南小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩小学校長 森 進一  
コーディネーター 島田 雅人

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	34人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	月1回 第2金曜日	18
図書ボランティア	図書整備 不定期	11
旗振り 登校見守り	毎日	15



読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

読み聞かせボランティアは、保護者・地域の方々で構成されており、毎月1回各学級での読み聞かせを実施している。子どもたちは、毎月の読み聞かせをととても楽しみにしており、読んでいただいた本を更に自分で読み返したり、同じ作者の作品を探して読み進めたりする姿が見られる。読み聞かせは、子どもたちが地域の方と共に学ぶ大切な機会であり、地域に愛着をもつ子どもの育成につながっている。

また、図書ボランティアは、おすすめの本の選書、本の修理、図書館の環境整備などを実施している。図書館担当教員との打ち合わせを行い、ボランティアの専門知識を活かして活動している。登校見守りボランティアは、学区域の多くの場所で子どもたちの安全を見守っていただいている。

どの活動も組織的に行われており、安定した活動が進められているため、教職員も校務負担の軽減を感じている。

### <課 題>

ここ数年間は、コロナ過のため、学校応援団の活動の中でなかなか実施に至らないものもあった。来年度より本校は新校舎での学校生活となるため、おやじの会を始めとして、ここ数年間未実施であった活動も含め、学校応援団活動を活発にしていくことや、活動を充実させるための予算執行の在り方等の検討が課題となる。そのためには、魅力ある応援団の活動を、学校ホームページ等で積極的に広報するとともに、人員募集を行ったり、人材を発掘したりして応援団組織の層を厚くし、活動を活性化したい。

## 5 コーディネーターより

南小岩小学校の子どもたちを伸び伸びと成長させたいという願いで始まった学校応援団。読み聞かせボランティア、図書ボランティア等の組織を通じて南小岩小学校の教育活動を支え、保護者や地域の皆様と協力し合い、活動を広めたいと常に考えてきました。様々な情報交換をして、更に支援を図りたいと考えています。登下校の見守りや、すすくスクールとの連携も引き続き必要です。これまでも三自治会（一南、司、扇子田）とは、様々な地域行事に協力させていただき、参加することで親交を深めてきました。さらに、南小岩小学校の学校応援団が活発に活動していけたらと考えています。

## 6 学校長より

今年度は、「愛と情熱」を合言葉に、地域や保護者の期待に応え「子どもにとって、安心して自己実現できる学校」に向けて、日々の教育活動を行っています。

保護者・地域の皆様には、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書ボランティアによる図書館環境整備、毎朝の登校見守り等を感染症防止対策を講じながらご協力いただき感謝しております。

今後も、「地域にとって、南小岩のシンボルであり、かかわり続けたい学校」として、子どもたちが「南小岩小学校に通って良かった」と実感できるように学校環境を整備し、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図ってまいります。地域や保護者に信頼される学校となるよう全力を尽くしてまいります。ご支援・ご協力をお願いいたします。

# 南小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩第二学校長      土上 智子  
 コーディネーター      苅部 隆之

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	56人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	毎週木曜日	21名
図書室整備ボランティア	毎月第一水曜日	15名
父子会（ちゃんこ会）	不定期	15名
交通安全見守り	週5回	5名





## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・交通安全見守り活動は、PTA交通当番と連動し、児童の登校の安全安心と、挨拶の促進の啓発につながる活動となっている。
- ・子供たちに合わせて選んでくださった本の読み聞かせは、毎週子供たちが大変楽しみにしており、子供たちが読書に親しむ大きなきっかけとなっている。また、毎週来ていただくことで、子供たちがボランティアの方の存在を身近に感じ、感謝の気持ちをもつことにもつながっている。
- ・図書室整備は、毎月定期的に行っていただくことで、図書室の整備が確実に進んでいる。図書館司書の指導のもと、ラベリングや廃棄本の処理などを行っていただいております。司書からも「毎月同じ方が来てくださるので作業効率があがり、とてもよいシステムだ」との言葉をいただいている。
- ・父子会は、昨年度まではイベントを開催しにくい状況であったが、感染予防の徹底に配慮しながら、今年度は7月に「夏のお楽しみ会」、12月に「にこにこ祭り」でPTAと連携して出店し、子供たちの笑顔を取り戻すことができた。今後もイベントを企画する予定である。

### <課 題>

- ・ボランティアに関わっていただく方を増やすため、ホームページ等を通じて活動状況を広く伝えていくことが必要である。

## 5 コーディネーターから

コロナ禍において、先生方が教育環境の模索を重ねられていることに、頭の下がる思いで一杯です。応援団も共に歩み続け、子供たちの未来の礎の一役を担いたいと思っています。

今年度の活動は、通年の交通当番・読み聞かせ・図書館整備のほかに、運動会当日の競技準備のお手伝い、PTAと連携したイベント開催の賛助となりました。活動を通じて、間近に子供たちの笑顔に触れられ、充実感や達成感を味わうことができています。

また、学校図書館司書やアドバイザーの方より御指導をいただきながら、図書室の整備が継続されていることで、子供たちの読書週間に貢献できていると感じています。

これからも様々な行事活動を通じて、保護者同士も親睦を重ね、学校応援団の活性化に努めたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。

## 6 学校長から

学校応援団の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力をいただき感謝しております。コーディネーターの荻部さんはじめ、交通当番の皆様、読み聞かせサークル「ずんずん」の皆様、図書室整備ボランティアの皆様には、今年度も大変お世話になりました。読書環境を整えていただくことは、本校の読書科の充実とともに、児童の読書意欲を高めることのできる大きな成果でした。

コロナ禍でもできる有意義な活動をさらに工夫し、児童の健やかな成長へとつながる、学校応援団活動となればと考えています。

# 中小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

中小岩小学校長 鈴木 薫  
 コーディネーター 内田 泰雄

## 2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	163人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
子ども見守り隊	週5回	30人
図書整備・装飾	月1～2回	19人
環境整備	年2回	14人
トトロの会(子供のための企画)	今年度はなし	10人
読み聞かせ	今年度はなし	10人

子ども見守り隊



図書ボランティア



花壇整備



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「子ども見守り隊」では、毎日の登下校時に交通安全などの見守りをしていただいた。毎日声かけをして児童と地域の方々がふれあうことは、関わりが取れるよい機会となっている。児童の様子を見守り隊の方々から教えていただくこともあり、地域と連携して育てていくことが大切なことだと感じている。
- 読み聞かせはできなかったが図書ボランティアの方を中心に、本の整備・修繕、季節に合わせた図書館の装飾や特設コーナーに設置等をしていただいているおかげで、使いやすい図書室になっている。図書室の環境整備に力をいれていただき、使いやすくなったことにより、児童の読書への意欲・関心を高まっている。

### <課 題>

- 図書ボランティア、花壇整備等、年々人員の確保が難しくなっている。卒業生の保護者の中に申し出てくださる方もいて助かっているが、次年度も、様々な機会を通じて呼びかけ、新しい学校応援団の人員を増やしていく必要がある。
- 見守り隊の方々の高齢化が進み、新たに協力していただける方の確保が困難であることが毎年の課題である。PTAを中心に保護者の方々にも協力していただき見守りを続けているが、共働きも増え近い将来この形で行うことは難しいと予想できる。新たな方策が必要である。
- 読み聞かせは、できていない。徐々に活動日を増やし、内容を充実させていきたい。感染状況をみて、少しずつ行っていけるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

子ども見守り隊の活動として、毎朝子どもたちと毎日ふれあうことにより、登校姿や日々の生活の中でも成長していく姿を見ることができています。今年度もコロナ禍ということもあり、通常実施している地域学習の支援、図書ボランティア、環境整備等の活動等は、思うようにできませんでした。限られた中ではありますが、子供のために学校と連携を取り、現状できる限りの応援活動をすることはできました。

今後も子供たちが心豊かに成長してくれることを願って、地域や保護者の方々と連携・協力しながら、学校を応援する様々な活動を続けてまいります。

## 6 学校長より

「子供見守り隊」や「図書ボランティア」、「花壇の整備」等、本校で学ぶ児童のために惜しみないご支援とご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス・ハンデミックは、学校応援団の活動に対して影響をもたらすとともに、学校応援団活動の在り方を再考する機会となりました。今後も、本校は学校応援団の活動を支えていただいている地域並びに保護者の皆様方と課題を共有し、ともに改善に取り組んでまいります。

# 北小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

北小岩小学校長 藤島 寿晴  
 コーディネーター 國居 寿美恵

## 2 ボランティア数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	13人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館の装飾・整理	不定期	8人
花壇の整備	不定期	7人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

新型コロナウイルス感染症対策が緩和されてきている部分があり、活動内容が制限されてしまうことが少なくなった部分があるので、今年度も活動を継続することができました。数多く学校を訪問して活動することは実現できませんでしたが、限られた時間を利用して、花壇作りや学校図書館整備をボランティアの皆さんと実施することができました。

### <課 題>

昨年度同様、依然としてボランティアの方の人数を確保することが難しい状況です。また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらの活動方法・内容等を今一度考えることが必要な部分があります。コーディネーターの後継者探しも、併せて課題として考えていかないといけないので、PTAの方とも連携をしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

学校図書館と花壇の整備、どちらも地道に活動しています。花壇は定期的に飾り付けを変え、子供たちはもちろん、学校を訪れる方に楽しんでもらえるよう、工夫しています。今後も活動内容の周知を徹底し、ボランティアの皆さんが加入しやすい雰囲気作りを心がけ、活動の継続を進めていきたいと考えております。



## 6 学校長より

今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の中、学校応援団の皆様の活動そのものが難しい状況が続きました。そのような中でも、様々な場面で本校の教育活動を支え、常に子供たちのために活動してくださる学校応援団の皆様は学校にとって本当に貴重な存在です。

「挨拶・笑顔・感謝」をモットーに毎朝、校門に立つ私と元気よく挨拶を交わし、季節を感じる花壇の横を通って昇降口に向かう子供たち。いつも整えられ季節を感じさせる草花に溢れている花壇を見るたびに嬉しく思い、学校応援団の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。学校図書館は常に本の修正や整理がされています。また、季節ごとの掲示物の工夫は、図書室に足を運ぶ子供たちを増やし、子供たちの本に親しむ気持ちを後押ししてくれています。

今後も学校応援団の皆様と協力して、子供たちの笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思ひます。